
埼玉医科大学総合医療センター

消化管・一般外科 5年のあゆみ

2005年4月～2010年3月



序

消化管・一般外科 5 周年を迎えて

教授 石田秀行

私は 1996 年 1 月に東京医科歯科大学第 2 外科（現在の大学院腫瘍外科）から総合医療センター旧第 2 外科の講座助手として採用されました。その後に行われた第 1 外科と第 2 外科の合併、2 回の診療科再編を経た 2005 年 4 月 1 日から消化管・一般外科の責任者を拝命しております。あつという間の 5 年間でしたが、「消化管・一般外科 5 年間の歩み」を発行できたことは、率直な喜びであり、これもひとえにご指導頂いた諸先生方をはじめ多くの関係者の方々のご指導・ご鞭撻の賜物と考えております。

絶対的医師不足の埼玉県にあって、大学病院の責務である診療・教育・研究をいかにバランスよく遂行していくかが私に与えられた最大の使命と認識し、診療科の運営を行って参りました。当科の 5 年間について、この 3 領域に分けて私なりに振り返ってみました。

診療については、地域の医療機関に信頼される質の高い医療を目指して参りました。当科は消化管や腹壁・腹膜・後腹膜の良性・悪性疾患の外科を主な診療領域としていますが、内視鏡的治療や消化管悪性腫瘍の化学療法なども担当しております。腹部食道から上部直腸までの消化管および一般外科領域においては、専門性にかかわらず、すべてのスタッフが全国的にみても質の高いレベルでの診療が行えるよう、多くの術式、手術手技などについて標準化を徹底して参りました。難度の高い食道癌、下部直腸癌の診療については固定のスタッフが担当する配置を致しました。私自身は、下部直腸癌に対する肛門括約筋温存術（内括約筋間切除含む）の適応拡大、結腸癌に対する低侵襲性手術（single-incision laparoscopically assisted surgery, SILS）の導入、大腸癌肝転移に対する集学的治療（切除、化学療法）などにも精力的に取り組んで参りました。2007 年 1 月には当院が地域がん診療拠点病院に認定されたことを受け、癌診療における地域での役割が一層重要になりました。消化器癌化学療法においては急速な標準化が進んでおり、いわゆる「オレ流治療」は否定される傾向にあります。診療科内での化学療法の方針については厳格に規定するとともに、川越および周辺の地域の先生方との勉強会・研究会を頻繁に行い、連携を強化して参りました。近年では Evidence-based medicine が強調されていますが、エビデンスに習熟するにとどまらず、自らが世界に向けてエビデンスを発信する姿勢も重要と考えております。手術、周術期管理、化学療法などの領域で、常時いくつかの臨床研究（randomized controlled trial）を走らせる体制を構築致しました。「世界を相手にしていかななくてはいけない」という考え方は、私が東京医科歯科大学時

代、埼玉医科大学赴任後の各々でご指導を受けた故三島好雄教授（第94回日本外科学会会長）、出月康夫教授（第92回日本外科学会会長）から直接に学ばせて頂いたものです。到底及ぶものではありませんが、少しでも三島先生、出月先生のお考えに近付くことができるよう、今後も精進して参る所存です。

5年のあゆみ フォトアルバム

2006年



9月 第10回 韓日中大腸癌シンポジウム



9月 第10回 世界内視鏡外科学会 (ベルリン)

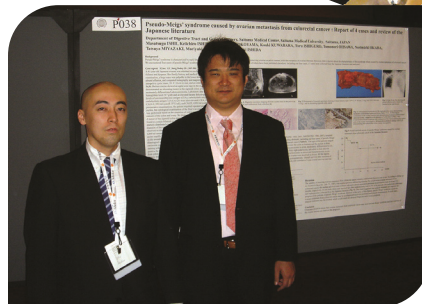
2007年



7月
ヨーロッパ内視鏡外科学会 (アテネ)



10月
緒方先生結婚式



2008年

9月 ISUCRS (サンディエゴ)

2009年

6月 アニマルラボ
(富士宮)



9月
第1回 石田杯ゴルフコンペ

7月
田島先生結婚式

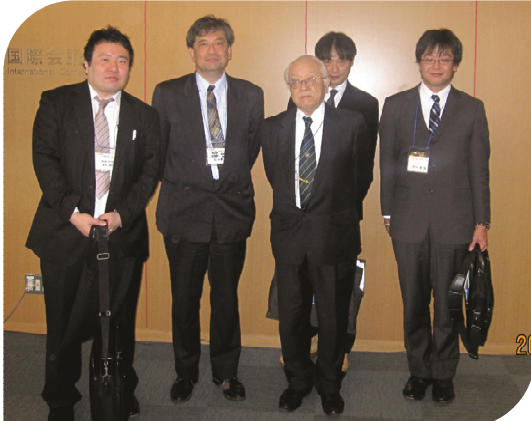


8月 宮崎先生送別会





11月 第64回 日本大腸肛門病学会
(福岡)

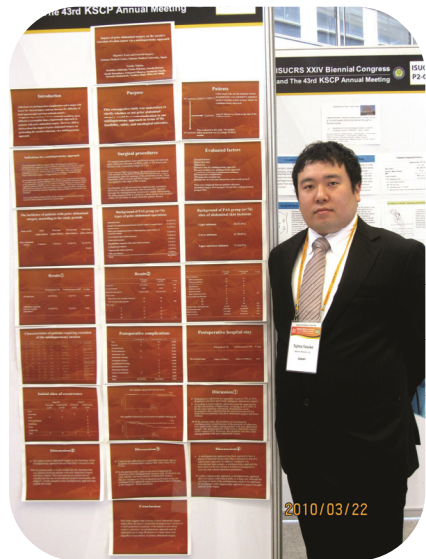


2010年

3月 ISUCRS (韓国)



3月 石橋先生留学先手術風景





当直風景

カンファレンスルームにて



外来



手術風景

目 次

序

消化管・一般外科 5周年を迎えて
教授 石田秀行

5年のあゆみ フォトアルバム

寄 稿

埼玉医科大学総合医療センター消化管・一般外科 5周年をお祝いして	1
毛呂病院 副院長 小林正幸	
教室業績集発刊によせて	2
川越南腎クリニック 院長 諏訪多順二	
消化管・一般外科医局長の経験	3
調布東山病院 外科部長 権田 剛	
埼玉医科大学総合医療センターを退職して	4
社団法人東松山医師会病院 外科 横山 勝	
「総合医療センター 消化管・一般外科 年報」によせて	5
総合医療センター 消化管・一般外科 准教授 辻 美隆 (保健医療学部、医学教育センター 兼担)	
消化管・一般外科教室 1期生を代表して	7
埼玉医科大学総合医療センター 消化管・一般外科 田島雄介	
現消化管・一般外科総務 (医局長) 挨拶	9
大澤智徳	

診療実績

11

教育カンファレンス

17

業 績

著書

27

総説

28

学術論文

30

学会発表

46

座長・司会

95

講演会・懇話会など

99

人 事

104

編集後記

106

寄稿

埼玉医科大学総合医療センター消化管・一般外科5周年をお祝いして

毛呂病院 副院長 小林正幸

埼玉医科大学総合医療センター消化管・一般外科5周年おめでとうございます。埼玉医科大学総合医療センター開院当時は故吉竹毅教授の第一外科と故関正威教授の第二外科で始まりました。当時私は第二外科助教授として埼玉医科大学第一外科から赴任しました。もう20年以上も昔のことになります。少ない教室員で心臓・肺疾患以外は全て手がけました。私の分担は乳腺・甲状腺中心でしたが、人手が少ないため若い先生方の消化器系の手術も随分手伝いました。関教授はご自身ではあまり執刀はせず、若い者が行う手術を時々手伝っておられました。残念ながらご病気で平成5年4月にご逝去されました。その年度の終わりまで、不肖私が科長代理を務め翌年5月出月教授をお迎えしたわけです。出月教授はそれまでの第一外科、第二外科を大きな外科として再編成されました。平成13年3月出月教授がご退官後、しばらくして石田教授が主宰する「消化管・一般外科」が始まった訳です。

この5年間、毎年1,300例の入院患者を数え、手術数も年間700例を超えています。なかでも先生の得意とする下部消化管の件数がとても多いことに感服しています。石田先生は管理職としての仕事が忙しい中、下部消化管の手術を中心に多くの手術に入られているようです。教室の若い先生方が執刀される手術では熱心に技術指導をされる一方、難易度の高い手術はご自身で執刀されています。すべての責任は石田先生が負うとの姿勢を垣間見ることができ、これは埼玉医科大学総合医療センター第二外科の初代教授関正威先生のお考えに通ずるものです。その姿勢が今日まで続いていることをOBの一人として非常に嬉しく感じております。

石田教授のご指導のもとに「消化管・一般外科」が、そこに参集する若い先生方のご活躍と共に、今後ますますご発展されることを心よりご祈念申し上げます。

教室業績集発刊によせて

川越南腎クリニック 院長 諏訪多順二

すべての大学医学部が基本的に持つべき最大公約数的な存在意義として、その第一は卒前の医学教育、第二には研究を通じて学問の進歩と人類の福祉に貢献すること、さらに第三として卒後教育の責任をもつことと考える。そしてこの三つの目的と責任はまったく不可分のものである。医学部の社会的責任はその大学の個々の制約、あるいは条件のもと、たとえば地域社会からの医療サービスへの要求などを考慮しながら、上の三つの目的をどのようにして最も効果的に現実へ進めてゆくかということではないだろうか。

我が国の医学教育においては敗戦という節目を境にして戦前と戦後では、基本理念についてはさほどの違いはないものの、教育システムについてはかなりの断層を有している。最も大きな違いは、各大学で行われる卒業試験の意味であろう。戦前の卒業試験は、勿論これは現在と同様、各大学が授与する学位（医学士）に値するかどうかを判定するものであったが、同時に医師として医療を行う免許を与える資格認定をも意味していた。医療に対しては比較的寛容であった戦前では、この制度でも十分に社会的なコンセンサスが得られていた良い時代だったのかも知れない。戦後インターン制度が導入されるとともに、卒業試験と資格試験が区分され、後者が国家試験となって現在まで継続されている。一般論として医療行為には責任をもってその医療が行えるだけの知識と技術をもつ医師によるものであるという保証が当然必要である。その基準が各医大によってまちまちであっては困るし、また一定の基準以下であってはならない。したがって、共通した資格試験の存在は望ましいものであり、その意味では米国の制度を模倣したものとはいえ、医師国家試験という全国統一の資格試験は必要な制度で、社会によく受け入れられているのではないかと考えている。制度として医師国家試験がある以上、試験の合格率は医科大学の卒前教育の成果としての評価を受ける。埼玉医科大学では、医師国家試験合格率の低迷により随分長い間、低い評価に苦しめられて来た。しかし、数年前より大学の教育カリキュラムの改善の努力が実り合格率が著明に上昇してきており、ようやくこの問題が解決されて来たように思う。これにより卒前教育に関する評価については、今後、徐々に良いものになって行くであろう。継続は常に力である。

建学 30 年を超えた今、第二に挙げた研究領域における役割をより果たして行くべき時が来たように感じる。今回、教室業績集を発刊するにあたり、外科学の追及を通じた第二の目的に向かって各個人の一層の自覚を促し充実が図られることを期待して止まない。一歩ずつ着実に三つの目的に向かって歩んでほしいものである。

消化管・一般外科医局長の経験

調布東山病院 外科部長 権田 剛

私は平成 17 年、外科が臓器別細分科され消化管・一般外科に分かれた折、約 1 年間医局長を務めさせていただきました。

私は平成元年に東京医科歯科大学第二外科（現、腫瘍外科）に入局し約 15 年間所属しました。出身大学が群馬大学であったこともあり、医局のスタッフになることなど全く頭になく勤務していましたので、2 年ごとに交代される医局長の先生を横目で見て、「大変そうだな。」と人ごとのように思っていました。まさかその自分が医局長になるなどは、まったく予想もしていないことでした。私は医局長になる半年前にこちらの外科医局に入局したばかりで、おまけに当時は臓器別細分科された直後で、様々な問題をかかえているだけではなく、新たにシステム作りをしなければならないことも多く、絶えず仕事に追われていたという記憶が残っています。とくに入院予約から手術予定の決定、カンファレンスを通しての術者決定に関しては患者さんに関わることで滞ってはいけないことでしたので、早急に確立する必要があり、以前に所属していた東京医科歯科大学での経験をもとに作り上げました。一番苦勞したのが、関連病院への医師派遣に関することです。入局したばかりでそれぞれの関連病院に関する知識も少ない上、医局員の皆さんとの人間関係もまだ浅い段階での人事決定には大変なストレスがかかり、関連病院の先生方にも多大なご迷惑をおかけしたと思います。また、埼玉医科大学消化器・一般外科（II）より 6 人の先生方をお迎えすることも重なり、チームワークを築く難しさ、チームワークの大切さも実感いたしました。

現在私は東京都調布市にあります、調布東山病院で外科部長として勤務しています。入院 80 床に満たない病院で、外科医 3 人で勤務しています。医療センターとは比べものにならない小規模病院ですが、来年の新病院移転に向けて準備に追われています。私も電子カルテ導入に向けての情報システム委員会の委員長を任されています。

消化管・一般外科医局長としての経験を現在も様々な場面で生かさせていただいています。自分にとってはまたとない貴重な経験をさせていただいたと思っておりますが、それも石田教授をはじめ医局員の先生方、関連病院の先生方の御指導・御鞭撻の賜と深く感謝いたしております。皆様には不行き届きな点が多々ありましたことを深くお詫び申し上げます。一年間医局長として賜りました先生方の格別のご厚情に厚く御礼申し上げます。

*埼玉医科大学ではすでに医局制度は撤廃されていますが、診療科の総務担当者が従来の医局長に相当します。本稿では旧来の「医局長」の呼称を使用させて頂いたことをお断り致します。以下同様の扱いとさせていただきます。

埼玉医科大学総合医療センターを退職して

社団法人東松山医師会病院 外科 横山 勝

私は、平成 20 年 4 月から平成 21 年 7 月末までの、医療センターを退職するまでの間、医局長を務めさせていただきました。医局長といっても、医局内の仕事は、かなり業務が分配されており、実際には石橋・宮崎両講師に比べて、仕事量は少なかつたと思います。石橋先生、宮崎先生、この場を借りて、御礼申し上げます。ありがとうございました。

平成 6 年に医療センターの第 2 外科に入局。出月康夫先生が教授に御着任され、平成 8 年に石田先生が下部消化管担当として、御就任されました。以降、外科統合、そして臓器別再編と、幾度となく医局としての分岐点を経験し、気がつけば、いつの間にか、医局の一番の古株になっておりました。石田先生には、出来の悪い私を、早々に下部消化管担当に加えていただき、多くの手術や研究に参加させていただき、感謝しております。

早いもので、医療センターを退職して、もうすぐ 1 年になろうとしています。幸い、研究会等で、医局の先輩の藤野先生、山田先生、猪熊先生や、医局の先生方ともお会いする機会も多々あり、寂しい思いはしておりませんが、忙しかった医療センター時代が少しづつ懐かしく感じるようになってきました。

現在、東松山医師会病院では、大腸癌を中心に、手術・化学療法など担当しています。今後も病診連携含め消化管・一般外科の御発展を、東松山より静かに見守っております。

最後に、石田教授をはじめ、医局の先輩方、関連病院の先生方、医局員の先生方、大変お世話になりました。心より、御礼申し上げます。

「総合医療センター 消化管・一般外科 5年のあゆみ」 によせて

埼玉医科大学総合医療センター 消化管・一般外科 准教授 辻 美隆
(保健医療学部、医学教育センター 兼担)

総合医療センター 消化管・一般外科 5年間の歩みをまとめた年報発行によせ、ごあいさつ申し上げます。

私は、毛呂の大学病院第2外科（のちの消化器・一般外科Ⅱ）で、平山廉三教授のもと、外科侵襲学、胃癌・乳癌等の外科腫瘍学を研鑽し、教授定年までの5年以上の間、医局長を拝命しておりました。平成17年、外科再編にともない、医局員6名が総合医療センター消化管・一般外科へ移動することとなり、総合医療センター病院長の吉本先生、消化管・一般外科運営責任者の石田先生に大変お世話になりました。私自身は、学生や研修医等の教育に軸足を移し、医学教育センター、そして新設された保健医療学部へ本籍を移すことになりましたが、そんな折、石田教授から、医局員や学生の教育を手伝うようお話をいただき、平成18年度より、当科を兼担させていただいております。兼担当初は、カンファレンスでの症例提示や学会発表予行など、各医局員にまだまだ発展の余地が多い状況であり、いろいろと指摘、質問等をさせていただきましたが、最近では、的確な症例提示が若手を含め医局員に浸透してきているよう思います。

さて、ここで、本学の学生教育と当科の現状について紹介させていただきます。本学医学部は毛呂山町にあり、通常の講義などは、毛呂山キャンパスの基礎系・臨床系（大学病院）の教員が主に担当しておりますが、臨床実習は、大学病院に加え、総合医療センター、日高キャンパスの国際医療センターでも実施しております。学生からは川越の評判が良好で、卒後の初期研修先としても人気が高くなっております。本学では、卒後の初期研修にも対応できるよう、臨床実習を重視しており、5-6年生にわたる臨床実習44週中、最後の12週間を「診療参加型臨床実習（クリニカルクラークシップ）」にあてております。当科では、この期間のみならず通常の臨床実習においてもクリニカルクラークシップが行われており、学生が診療に参加できるよう工夫されております。とくに、術前カンファレンスでは、症例提示することを積極的に課しております。カンファレンスでの症例提示は、症例を要約し、的確にプレゼンテーションすることの格好のトレーニングになっております。また、カンファレンスでは、石田教授自ら学生に語りかけ、その場でレクチャーすることもあり、学生のみならず研修医や若手医局員にとっても有益であるものと思われま

す。一方、当科では、国際交流にも積極的に取り組んでおります。ここ数年、本学 Student Exchange Program（交換留学制度）に協力し、海外から医学生の臨床実習を受け入れております。当科で実習し帰国した学生からも好評を得ており、同じ

大学からのリピーターが多い状況になっております。また、昨年度から始まった教員短期留学制度を利用し、昨年度末から石橋講師がハンガリーのペーチ大学に短期留学しました。今年度は、幡野助教がハンガリーのセンメルワイス大学へ短期留学する予定となっており、今後も留学を経験する医局員が増加するものと思われま

す。この冊子からも、5年間で多くの業績・診療実績を上げることができたことがうかがわれるかと思ひます。これらの業績・診療実績は、私ども医局員のみではなしえないものであり、お世話になった関連施設の先生方、医局OBの先生方に厚く御礼申し上げます。また、日常業務を支えていただいた看護部の方々、秘書の方々、大学当局各位にも深謝申し上げます。

消化管・一般外科教室 1 期生を代表して

埼玉医科大学総合医療センター 消化管・一般外科 田島雄介

私が、まず石田秀行教授（以降、石田先生）率いる消化管・一般外科に入局を決断した理由は、学生時代にさかのぼります。学生時代に総合医療センター外科（旧体制）で臨床実習をさせていただき、石田先生（当時講師）が実習学生担当で私の実習をお世話していただきました。その時は、いろいろな手術に入らせていただき、結紮術など基本的な外科手技を教えていただき、とても実習が充実していたのを感じております。父のような消化器外科医になりたいとの思いのうえ、この実習により消化器外科を専攻したいという気持ちは、さらに強くなりました。

私は初期臨床研修を総合医療センターで行うこととしました。初期臨床研修では、すでに消化管・一般外科が設立されており、研修 1 年目と 2 年目に研修させていただき、手術の執刀や学会発表、論文投稿をさせていただきました。そして 3 年目になり、石田先生の下で勉強したいという私の考えは変わらず、消化管・一般外科に入局しました。消化管・一般外科の入局者の 1 期生であり、入局した時は緊張・不安がありましたが、それ以上にがんばらないといけないという気持ちが強くありました。

入局してからは、外科手技を始め色々勉強しなくてはならない項目が多くあり、大変な日々が今現在も続いておりますが、その一日一日がとても充実しております。手術でもまだまだ未熟ではありますが、いろいろ執刀させていただいております。2009 年に、静岡県松田病院で手術を含め肛門大腸疾患、上部・下部消化管内視鏡を中心に勉強させていただき、石田先生にはとても感謝しております。また学会発表や論文投稿も初期研修の時から色々させていただき、今までに論文投稿は 5 本となりました。

2010 年 3 月、韓国で ISUCRS (International Society of University Colon and Rectal Surgeons) が開催されました。私は、ポスター発表と口演発表をさせていただきました。英語が苦手科目であり、口演で発表することが決まった時には本当に私ができるのだろうかという不安と緊張を感じたことを鮮明に覚えております。私はもともと小心者であるため、発表が近づくと緊張も強くなり、当日には心臓が破裂するほどでした。次演者席に座り、発表を待っているときのインドの先生の「緊張しないでリラックス！！」（と多分言われたのだと思いますが）との言葉がとても嬉しく、少し私の緊張を解いてくれました。いよいよ発表の時間になり、演台に上がり発表しました。発表は、時間内でなんとかおさまり、質疑応答も無事終了し、口演発表はなんとか成功に終わりました。

医師になってから、今年で 6 年目になりますが、早い時期に英語での口演発表や論文投稿などを経験させていただいていることは、貴重な経験であり本当に石田先

生には感謝しております。これからも一層の修行を重ねていく所存です。私は埼玉医科大学総合医療センター消化管・一般外科に入局して本当に良かったと思います。

現消化管・一般外科総務（医局長）挨拶

大澤智徳

小生は 2009 年 8 月に、横山勝先生から現消化管・一般外科総務（医局長）の引き継ぎをさせていただきました。1997 年 4 月に旧々外科教室（出月前々教授時代）に研修医として入局して以来、数回の外病院勤務を経て、医局員として現在に至っております。2005 年に外科教室の臓器別再編成による現在の消化管・一般外科が発足しました。新しい組織ができると同時にそれを機能させるという点で、先医局長先生方の責務は非常に重大であったと思われます。2010 年となり当医局運営も落ち着いてきた現在、医局長業務は明確かつ整理されたものとなっており、若輩者の小生にとっては非常にありがたいことです。

石田教授には研修医 1 年目から大変お世話になっており、気がついたら 14 年もたっております。石田先生は私と同年代時に、旧々外科の下部消化管のチーフとして御就任されました。当時の朝夕のチーム回診や、内視鏡検査や手術を直接指導していただいていた頃が懐かしく思えると同時に、立場も責務も異なることはわかっているものの、つつい無礼な振る舞いが出てしまうことをこの場をもってお詫びいたします。

2010 年現在の消化管・一般外科の体制は、大部分において外科教室としての基盤が構築されてきております。最近の教室の様子を簡単に御説明いたします。

当教室の一週間は、月曜日の朝のカンファレンスから始まります。定時のカンファレンスは週 3 回、月曜日の朝 7:45 から 8:30、水曜日の朝 7:15 から 8:30、午後 5:00 から約 2 時間、外科カンファレンスルームで行っております。予定手術全症例の術前・術後症例検討、各種学会発表予行はもちろんのこと、海外文献の抄読会、各チーム（3 チームあります）による最近経験した症例の **clinical conference**、その他、各種勉強会・教育講演会など行っております。火曜日と金曜日は 8:00 から病棟での症例カンファレンス、看護師サイドとの症例検討カンファレンスを行っております。教授による病棟回診は毎週水曜日の午後 3:00 から行われており、総カルテチェックの後にベッドサイド診察を行い、4 階東・5 階東の外科病棟から適宜他の病棟の順で行っております。

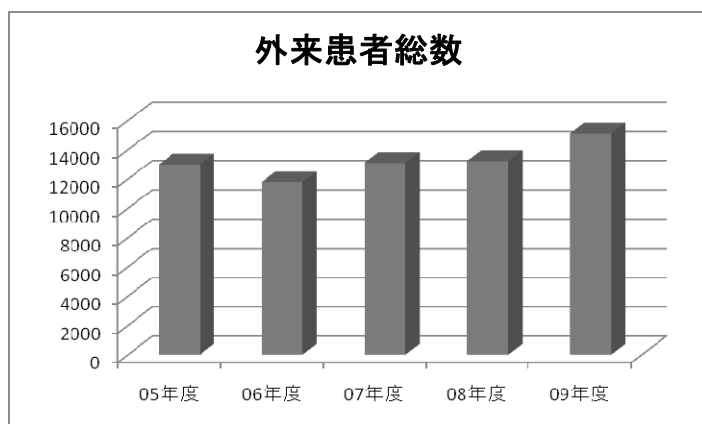
また、2009 年から地域がん診療拠点病院としての啓蒙による内科・病理部との合同カンファをはじめ、他施設との合同集会や緩和医療に関する勉強会も積極的に行っております。

日常診療としてはご周知の通り、多数の予定手術と適宜緊急手術を行っております。近隣の諸先生方からの御紹介患者及び緊急症例に対する対応も徹底されており、石田教授、芳賀准教授から各講師および各助教まで 365 日 24 時間体制で迅速な対応ができるよう務めております。

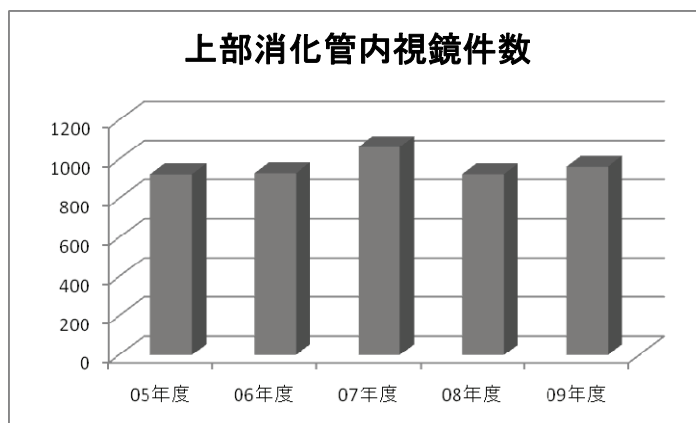
まだまだ未熟な教室ではありますが、教授の口ぐせでもある「川越から世界へ発信する」を教室員の個々がかみしめて日々精進しております。

診療実績

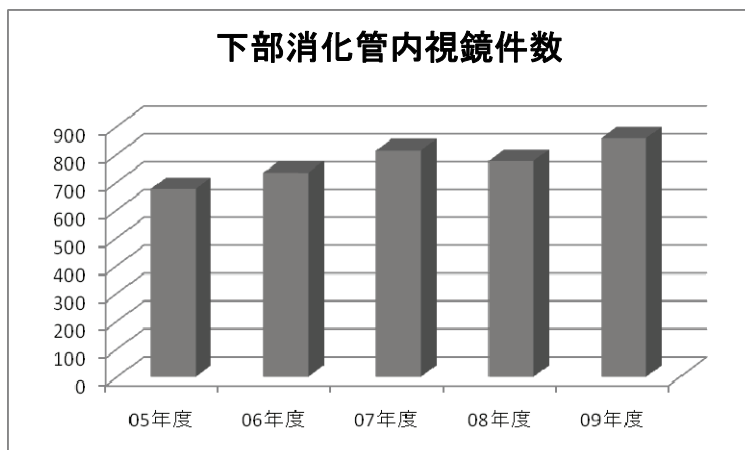
1) 外来



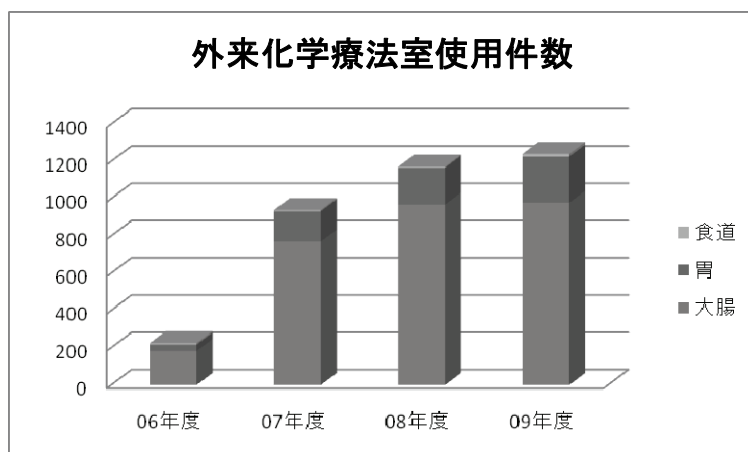
	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
外来患者総数 (人)	13000	11788	13097	13225	15122



	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
件数	925	930	1063	926	963
ポリペク・EMR	1	1	1	2	1
PEG	7	11	25	34	39
ブジー	1	10	2	3	5
ESD	2	5	5	8	4



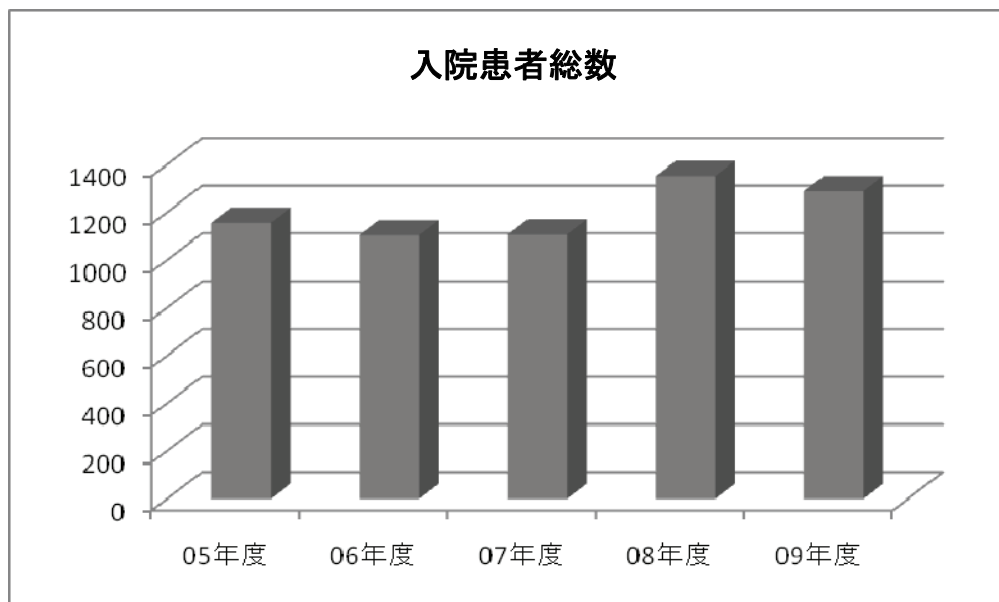
	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
件数	675	734	814	776	857
ポリペク	112	68	36	46	41
EMR	13	52	80	72	87



	06年度	07年度	08年度	09年度
大腸	183	770	969	979
胃	34	163	197	247
食道	8	6	5	14

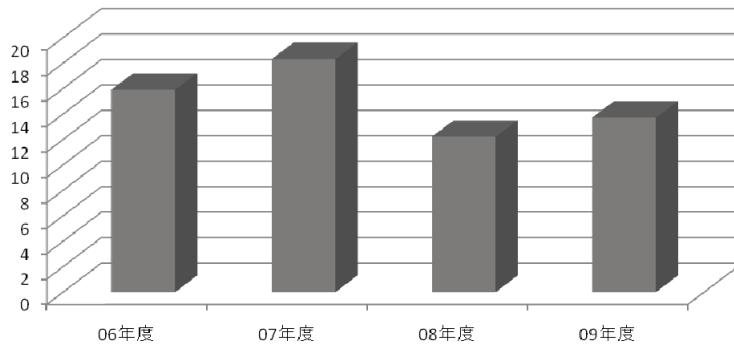
* 外来化学療法室は 06 年 10 月よりオープン

2) 入院



	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
総数	1156	1104	1107	1352	1289
(1) 食道癌	37	68	95	116	127
(2) 胃癌	154	154	169	280	282
(3) 大腸癌	206	379	265	335	362
(4) 潰瘍性大腸炎	10	7	7	8	9
(5) クロウン病	14	10	10	6	3
(6) 急性虫垂炎	87	68	83	71	90
(7) 鼠径ヘルニア	107	129	110	112	115
(8) 内痔核	9	17	10	4	45

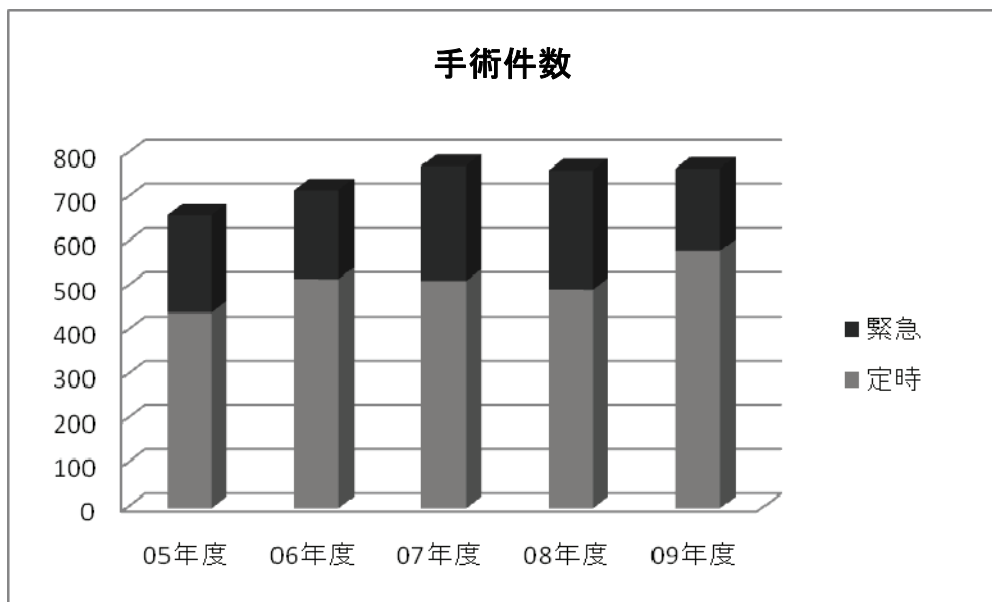
平均在院日数



	06年度	07年度	08年度	09年度
合計	15.9	18.3	12.2	13.7

*2005年度は診療科別集計不能のため省略

3) 手術



	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
(1) 食道癌	10	22	28	19	16
(2) 胃癌	104	97	103	127	101
(3) 結腸癌	136	126	90	104	86
(4) 直腸癌	36	37	62	44	43
(5) 潰瘍性大腸炎	2	1	2	4	4
(6) クローン病	7	6	7	4	5
(7) 急性虫垂炎	61	77	71	81	74
(8) 鼠径ヘルニア	107	134	109	146	119
(9) 内痔核	9	13	10	1	46
全手術数	663	718	774	764	768
緊急	221	200	260	270	186
定時	588	518	514	494	582

手術詳細

	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	
食道良性				2	0	
食道破裂				1	0	
アカラシア			1			
その他			2		0	
食道悪性	10	22	28	19	16	
食道癌	10	22	28	19	16	
右開胸開腹食道垂全摘術	4	18	22	15	14	
経腹	2	1	1	1	1	
食道除去術				1	1	
左開胸開腹下部食道噴門部切除術	1			1		
咽喉頭食道全摘術			2			
内視鏡的粘膜下層剥離術		3	2	1		
その他	3		1			
胃十二指腸良性	47	44	33	26	33	
胃十二指腸潰瘍穿孔	22	22	16	12	15	
単純閉鎖・大網充填術	16	19	13	12	14	
広範囲胃切除術	4	3	3		1	
その他	2					
胃潰瘍出血	3					
その他			1	2	2	
胃悪性	108	102	108	134	104	
胃癌	104	97	103	127	101	
幽門側胃切除術	60	50	50	57	53	
噴門側胃切除術	1	1		0	0	
胃全摘術	38	30	38	45	30	
残胃全摘術	3	4	3	5	3	
左開胸開腹下部食道胃全摘		2	1			
膈頭十二指腸切除術					1	
内視鏡的粘膜下層剥離術		2	9	5	4	
その他					11	
GIST	4	5	5	5	3	
胃部分切除術	3	3	5	4	3	
噴門側胃切除術		1		1		
幽門側胃切除術		1				
胃全摘術	1					
その他				2		
潰瘍性大腸炎	大腸全摘・回腸肛門吻合術	2	1	2	4	4
クローン病		7	6	7	4	5
小腸良性		1	2	11	8	5
小腸悪性		3	3	4	3	2
イレウス		29	20	26	14	28
虫垂炎		71	77	92	81	74
大腸良性		19	22	24	26	23
家族性大腸腺腫症	結腸全摘術			1	1	1
	大腸全摘・回腸肛門吻合術				3	
大腸憩室		6	8	5	3	6
その他		13	14	18	12	16
大腸悪性		179	163	153	150	130
結腸癌		136	126	90	104	86
直腸癌		36	37	62	44	43
結腸切除術		75	91	71	90	72
結腸全摘術		1		2	2	2
低位前方切除術		40	26	51	35	25
ISR		1	1	1	1	5
腹会陰式直腸切断術		8	2	8	4	4
ハルトマン		12	11	6	3	5
骨盤内臓全摘術(前方・後方含)		4		1	2	
その他		38	32	13	13	17
カルチノイド		5		1	1	1
GIST					1	
その他		2				
鼠径ヘルニア		107	134	109	146	119
内痔核(ALTA)		9	13	10	1	46(31)
転移性肝腫瘍	肝切除	11	13	9	13	14

教育・カンファレンス

クリニカルカンファレンス

年度	日時	チーム	題名
2005	2005/4/27	黄	Winslow 孔ヘルニアの一例
	2005/5/18	緑	大腸癌卵巣転移
	2005/6/8	紫	右側、左側閉塞性大腸癌
	2005/6/22	緑	治療に難渋した FAP
	2005/10/5	黄	上部消化管穿孔の検討
	2005/10/12	緑	大腸癌膀胱浸潤
	2005/10/19	紫	上腸間膜動静脈閉塞症の検討
	2005/12/7	緑	FOLFOX のまとめ
	2005/12/14	紫	直腸カルチノイドの検討
	2006	2006/2/1	緑
2006/2/8		紫	直腸脱
2006/2/22		黄	食道異物
2006/3/1		緑	直腸カルチノイドの肝転移
2006/3/8		紫	大腿ヘルニア
2006/4/26		緑	FOLFOX
2006/5/17		黄	食道癌の治療方針
2006/5/24		紫	胃腺扁平上皮癌
2006/5/31		緑	大腸癌取扱い規約説明
2006/6/21		黄	内ヘルニアを契機に発症した腸閉塞症例の検討
2006/6/28		紫	乳房外 Paget 病
2006/11/1		黄	噴門部胃癌の検討（食道浸潤含む）
2006/11/8		緑	FOLFOX 後 OPE 症例
2006/11/15		紫	直腸瘤
2006/12/6		黄	上部消化管における予防的抗菌薬投与の検討
2006/12/13		緑	再発兎径ヘルニア
2007		2007/1/24	紫
	2007/2/7	黄	左胃動静脈瘤
	2007/2/14	緑	妊娠中の虫垂切除術
	2007/2/21	紫	虫垂悪性リンパ腫（MALT type）
	2007/2/28	紫	当科で行った Crohn 病に関わる手術
	2007/3/7	黄	食道異物
	2007/3/14	緑	CV カテーテル/ポート挿入 合併症

	2007/4/25	紫	放射線性腸炎
	2007/5/2	緑	小腸潰瘍
	2007/5/9	黄	食道癌取扱い規約第 10 版が出ました！
	2007/6/6	緑	UC について
	2007/6/20	黄	単径ヘルニア
	2007/10/10	緑	UC 手術例
	2007/11/7	紫	上腸間膜動脈の症例
	2007/11/21	黄	オピオイド等の使い方など
	2007/12/5	青	腸間膜嚢腫 (+腸軸捻転)
	2007/12/12	緑	平滑筋肉腫
2008	2008/1/30	黄	貧血
	2008/2/13	紫	胃軸捻転症
	2008/3/19	緑	Pseudo-Meigs 症候群の手術例に関する検討
	2008/4/2	黄	消化器癌の脳転移に対する全脳照射について
	2008/4/9	青	胃・十二指腸潰瘍穿孔の検討
	2008/4/23	紫	肛門管癌
	2008/4/30	緑	家族性大腸腺腫症
	2008/5/21	黄	胃内分泌細胞癌
	2008/6/11	紫	非閉塞性腸管虚血症
	2008/10/8	黄	S 状結腸癌甲状腺転移の 1 例
	2008/11/12	紫	部検により診断されたアメーバ赤痢による虫垂炎の 1 例
	2008/12/10	緑	転移性肝癌との鑑別に苦慮した 1 例
2009	2009/1/26	黄	PET/CT で治療方針が変更となった食道癌症例
	2009/2/18	紫	腹膜垂炎について
	2009/3/18	緑	直腸癌
	2009/4/22	黄	胃カルチノイド
	2009/5/27	紫	直腸穿孔を合併した SLE の一例
	2009/6/24	緑	ジオンについて
	2009/7/1	黄	当科における食道癌手術合併症の現状
	2009/10/7	黄	高齢者胃腸管型若年性ポリポーシスの一例
	2009/10/28	緑	ISR について
	2009/11/4	紫	Meckel 憩室
	2010/2/10	黄	胃軸捻転症
	2010/3/31	緑	当科における肛門管癌の症例検討

抄読会（詳細不明部分あり）

- 2005/4/27 権田 Extended local resection for advanced gastric cancer.
Ann Surg 236:159-165, 2002
- 2005/5/18 横山(勝) 直腸癌の手術で放射線治療は生存率を高めるか？
- 2005/6/15 長嶺 虫垂に血管腫が存在した。直腸海綿状血管腫
- 2005/6/22 崎元 Nonoperating management appendix without periappendicitis.
- 2005/6/29 橋本 Extended LN resection in gastric cancer.
- 2005/7/19 中田 Effect of no touch isolation on survival and recurrence in curative resections for colorectal cancer.
Ann Surg Oncol 5:390-393, 1998
- 2005/7/27 傍島 低用量ドパミンは腎保護する？
大澤 TME はLAR の reck の risk？
- 2005/8/3 菊地 Small bowel obstruction after appendectomy.
Br J Surg 88:1387-1391, 2001
- 2005/8/10 石畝 Randomized clinical trial of patient-controlled versus fixed regimen feeding after elective abdominal surgery.
Br J Surg 88: 1578-1582, 2001
- 2005/8/24 北岡 出血性潰瘍
- 2005/8/31 権田 直腸癌の LN 郭清
- 2005/9/7 北郷 Ranitidine as adjuvant treatment in colorectal cancer.
- 2005/9/14 中田 直腸癌の手術で LN 郭清後生存率を高めるか？
- 2005/9/28 崎元 翌日の経口摂取は？
- 2005/10/12 橋本 Conservative surgical treatment.
- 2005/12/7 傍島 胆石と大腸癌の関係は？
- 2006/1/25 石畝 Timing of prophylactic antibiotics in abdominal surgery: trial of a pre-operative versus an intra-operative first dose.
- 2006/2/15 権田 Interval hepatic resection of colorectal metastases improves patient selection.
Arch Surg 135:473-480, 2000
- 2006/2/1 長嶺 胃癌の肝転移で ope は生存率を向上させるか？
- 2006/2/8 北岡 Nasogastric intubation causes gastroesophageal reflux in patientsb undergoing elective laparotomy.
Surgery 130:788-91, 2001
- 2006/3/1 権田 Interval hepatic resection of colorectal metastases improves patient selection.
Curr Surg 57:504, 2000

- 2006/3/8 横山(勝) 転移性肝腫瘍の切除は生存期間を延長させるか？
- 2006/4/12 石塚 Endoscopic perforation of the colon lesson from a 10 years study
- 2006/4/26 北岡 Stomach-partitioning gastrojejunostomy for unresectable gastric carcinoma.
Arch Surg 132:184-187, 1997
- 2006/5/17 石畝 Evaluation of POSSUM scoring system in patients with gastric cancer undergoing D2 – gastrectomy.
BMC Surg 5:8, 2005
- 2006/5/24 長嶺 胃癌開腹術における胃癌の経口摂取
天野 Colon and rectal anastomoses do not require routine drainage: a systematic review and meta-analysis.
Ann Surg 229:174-180, 1999
- 2006/6/7 宮崎 Hospital volume and hospital mortality for esophagectomy.
Cancer 91:1574-1578, 2001
- 2006/6/21 緒方 Perioperative granulocyte colony-stimulating factor does not prevent severe infections in patients undergoing esophagectomy for esophageal cancer: a randomized placebo-controlled clinical trial.
Ann Surg 240:68-75, 2004
- 2006/6/28 権田 Survival benefit of high ligation of the inferior mesenteric artery in sigmoid colon or rectal cancer surgery.
Br J Surg 93:609-615, 2006
- 2006/7/12 石橋 ラパコロン vs OPE
- 2006/7/19 中田 大腸癌手術
- 2006/7/26 崎元 重症患者のアルブミン投与
中田 先週の分の考察
- 2006/8/9 岡田 VEGF, VEGF- β , VEGF-C and their receptors
- 2006/8/16 宮崎 ロボット食道手術
- 2006/8/23 傍島 大腸穿孔の予後因子
- 2006/9/6 長嶺 便潜血
- 2006/9/13 石畝 胃癌の手術で脾摘や膵切除は生存率を高めるか
- 2006/10/4 緒方 Randomized clinical trial of splenectomy versus splenic preservation in patients with proximal gastric cancer.
Br J Surgery 93:559-563, 2006
- 2006/10/11 坂口 Nonoperative management of perforated appendicitis without periappendiceal mass.
Am J Surg 179:177-181, 2000

2006/10/25	外間	Randomized, controlled trial of lateral node dissection vs. nerve – preserving resection in patients with rectal cancer after preoperative radiotherapy. Dis Colon Rectum 44:1274-1280, 2001
2006/11/1	権田	Significance of histologic type of primary lesion and metastatic lymph nodes as a prognostic factor in stage III colon cancer. Dis Colon Rectum 49:982-992, 2006
2006/12/6	石橋	Bevacizumab plus irinotecan, fluorouracil, and leucovorin for metastatic colorectal cancer. N Engl J Med 350:2335-42, 2004
2006/12/13	三橋	手の消毒
2007/1/10	中田	転移性肝腫瘍で肝切除は生存期間を延長させるか？
2007/1/24	沖田	Quality assessment of 26304 herniorrhaphies in Denmark: a prospective nationwide study. Lancet 358:1124-1128, 2001
2007/1/31	崎元	Perioperative chemotherapy versus surgery alone for resectable gastroesophageal cancer. N Engl J Med 355:11-20, 2006
2007/2/14	崎元	膵癌非治療切除術における腹腔神経節ブロック
2007/2/21	傍島	Value of palliative resection in gastric cancer. Br J Surgery 89:1438-1443, 2002
2007/3/7	緒方	Is rectal washout necessary in anterior resection for rectal cancer? A prospective clinical study. World J Surg 30:233-241, 2006
2007/3/14	石畝	Irrigation volume determines the efficacy of “Rectal washout”. Dis Colon Rectum 47:1706-1710, 2004
2007/4/25	外間	The Paris endoscopic classification of superficial neoplastic lesions: esophagus, stomach, and colon: November 30 to December 1, 2002. Gastrointestut Endosc 58:S3-43, 2003
2007/5/2	北岡	腹膜炎に対する腹腔内洗浄の影響 The influence of lavage on peritonitis. JACS 191:672-680, 2000
2007/5/23	幡野	The Stochholm II trial on preoperative radiotherapy in rectal carcinoma.

- 2007/6/20 石橋 Mechanical bowel preparation or not? outcome of a multicenter, randomized trial in elective open colon surgery.
Dis Colon Rectum 48:1509-1516, 2005
- 2007/7/4 沖田 The mesh plug technique for recurrent groin herniorrhaphy :
A nine-year experience of 407 repairs.
Surgery 124:844-847, 1998
- 2007/9/5 宮崎 食道癌手術
- 2007/9/12 三橋 Intensive insulin therapy in critically ill patients.
N Engl J Med 345:1359-1367, 2001
- 2007/9/19 傍島 Gum Chewing reduces ileus after elective open sigmoid
Colectomy.
Arch Surg 141:174-176, 2006
- 2007/9/26 崎元 Phenotypic differences between male physicians, surgeons, and
film stars: comparative study.
British Medical Journal 333:1291-1293, 2006
- 2007/10/3 石畝 Laparoscopy-assisted total gastrectomy for early gastric cancer.
Surg Laparosc Endosc Percutan Tech 15:309-314, 2005
- 2007/10/10 幡野 Current status of pulmonary embolism in general surgery in Japan.
Surg Today 34:805-810, 2004
- 2007/11/7 桑原 直腸癌局所再発に対する治療法
- 2007/12/5 久保 止血
- 2007/12/26 宮崎 食道癌の診断
- 2008/1/9 石橋 Cetuximab for the treatment of colorectal cancer.
N Engl J Med 357:2040-2048, 2007.
- 2008/1/16 横山(勝) 大腸癌内視鏡
- 2008/2/6 横山(勝) Interval hepatic resection of colorectal metastases improves
patient selection.
Curr Surg 57:504, 2000
- 2008/3/26 桑原 Prevalence of synchronous colorectal neoplasms detected by
colonoscopy in patients with gastric cancer.
Surg Today 38:20-25, 2008
- 2008/4/9 北岡 Chronic proton pump inhibitor therapy and the risk of colorectal
cancer.
Gastroenterology 133:748-54, 2007
- 2008/4/23 幡野 Omeprazole before endoscopy in patients with gastrointestinal
bleeding.
N Engl J Med 357:303-304, 2007

- 2008/4/30 外間 Acute appendicitis during pregnancy.
Dig Surg 19:40-44, 2002
- 2008/5/14 横山(洋) Cervical or thoracic anastomosis after esophageal resection and
gastric tube reconstruction.
Ann Surg 238:803-812, 2003
- 2008/5/21 石井 Long-term follow-up of a randomized controlled trial of suture
versus mesh repair of incisional hernia.
Ann Surg 240:578-585, 2004
- 2008/5/28 近 Prevention of central venous catheter-associated thrombosis: a
meta-analysis.
Ame J Med 120:901.e1-901.e13, 2007
- 2008/6/4 久保田 Mechanical bowel preparation for elective colorectal surgery: a
multicentre randomized trial.
Lancet 370:2112-2117, 2007
- 2008/6/11 猪野 Adhesive postoperative small bowel obstruction: incidence and
risk factors of recurrence. After surgical treatment a multicenter
prospective study.
Ann Surg 244:750-757, 2006
- 2008/6/18 松村 Acute nonspecific abdominal pain: a randomized, controlled trial
comparing early laparoscopy versus clinical observation.
Ann Surg 244:881-886, 2006
- 2008/6/25 横山(勝) Meta-analysis of observational studies of ileorectal versus ileal
pouch-anal anastomosis for familial adenomatous polyposis.
Br J Surg 93:407-417, 2006
- 2008/10/1 宫崎 Chemoradiation followed by surgery compared with
chemoradiation alone in squamous cancer of the esophagus:
FFCD 9102.
J Clin Oncol 25:1160-8, 2007
- 2008/10/8 岡田 New approaches in angiogenic targeting for colorectal cancer.
World J Gastroenterol 13:5857-5866, 2007
- 2008/10/22 崎元 D2 lymphadectomy alone or with para-aortic nodal dissection for
gastric cancer.
N Engl J Med 359:453-462, 2008
- 2008/11/12 桑原 Five-year risk of colorectal neoplasia after negative screening
colonoscopy.
N Engl J Med 359:1218-1224, 2008

- 2008/11/19 幡野 Effect of eradication of *Helicobacter pylori* on incidence of metachronous gastric carcinoma after endoscopic resection of early gastric cancer: an open-label, randomised controlled trial. *Lancet* 372:392-397, 2008.
- 2008/11/26 石畝 Treatment of multiple liver metastasis from gastric carcinoma. *World J Surg Oncol* 5:70, 2007
- 外間 Oral proton pump inhibitors are as effective as endoscopic treatment for bleeding peptic ulcer : a prospective, randomized, controlled trial. *Dig Dis Sci* 52:3371-3376, 2007
- 2008/12/3 田島 Effect of obesity surgery on the metabolic syndrome. *Arch Surg* 139:1088-1092, 2004
- 2008/12/10 横山(洋) Intensive insulin therapy and pentastarch resuscitation in severe sepsis. *N Engl J Med* 358:125-139, 2008
- 2008/12/17 石井 Prospective randomized clinical trial of the value of intraperitoneal drainage after pancreatic resection. *Ann Surg* 234:487-493, 2001
- 2009/1/14 久保田 Is nasogastric or nasojejunal decompression necessary after gastrectomy? A prospective randomized trial. *World J Surg* 31:122-127, 2007
- 2009/1/21 近 Psychiatric evaluation of competency in cancer patients.
- 2009/1/28 石橋 Characteristics of recurrence and surveillance tools after curative resection for colorectal cancer: A multicenter study. *Surgery* 141:67-75, 2007
- 2009/2/4 横山(勝) Complete response of colorectal liver metastases after chemotherapy: Does it mean cure? *J Clin Oncol* 24:1160-1168, 2006
- 2009/2/18 宮崎 食道癌における非手術歴症例の予後因子は？
- 2009/2/25 岡田 Bevacizumab improves pathologic response and protects against hepatic injury in patients treated with oxaliplatin-based chemotherapy for colorectal liver metastases. *Cancer* 110: 2761-2767, 2007
- 2009/3/4 崎元 Comparison of weight-loss diets with different compositions of fat, protein, and carbohydrates. *N Engl J Med* 360:859-873, 2009

- 2009/3/25 幡野 Hydrocortisone therapy for patients with septic shock.
N Engl J Med 358:111-124, 2008
- 2009/4/22 大澤 La minilaparotomia trasversale come via di accesso nella
patologia del colon destro: una valida alternativa alla laparotomia
mediana.
Chirurgia Italiana 52:91-96, 2000
- 2009/6/3 田島 Impact of body mass index and weight change after treatment on
cancer recurrence and survival in patients with stage III colon
cancer.
J Clin Oncol 26:4109-4115, 2008
- 2009/6/8 石畝 Adjuvant imatinib mesylate after resection of localized, primary
gastrointestinal tumor: a randomised, double - blind,
placebo-controlled trial.
Lancet 373: 1097-1104, 2009
- 2009/6/10 横山(洋) High-dose antithrombin III in the treatment of severe sepsis in
patients with a high risk of death: efficacy and safety.
Crit Care Med 34:285-292, 2006
- 2009/6/17 近 Immediate versus delayed fluid resuscitation for hypotensive
patients with penetrating torso injuries.
N Engl J Med 331:1105-1109, 1994
- 2009/6/24 石井 Laparoscopic versus open appendectomy: Which way to go?
Gastroenterol 14:4909-4914, 2008
- 2009/10/14 外間 Abdominal stapled side-to-end anastomosis (Baker type) in low
and high anterior resection:experiences and results in 69
consecutive patients at a regional general hospital in Japan.
Colorectal Dis 6:165-170, 2004
- 2009/10/21 石橋 Meckel diverticulum: The Mayo clinic experience with 1476
patients(1950–2002).
Ann Surg 241:529-533, 2005
- 2009/11/11 山本 Alcohol consumption and the risks of adenocarcinoma and
squamous cell Carcinoma of the esophagus.
Gastroenterology 136:1215-1224, 2009
- 2009/11/18 大澤 最近の痔核治療 Milligan-Morgan vs. LigaSure
hemorrhoidectomy Milligan-Morgan vs. LigaSure
hemorrhoidectomy

2009/11/25	隈元	Should total number of lymph nodes be used as a quality of care measure for stage III colon cancer? Ann Surg 249:559-563, 2009
2010/1/6	岡田	Single-port laparoscopy in colorectal surgery. Colorectal Dis 10:823-826, 2008
2010/2/3	安藤	大腸癌幹細胞は実在するか？その性質は？根絶は可能か？
2010/2/10	傍島	Gum chewing reduces ileus after elective open sigmoid colectomy. Arch Surg 141:174-176, 2006
2010/2/24	桑原	sepsis と DIC について 当科の大腸穿孔症例を検討
2010/3/2	石畝	Effect of eradication of Helicobacter pylori on incidence of metachronous gastric carcinoma after endoscopic resection of early gastric cancer: an open-label, randomised controlled trial. Lancet 372:392-397, 2008
2010/3/10	桑原	Management of sepsis
2010/3/29	天野	Efficacy of anal fistula plug vs. fibrin glue in closure of anorectal fistulas. Dis Colon Rectum 49:371-376, 2006
2010/3/31	外間	Impact of age on quality of life in patients with rectal cancer. World J Surg 29:190-197, 2005

著 書

1. 横山 勝, 石田秀行, 大澤智徳, 中田 博, 橋本大定.
患者自身の意思を重視した進行・再発大腸癌症例における 5-FU 系抗癌剤の薬剤
選択.
第 18 回関越 UFT 研究会講演集 : 92-94, 2005
癌と化学療法社
2. 横山 勝, 石田秀行, 中田 博, 須藤謙一, 崎元雄彦, 吉田 裕, 権田 剛.
患者自身の選択による進行・切除不能胃癌化学療法.
第 19 回関越 UFT 研究会講演集 : 43-46, 2006
癌と化学療法社
3. 石畝 亨, 崎元雄彦, 宮崎達也, 横山 勝, 石橋敬一郎, 松木盛行, 石田秀行.
ML 領域の T1N0M0 胃癌に対する小切開幽門側胃切除術.
第 3 回小切開・鏡視下手術研究会論文集 : 67-71, 2008
4. 石畝 亨, 幡野 哲, 桑原公亀, 崎元雄彦, 岡田典倫, 宮崎達也, 横山 勝,
石橋敬一郎, 松木盛行, 石田秀行.
特別な器械を必要としない結腸癌に対する小切開根治術.
第 3 回小切開・鏡視下手術研究会論文集 : 82-86, 2008
5. 宮崎達也, 石田秀行.
食道がん化学療法の患者教育と看護.
食道がん標準化学療法の実際 (桑野博行編) : 40-45, 2010
金原出版

総説・解説

1. 石田秀行, 岩間毅夫.
大腸ポリポージスと関連疾患（遺伝性大腸癌） ポリポーシス 若年性ポリポ
ーシス.
早期大腸癌 9 : 535-539, 2005
2. 石田秀行, 岩間毅夫.
大腸ポリポージスと関連疾患（遺伝性大腸癌） ポリポーシス Peutz-Jeghers
症候群.
早期大腸癌 9 : 523-528, 2005
3. 石橋武臣, 松本 晃, 中島康典, 嶋津幸恵, 関根 進, 石田秀行.
手術時手洗いの検討 ブラシ法 vs 手もみ法, ポビドンヨード vs グルコン酸ク
ロルヘキシジン.
オペナーシング 22 : 438-442, 2007
4. 権田 剛, 石田秀行
入室法 一足制における最近の常識.
外科 69 : 294-298, 2007
5. 石田秀行, 横山 勝, 村田宣夫.
鏡視下手術 ～転移に対する影響とそのメカニズム～.
Surgery Frontier 15 : 18-25, 2008
6. 石橋敬一郎, 石田秀行.
嵌頓痔核, 脱肛.
新・図解救急・応用処置ガイド Medical Practice 25:85-86, 2008
7. 権田 剛, 石橋敬一郎, 横山 勝, 石田秀行, 岩間毅夫.
Peutz-Jeghers 症候群.
臨床消化器内科 23 : 1309-1315, 2008
8. 宮崎達也, 外間尚子, 横山洋三, 石畝 亨, 石橋敬一郎, 石田秀行.
食道内異物.
消化器外科 32 : 1475-1484, 2009

9. 石田秀行, 宮崎達也.
急性虫垂炎.
消化管症候群 (第2版) 下 –その他の消化管疾患を含めて–別冊日本臨床
新領域別症候群シリーズ 12 : 669-671, 2009

10. 石田秀行, 石橋敬一郎.
小腸腫瘍 小腸扁平上皮癌・腺扁平上皮癌.
消化管症候群 (第2版) 下 –その他の消化管疾患を含めて– 別冊日本臨床
新領域別症候群シリーズ 12 : 113-115, 2009

11. 松木盛行, 石畝 亨, 平山廉三, 石田秀行.
腹壁ヘルニアの解剖 “腹壁のなりたち”と腹壁ヘルニア.
消化器外科 32 : 1093-1098, 2009

12. 松木盛行, 石畝 亨, 平山廉三, 石田秀行.
腹壁ヘルニアの解剖 大腿ヘルニアの解剖.
消化器外科 32 : 1253-1260, 2009

13. 石田秀行, 石橋敬一郎, 山口研成.
高齢者大腸癌化学療法時の注意点と対策.
外科 72 : 267-271, 2010

その他

1. 石田秀行.
微小肝転移の思い出.
W'Wave, 14 : 50, 2008

学術論文（英文）

原著

1. Nakada H, Ishida H, Hashimoto D, Mori T, Hosono M.
Influence of different pneumoperitoneal pressures on tumor cell distribution in rats.
Surgical Endosc 19:563-568, 2005
2. Ishida H, Nakada H, Yokoyama M, Hayashi Y, Ohsawa T, Inokuma S, Hoshino T, Hashimoto D.
Minilaparotomy approach for colonic cancer: initial experience of 54 cases.
Surgical Endosc 19:316-320, 2005
3. Nemoto T, Kubota S, Ishida H, Murata N, Hashimoto D.
Ornithine decarboxylase, mitogen-activated protein kinase and matrix metalloproteinase-2 expressions in human colonic tumors.
World J Gastroenterol 11:3065-3069, 2005
4. Ishida H.
Laparoscopic surgery and cancer metastasis.
JMAJ 48:462-467, 2005
5. Nomura Y, Takasaki K, Tada M, Yoshimoto M, Ishida H, Murata N, Kubota S.
Pro-MMP-9 is associated with poor prognosis in gastric cancer.
Scand J Gastroenterol 42:1070-1072, 2007
6. Miyazaki T, Okada N, Ishibashi K, Ogata K, Ohsawa T, Ishiguro T, Nakada H, Yokoyama M, Matsuki M, Kato H, Kuwano H, Ishida H.
Clinical significance of plasma level of vascular endothelial growth factor-C in patients with colorectal cancer.
Jpn J Clin Oncol 38:839-843, 2008
7. Iwama T, Kuwabara K, Ushiyama M, Yoshida T, Sugano K, Ishida H.
Identification of somatic APC mutations in recurrent desmoid tumors in a patient with familial adenomatous polyposis to determine actual recurrence of the original tumor or de novo occurrence.
Fam Cancer Aug 15:(Online), 2008

8. Ohsawa T, Sahara T, Muramatsu S, Nishimura Y, Yathuoka T, Tanaka Y, Yamaguchi K, Ishida H, Akagi K.
Colorectal cancer susceptibility associated with the hMLH1 V384D variant.
Mol Med Rep 2:887-891, 2009
9. Ishibashi K, Kuwabara K, Ishiguro T, Ohsawa T, Okada N, Miyazaki T, Yokoyama M, Ishida H.
Short-term intravenous antimicrobial prophylaxis in combination with preoperative oral antibiotics on surgical site infection and methicillin-resistant staphylococcus aureus infection in elective colon cancer surgery: Results of a prospective randomized trial.
Surg Today 39:1032-1039, 2009
10. Miyazaki T, Hokama N, Kubo N, Ishiguro T, Sakimoto T, Ishibashi K, Kato H, Kuwano H, Oohata A, Kikuchi S, Ishida H.
Management of esophageal foreign bodies: experience of 90 cases.
Esophagus 6:155-159, 2009
11. Ishibashi K, Okada N, Miyazaki T, Sano M, Ishida H.
Effect of calcium and magnesium on neurotoxicity and blood platinum concentrations in patients receiving mFOLFOX6 therapy: a prospective randomized study.
Int J Clin Oncol 15:82-87, 2010

症例報告

1. Sakaguchi D, Ishida H, Yamada H, Tsuzuki S, Hayashi Y, Yokoyama M, Hashimoto D.
Incarcerated recurrent rectal prolapse with ileal strangulation: report of a case.
Surg Today 35:415-417, 2005
2. Kuwabara K, Ishida H, Shirakawa K, Yokoyama M, Nakada H, Hayashi Y, Hashimoto D, Miura I, Itoyama S, Heike Y.
Primitive neuroectodermal tumor arising in the colon: report of a case.
Surg Today 36:193-197, 2006
3. Ohsawa T, Tada M and Ishida H.
Tailgut cyst associated with marked elevation of serum carbohydrate antigen 19-9: report of a case.
日本外科系連合学会誌 31 : 235-239, 2006

4. Miyazaki T, Ishiguro T, Ishibashi K, Itoyama S, Ishida H.
Mucosa-associated lymphoid tissue lymphoma of the appendix vermiformis.
Int Surg 95:27-32, 2010

学術論文（和文）

原著

1. 石田秀行, 白川一男, 大澤智徳, 林洋一, 岡田典倫, 中田 博, 横山 勝, 橋本大定.
大腸癌における DNA Topoisomerase-I mRNA 半定量の臨床的意義.
癌と化学療法 32 : 1295-1299, 2005
2. 石田秀行, 白川一男, 大澤智徳, 岡田典倫, 中田 博, 横山 勝, 猪熊滋久, 橋本大定.
大腸癌組織中 Orotate phosphoribosyltransferase mRNA 発現と臨床病理学的因子および 5-Fluorouracil 系抗癌剤の臨床的効果との関係.
日本外科系連合学会誌 30 : 126-133, 2005
3. 中田 博, 橋本大定, 大澤智徳, 傍島 潤, 横山 勝, 石田秀行.
結腸癌に対する臍周囲切開根治術（“臍 HESO sliding window 法”）の経験.
手術 59 : 1743-1746, 2005
4. 中田 博, 石田秀行, 傍島 潤, 桑原公亀, 大澤智徳, 横山 勝, 猪熊滋久, 橋本大定.
大腸癌イレウスに対する術野感染防止対策について.
日本外科感染症学会雑誌 2 : 63-65, 2005
5. 石田秀行, 白川一男, 大澤智徳, 傍島 潤, 林 洋一, 中田 博, 横山 勝, 橋本大定.
大腸癌原発巣における Thymidylate synthase, Dihydropyrimidine Dehydrogenase, Orotate phosphoribosyltransferase mRNA 発現の相互関係と 5-FU 系抗癌剤の効果予測.
癌と化学療法 32 : 1929-1934, 2005
6. 鈴木興秀, 横山 勝, 桑原公亀, 長嶺寿秋, 岡田典倫, 大澤智徳, 中田 博, 石田秀行, 橋本大定.
小切開による S 状結腸軸捻転症根治術 4 例の経験.
日本外科系連合学会誌 30 : 596-599, 2005

7. 中田 博, 石田秀行, 傍島 潤, 大澤智徳, 横山 勝, 橋本大定.
潰瘍性大腸炎に対する gasless laparoscopic surgery 大腸(亜)全摘・回腸肛門(管)
吻合術の手術手技.
手術 60 : 349-354, 2006
8. 石橋敬一郎, 大澤智徳, 横山 勝, 石塚直樹, 宮崎達也, 中田 博, 権田 剛,
石田秀行.
大腸癌同時性多発肝転移 (H3) 症例における肝所属リンパ節転移状況.
癌と化学療法 33 : 1834-1837, 2006
9. 権田 剛, 岡田典倫, 中田 博, 横山 勝, 宮崎達也, 石橋敬一郎, 石田秀行,
松本吉郎, 三浦 健.
大腸癌肝転移における肝動注療法の効果と血漿中 VEGF, Soluble Flt-1 の関係.
癌と化学療法 33 : 1841-1844, 2006
10. 石橋敬一郎, 岡田典倫, 長嶺寿秋, 桑原公亀, 大澤智徳, 横山 勝, 中田 博,
権田 剛, 石田秀行.
血清、腹水中サイトカインを用いた進行結腸癌 (T2/T3) 手術における侵襲の評
価 小切開手術と通常開腹手術を比較して.
日本外科系連合学会誌 31 : 801-806, 2006
11. 石畝 亨, 中田 博, 大澤智徳, 吉田 裕, 崎元雄彦, 横山 勝, 須藤謙一,
権田 剛, 橋本大樹, 北郷邦昭, 石橋敬一郎, 石田秀行.
最近当科で経験した大腸穿孔 20 例の検討.
エンドトキシン血症救命治療研究会誌 10 : 224-228, 2006
12. 中田 博, 石畝 亨, 大澤智徳, 吉田 裕, 崎元雄彦, 横山 勝, 須藤謙一,
権田 剛, 橋本大樹, 北郷邦昭, 石田秀行.
大腸穿孔症例に対する PMX-DHP 施行成績 : 右側穿孔, 左側穿孔に分けて.
エンドトキシン血症救命治療研究会誌 10 : 20-23, 2006
13. 石畝 亨, 宮崎達也, 緒方杏一, 崎元雄彦, 中田 博, 石橋敬一郎, 権田 剛,
石田秀行.
胃悪性腫瘍手術に対する術当日限定予防的抗菌薬投与の妥当性.
日本外科感染症学会雑誌 4 : 269-274, 2007

14. 石橋敬一郎, 傍島 潤, 大澤智徳, 横山 勝, 石塚直樹, 三橋敏武, 宮崎達也, 中田 博, 権田 剛, 石田秀行.
切除不能・再発大腸癌に対し, 2次治療以降に行った mFOLFOX6 療法の治療成績.
日本外科系連合学会誌 32 : 125-130, 2007
15. 石橋敬一郎, 石畝 亨, 傍島 潤, 崎元雄彦, 大澤智徳, 横山 勝, 宮崎達也, 中田 博, 権田 剛, 石田秀行.
大腸癌同時性肝転移症例における肝所属リンパ節転移状況.
日本大腸肛門病学会雑誌 60 : 392-397, 2007
16. 石橋敬一郎, 傍島 潤, 大澤智徳, 横山 勝, 宮崎達也, 中田 博, 権田 剛, 石田秀行.
びまん浸潤型大腸癌における Thymidylate Synthase, Thymidine Phosphorylase, Dihydropyrimidine Dehydrogenase, Orotate Phosphoribosyltransferase mRNA 発現.
癌と化学療法 34 : 1073-1077, 2007
17. 石橋敬一郎, 傍島 潤, 横山 勝, 三橋敏武, 宮崎達也, 中田 博, 権田 剛, 中野 潤, 佐野元彦, 石田秀行.
切除不能・再発大腸癌に対する mFOLFOX6 療法の使用経験.
癌の臨床 53 : 57-63, 2007
18. 石橋敬一郎, 桑原公亀, 大澤智徳, 横山 勝, 宮崎達也, 中田 博, 権田 剛, 石田秀行.
直腸癌手術における周術期経静脈抗菌薬の投与期間短縮化に関する prospective randomized study (中間成績).
日本外科感染症学会雑誌 4 : 285-289, 2007
19. 石橋敬一郎, 桑原公亀, 大澤智徳, 横山 勝, 宮崎達也, 中田 博, 権田 剛, 石田秀行.
結腸癌手術における経静脈抗菌薬の投与期間短縮化に関する prospective randomized study (中間報告).
日本外科感染症学会雑誌 4 : 291-295, 2007
20. 石橋敬一郎, 中田 博, 横山 勝, 三橋敏武, 宮崎達也, 権田 剛, 石田秀行.
大腸穿孔に対する PMX-DHP・CHDF 施行例の特徴と予後改善効果.
日本外科感染症学会雑誌 4 : 211-214, 2007

21. 三橋敏武, 石橋敬一郎, 石畝 亨, 傍島 潤, 崎元雄彦, 横山 勝, 宮崎達也, 中田 博, 権田 剛, 石田秀行.
大腸穿孔の予後予測に有用なスコアは何か? -APACHE II score と MPI, PSS との比較-.
エンドトキシン血症救命治療研究会誌 11 : 100-104, 2007
22. 石橋敬一郎, 傍島 潤, 大澤智徳, 岡田典倫, 横山 勝, 三橋敏武, 宮崎達也, 中田 博, 権田 剛, 石田秀行.
大腸癌同時性転移における肝所属リンパ節の大きさと転移.
癌と化学療法 34 : 2035-2037, 2007
23. 権田 剛, 石橋敬一郎, 横山 勝, 中田 博, 石田秀行.
下部直腸癌 T3 症例における壁外浸潤距離と予後に関する検討.
日本外科系連合学会誌 32 : 833-838, 2007
24. 石橋敬一郎, 大澤智徳, 横山 勝, 中田 博, 石田秀行.
血球成分除去療法無効例に対し、大腸 (亜) 全摘を施行した潰瘍性大腸炎 4 例の意識調査.
消化器科 44 : 543-548, 2007
25. 石田秀行, 横山 勝, 大澤智徳, 石畝 亨, 石橋敬一郎, 中田 博.
潰瘍性大腸炎に対する直腸粘膜切除の工夫一直腸切離先行と E 式開肛器使用の有効性について.
手術 62 : 1839-1844, 2008
26. 石橋敬一郎, 石畝 亨, 久保憲生, 岡田典倫, 大澤智徳, 三橋敏武, 横山 勝, 宮崎達也, 松木盛行, 石田秀行.
PMX-DHP を施行した大腸穿孔症例の術後補助化学療法への移行率と予後.
エンドトキシン血症救命治療研究会誌 12 : 203-207, 2008
27. 石橋敬一郎, 横山 勝, 岡田典倫, 石畝 亨, 大澤智徳, 三橋敏武, 宮崎達也, 松木盛行, 石田秀行.
肝転移 Grade 分類からみた大腸癌同時性肝転移症例における肝所属リンパ節転移.
癌と化学療法 35 : 2183-2185, 2008

28. 石橋敬一郎, 横山 勝, 岡田典倫, 石畝 亨, 大澤智徳, 三橋敏武, 宮崎達也, 松木盛行, 石田秀行, 福田祐樹, 儀賀理暁, 山畑 健, 江口圭介, 中山光男, 菊池功次.
大腸癌肝・肺転移切除例の検討.
癌と化学療法 35 : 2186-2188, 2008
29. 石橋敬一郎, 石畝 亨, 桑原公亀, 大澤智徳, 岡田典倫, 宮崎達也, 横山 勝, 松木盛行, 石田秀行.
実施臨床における Stage III 結腸癌に対する PSK 投与状況.
癌と化学療法 35 : 2283-2285, 2008
30. 石橋敬一郎, 岡田典倫, 石畝 亨, 沖田剛之, 三橋敏武, 宮崎達也, 横山 勝, 松木盛行, 佐野元彦, 井上尚彦, 石田秀行.
切除不能・再発大腸癌に対する 5-Fluorouracil, Irinotecan, Oxaliplatin 3 剤投与の妥当性.
癌と化学療法 35 : 2289-2291, 2008
31. 石橋敬一郎, 岡田典倫, 宮崎達也, 佐野元彦, 石田秀行.
mFOLFOX6 施行後の手術症例における末梢神経障害と白金濃度の関連についての検討.
癌と化学療法 35 : 2445-2448, 2008
32. 横山 勝, 石橋敬一郎, 外間尚子, 石畝 亨, 宮崎達也, 松木盛行, 石田秀行, 儀賀理暁, 山畑 健, 江口圭介, 中山光男, 菊池功次.
新規抗癌剤導入時代の大腸癌肺転移に対する外科治療における諸問題.
癌と化学療法 35 : 2196-2200, 2008
33. 石畝 亨, 崎元雄彦, 久保憲生, 宮崎達也, 石橋敬一郎, 石田秀行.
胃癌に対する小切開 (6-7cm) 手術.
手術 62 : 607-612, 2008
34. 石畝 亨, 石橋敬一郎, 岡田典倫, 桑原公亀, 宮崎達也, 横山 勝, 松木盛行, 佐野元彦, 井上尚人, 石田秀行.
高齢者大腸癌に対する mFOLFOX6 療法の有用性と安全性.
癌と化学療法 35 : 2286-2288, 2008

35. 久保憲生, 石橋敬一郎, 天野邦彦, 石畝 亨, 崎元雄彦, 宮崎達也, 松木盛行, 石田秀行.
大腸穿孔症例における PMX-DHP 施行前後の臨床的パラメーターの変動.
エンドトキシン血症救命治療研究会誌 12 : 209-213, 2008
36. 三橋敏武, 宮崎達也, 崎元雄彦, 久保憲生, 石畝 亨, 岡田典倫, 横山 勝, 石橋敬一郎, 松木盛行, 石田秀行.
遠隔転移を有する食道癌に対する化学療法、化学放射線療法の意義.
癌と化学療法 35 : 1999-2001, 2008
37. 外間尚子, 宮崎達也, 久保憲生, 天野邦彦, 石畝 亨, 傍島 潤, 崎元雄彦, 岡田典倫, 三橋敏武, 石橋敬一郎, 大畑 敦, 菊池 茂, 石田秀行.
当科における消化管異物の検討ー食道義歯異物に対する全身麻酔下摘出の有用性についてー.
日本気管食道科学会会報 59 : 200-207, 2008
38. 石橋敬一郎, 傍島 潤, 石畝 亨, 岡田典倫, 宮崎達也, 横山 勝, 石田秀行.
大腸癌原発巣・肝転移巣における Thymidine Phosphorylase (TP) 発現ー癌細胞内 mRNA 発現と腫瘍組織中蛋白発現量の関係ー.
癌と化学療法 36 : 425-430, 2009
39. 沖田剛之, 小高明雄, 石橋敬一郎, 三橋敏武, 石畝 亨, 岡田典倫, 崎元雄彦, 宮崎達也, 傍島 潤, 石田秀行.
成人鼠径ヘルニアに対する mesh plug 法手術後の再発例の検討.
日臨外会誌 70 : 1599-1603, 2009
40. 桑原公亀, 石橋敬一郎, 石畝 亨, 岡田典倫, 崎元雄彦, 横山 勝, 宮崎達也, 石田秀行.
最近 10 年間に経験した大腸穿孔の検討.
埼玉県医学会雑誌 44 : 1-3, 2009
41. 石橋敬一郎, 外間尚子, 石畝 亨, 桑原公亀, 岡田典倫, 大澤智徳, 宮崎達也, 横山 勝, 石田秀行.
実地臨床における StageIII 直腸癌に対する PSK 投与状況.
癌と化学療法 36 : 1975-1978, 2009

42. 石橋敬一郎, 傍島 潤, 石畝 亨, 大澤智徳, 岡田典倫, 宮崎達也, 横山 勝, 猪熊滋久, 石田秀行.
大腸癌原発巣、肝転移巣における Dihydropyrimidine Dehydrogenase (DPD) 発現—癌細胞内 mRNA 発現と腫瘍組織中蛋白発現量の関係と 5-FU 系抗癌剤の治療効果—.
癌と化学療法 36 : 2232-2235, 2009
43. 石橋敬一郎, 外間尚子, 石畝 亨, 大澤智徳, 岡田典倫, 宮崎達也, 横山 勝, 猪熊滋久, 石田秀行.
直腸癌骨盤内再発に対する治療 (切除 vs 全身化学療法).
癌と化学療法 36 : 2226-2228, 2009
44. 石畝 亨, 石橋敬一郎, 大澤智徳, 崎元雄彦, 宮崎達也, 横山 勝, 石田秀行.
下部直腸癌の側方リンパ節は大きさから予測できるか—プレパレート標本からの検討—.
癌と化学療法 36 : 2223-2225, 2009
45. 岡田典倫, 石橋敬一郎, 横山 勝, 桑原公亀, 幡野 哲, 石井正嗣, 久保田 将, 近 範泰, 田丸淳一, 宮崎達也, 石田秀行.
mFOLFOX6 施行後に行った大腸癌肝転移肝切除例の検討.
癌と化学療法 36 : 2028-2031, 2009
46. 岡田典倫, 石橋敬一郎, 桑原公亀, 石畝 亨, 幡野 哲, 外間尚子, 田島雄介, 石井正嗣, 久保田 将, 近 範泰, 宮崎達也, 石田秀行.
mFOLFOX6 治療におけるアレルギーの発症状況および予後との関係.
癌と化学療法 36 : 1985-1987, 2009
47. 宮崎達也, 石畝 亨, 久保田 将, 外間尚子, 横山洋三, 崎元雄彦, 岡田典倫, 横山 勝, 石橋敬一郎, 山田博文, 石田秀行.
実地医療における高齢者高度進行胃癌に対する化学療法の現況と問題点.
癌と化学療法 36 : 1982-1984, 2009
48. 石井正嗣, 石橋敬一郎, 石畝 亨, 桑原公亀, 大澤智徳, 岡田典倫, 宮崎達也, 横山 勝, 猪熊滋久, 石田秀行.
大腸癌卵巣転移症例の検討—他の腹膜転移症例と比較して—.
癌と化学療法 36 : 2257-2259, 2009

49. 田島雄介, 石橋敬一郎, 石畝 亨, 大澤智徳, 崎元雄彦, 岡田典倫, 宮崎達也, 横山 勝, 山野貴史, 西村敬一郎, 本戸幹人, 高橋健人, 石田秀行.
大腸癌脳転移 12 症例の検討.
癌と化学療法 36 : 2245-2247, 2009

症例報告

1. 幡野 哲, 石田秀行, 大澤智徳, 横山 勝, 中田 博, 橋本大定, 石井俊昭, 岩間毅夫, 吉田輝彦.
ポリープの分布様式に興味を持たれた直腸癌合併家族性大腸腺腫症の 1 例.
埼玉医学会雑誌 40 : 29-33, 2005
2. 北岡 斎, 横山 勝, 大澤智徳, 岡田典倫, 中田 博, 石田秀行, 橋本大定.
小切開法 (gasless laparoscopic assisted) で直腸固定術を行った高齢者直腸脱の 1 例.
埼玉医学会雑誌 40 : 34-36, 2005
3. 小田慶太郎, 橋本大定, 大澤智徳, 中田 博, 石田秀行.
自己血回収装置を用いて術中大量出血に対応しえた巨大後腹膜腫瘍の 1 例.
日本外科系連合学会誌 30 : 679-684, 2005
4. 崎元雄彦, 横山 勝, 石田秀行, 橋本大定.
子宮広間膜裂孔ヘルニアによる絞扼性イレウスに合併した右上肢ガス壊疽の 1 例.
日本外科系連合学会誌 30 : 685-688, 2005
5. 中田 博, 大澤智徳, 横山 勝, 石田秀行.
回腸脂肪腫による成人腸重積症の 2 例
日本外科系連合学会誌 30 : 748-752, 2005
6. 坂口大介, 横山 勝, 猪熊滋久, 石田秀行, 糸山進次.
Crohn 病に合併した回腸癌の 1 例.
日本外科系連合学会誌 31 : 58-62, 2006
7. 中田 博, 大澤智徳, 横山 勝, 石田秀行.
肝膿瘍・下大静脈血栓を合併したクローン病の 1 例.
日本外科系連合学会誌 31 : 198-203, 2006

8. 坂口大介, 横山 勝, 中田 博, 大澤智徳, 権田 剛, 石田秀行, 糸山進次.
回腸原発腺扁平上皮癌の1例.
日本外科系連合学会誌 31 : 204-208, 2006
9. 傍島 潤, 石田秀行, 横山 勝, 中田 博, 大澤智徳, 坂口大介, 権田 剛,
中村欣正.
小腸悪性黒色腫による穿孔性腹膜炎の1例.
日本外科系連合学会誌 31 : 860-864, 2006
10. 桑原公亀, 横山 勝, 石田秀行.
繰り返す痔瘻・肛門周囲膿瘍により生じた高度肛門狭窄に対し, **circular stapling**
が有効であった1例.
日本外科系連合学会誌 31 : 870-873, 2006
11. 権田 剛, 岡田典倫, 安藤 浩, 石田秀行.
S-1/CDDP 併用療法が著効した胃癌肝・リンパ節転移の1例.
日本外科系連合学会誌 31 : 941-945, 2006
12. 天野邦彦, 中田 博, 傍嶋 潤, 桑原公亀, 石橋敬一郎, 権田 剛, 石田秀行,
糸山進次, 青木茂弘.
高齢者盲腸原発 Burkitt リンパ腫の1例.
日本外科系連合学会誌 31 : 956-960, 2006
13. 崎元雄彦, 中田 博, 傍島 潤, 北岡 斎, 石田秀行.
完全直腸脱に対し, PPH 法が無効であった症例から得られた知見について.
埼玉県医学会雑誌 41 : 52-54, 2006
14. 田島雄介, 権田 剛, 長嶺寿秋, 吉田 裕, 須藤謙一, 石田秀行.
胃癌穿孔を契機に診断された陶器様胆嚢合併胆嚢癌の1例.
埼玉県医学会雑誌 41 : 22-26, 2006
15. 長嶺寿秋, 須藤謙一, 吉田 裕, 崎元雄彦, 北郷邦昭, 石田秀行, 佐藤博重,
五条理志, 朝倉利久, 許 俊鋭, 中村欽正.
右房粘液腫を合併した胸部食道癌の1手術例.
埼玉県医学会雑誌 41 : 18-21, 2006

16. 天野邦彦, 石橋敬一郎, 石畝 亨, 傍島 潤, 崎元雄彦, 横山 勝, 中田 博, 宮崎達也, 石田秀行.
Pagetoid spread を呈した肛門管癌の 1 例.
日本外科系連合学会誌 32 : 790-794, 2007
17. 長嶺寿秋, 権田 剛, 崎元雄彦, 北岡 斎, 中田 博, 横山 勝, 石橋敬一郎, 石田秀行, 藤野幸夫, 望月智行.
種々の血管系異常をともなった直腸びまん性海綿状血管腫の 1 例.
日本大腸肛門病学会雑誌 60 : 110-115, 2007
18. 石塚直樹, 石橋敬一郎, 大澤智徳, 横山 勝, 宮崎達也, 中田 博, 石田秀行, 糸山進次.
VEGF および VEGF-C 高発現を呈し、急速な転帰をとった結腸内分泌細胞癌の 1 例.
日本大腸肛門病学会雑誌 60 : 269-275, 2007
19. 岡田典倫, 石橋敬一郎, 中田 博, 宮崎達也, 傍島 潤, 権田 剛, 石田秀行.
腹腔内洗浄・Cisplatin 投与を施行した腹膜偽粘液腫の 5 例.
癌と化学療法 34 : 1955-1957, 2007
20. 天野邦彦, 石橋敬一郎, 中田 博, 岡田典倫, 宮崎達也, 権田 剛, 石田秀行, 高橋健夫.
放射線療法により Complete Response が得られた高齢者肛門管扁平上皮癌の 1 例.
癌と化学療法 34 : 2025-2028, 2007
21. 石橋敬一郎, 傍島 潤, 岡田典倫, 石塚直樹, 横山 勝, 三橋敏武, 宮崎達也, 中田 博, 権田 剛, 石田秀行.
mFOLFOX6 療法を含む集学的治療が奏効した虫垂原発腹膜偽粘液腫の 1 例.
癌と化学療法 34 : 2047-2049, 2007
22. 田島雄介, 石橋敬一郎, 権田 剛, 宮崎達也, 中田 博, 石田秀行, 高橋健夫.
化学放射線療法で Complete Response が得られた肛門管癌扁平上皮癌の 1 例.
癌と化学療法 34 : 2050-2052, 2007
23. 傍島 潤, 大澤智徳, 岡田典倫, 横山 勝, 石橋敬一郎, 石田秀行.
S 状結腸癌の卵巣転移により pseudo-Meigs 症候群を呈した 1 例.
日本外科系連合学会誌 32 : 778-782, 2007

24. 緒方杏一, 宮崎達也, 石畝 亨, 吉田 裕, 崎元雄彦, 権田 剛, 石田秀行, 田丸淳一, 糸山進次, 斎藤加奈, 櫻井信司, 加部吉男.
腹腔内出血を契機に診断された胃原発 GIST 再発の 1 例.
埼玉県医学会雑誌 42 : 345-350, 2007
25. 横山 勝, 石橋敬一郎, 桑原公亀, 大澤智徳, 中田 博, 石田秀行, 岩間毅夫, 吉田輝彦.
DOX (Doxorubicin)・DITC (Dacarbazine) 療法が有効であった家族性大腸腺腫症術後デスマイドの 1 例.
埼玉県医学会雑誌 42 : 368-370, 2007
26. 石塚直樹, 石橋敬一郎, 大澤智徳, 横山 勝, 石田秀行, 高田 伸.
PET-CT が術前鼠径部リンパ節転移診断に有用であった下部直腸・肛門管癌の 1 例.
埼玉県医学会雑誌 42(2) : 371-374, 2007
27. 石畝 亨, 石橋敬一郎, 宮崎達也, 北岡 斎, 崎元雄彦, 石田秀行.
小切開・腹腔鏡補助下に胃部分切除を施行した胃上部（穹隆部）gastrointestinal stomal tumor (GIST) 3 例の経験.
日本外科系連合学会誌 33 : 30-34, 2008
28. 石畝 亨, 北岡 斎, 崎元雄彦, 宮崎達也, 横山 勝, 石橋敬一郎, 松木盛行, 石田秀行, 田丸淳一.
空腸軸捻転を合併した成人腸間膜乳び嚢腫の 1 例.
日本外科系連合学会誌 33 : 799-804, 2008
29. 石畝 亨, 北岡 斎, 崎元雄彦, 宮崎達也, 横山 勝, 石橋敬一郎, 松木盛行, 井上尚人, 佐野元彦, 石田秀行.
肝門部リンパ節転移による閉塞性黄疸に対し mFOLFOX6 療法を導入し得た直腸癌多発肝転移の 1 例.
癌と化学療法 35 : 2138-2140, 2008
30. 岡田典倫, 石橋敬一郎, 石畝 亨, 中田 博, 宮崎達也, 石田秀行.
プロテイン C 欠乏症により門脈血栓症, 小腸壊死を来した 1 例.
日本外科系連合学会誌 33 : 611-616, 2008

31. 幡野 哲, 宮崎達也, 横山 勝, 石橋敬一郎, 松木盛行, 加藤真吾, 藤野幸夫, 望月智行, 石田秀行.
動脈塞栓術で止血後にダブルバルーン内視鏡で診断し得た出血性回腸潰瘍の1例.
日本外科系連合学会誌 33 : 889-892, 2008
32. 田島雄介, 石橋敬一郎, 岡田典倫, 傍島 潤, 北岡 齋, 宮崎達也, 横山 勝, 松木盛行, 石田秀行, 秦 怜志.
上部消化管造影後にバリウム腹膜炎を生じた横行結腸癌口側穿孔の1例.
日本腹部救急医学会雑誌 28 : 735-738, 2008
33. 久保田 将, 宮崎達也, 石畝 亨, 崎元雄彦, 石橋敬一郎, 松木盛行, 石田秀行, 鈴木勝也, 竹内 勤, 百瀬修二, 糸山進次.
左胃動脈瘤破裂に対して緊急手術を施行した悪性関節リウマチの1例.
日本外科系連合学会誌 33 : 584-589, 2008
34. 北岡 齋, 石橋敬一郎, 権田 剛, 石畝 亨, 崎元雄彦, 中田 博, 宮崎達也, 石田秀行.
成人直腸重複症の1例.
日本外科系連合学会誌 33 : 54-57, 2008
35. 竹内幾也, 石田秀行, 大西 清, 黒田 一, 牛尼美年子, 吉田輝彦, 岩間毅夫.
家族性大腸腺腫症に対する予防的結腸切除後に認めた甲状腺癌の1例.
日本大腸肛門病学会雑誌 61 : 62-70, 2008
36. 天野邦彦, 宮崎達也, 崎元雄彦, 石畝 亨, 石橋敬一郎, 石田秀行, 小澤文明, 糸山進次.
幽門狭窄を伴った十二指腸球部癌の1例.
日本外科系連合学会誌 31 : 72-76, 2009
37. 石井正嗣, 宮崎達也, 石橋敬一郎, 石田秀行, 豊住康夫, 糸山進次.
6cm 大の幽門下リンパ節の転移を伴った多発胃粘膜癌の1例.
日本外科系連合学会誌 34 : 61-66, 2009
38. 北岡 齋, 石橋敬一郎, 岡田典倫, 傍島 潤, 田島雄介, 宮崎達也, 石田秀行.
小腸穿孔の原因となった魚骨が肛門側腸管に移動した1例.
日本外科系連合学会誌 34 : 221-225, 2009

39. 三橋敏武, 岡野 隆, 本宮 洋, 鈴木慶太, 弘田達哉, 石田秀行, 橋本大定.
開腹の既往があり、イレウスを繰り返した、腸結核の1症例.
埼玉県医学会雑誌 43 : 454-459, 2009
40. 幡野 哲, 岡田典倫, 宮崎達也, 石橋敬一郎, 松木盛行, 石田秀行.
出産直後に診断された stage IV 大腸癌の1例.
埼玉県医学会雑誌 43 : 414-416, 2009
41. 外間尚子, 宮崎達也, 田島雄介, 岡田典倫, 石橋敬一郎, 中田 博, 松木盛行,
福田祐樹, 儀賀理暁, 山畑 健, 中山光男, 菊池功次, 鈴木 毅, 石田秀行.
転移巣に対して複数回の手術を施行した紡錘細胞肉腫の1例.
埼玉県医学会雑誌 43 : 410-413, 2009
42. 桑原公亀, 石橋敬一郎, 大澤智徳, 横山 勝, 石田秀行, 糸山進次.
潰瘍性大腸炎に合併した大腸 inflammatory fibroid polyp の1例.
日本外科系連合学会誌 34 : 1106-1109, 2010
43. 近 範泰, 宮崎達也, 横山洋三, 北岡 斎, 石畝 亨, 横山 勝, 石橋敬一郎,
石田秀行, 佐藤恵子, 屋嘉比康治.
スプーンを誤飲した神経性食思不振症の1例.
日本期間食道科学会会報 61 : 41-45, 2010
44. 田島雄介, 宮崎達也, 近 範泰, 横山洋三, 石畝 亨, 横山 勝, 石橋敬一郎,
松木盛行, 石田秀行.
急速な転帰をたどった胃内分泌細胞癌の1例.
埼玉県医学会雑誌 44 : 421-424, 2010
45. 石井正嗣, 石橋敬一郎, 横山 勝, 桑原公亀, 石畝 亨, 大澤智徳, 岡田典倫,
宮崎達也, 松木盛行, 石田秀行.
S 状結腸癌卵巣転移による pseudo-Meigs 症候群の1例.
埼玉県医学会雑誌 44 : 443-447, 2010
46. 久保田 将, 横山 勝, 幡野 哲, 沖田剛之, 宮崎達也, 石橋敬一郎,
松木盛行, 石田秀行, 紫藤和久, 望月智行.
mFOLFOX6 療法で著効が得られた直腸癌・同時性肝転移の1例.
埼玉県医学会雑誌 44 : 448-452, 2010

学会発表（国際学会）

1. Ishida H, Yokoyama M, Hayashi Y, Ohsawa T, Nakada H, Hashimoto D.
Is there a learning curve in performing curative resection of colon cancer via minilaparotomy?
13th International Congress of the European Association for Endoscopic Surgery (EAES). Venice, Italy, June 1-4, 2005 (Poster)
2. Hayashi Y, Ishida H, Yokoyama M, Ohsawa T, Nakada H, Hashimoto D.
The impact of body mass index on performing curative colectomy via minilaparotomy approach.
13th International Congress of the European Association for Endoscopic Surgery (EAES). Venice, Italy, June 1-4, 2005 (Poster)
3. Ishiguro T, Gonda T, Osawa T, Sakimoto T, Yokoyama M, Nakada H and Ishida H.
Plasma levels of VEGF-C in colorectal cancer.
XXI Biennial congress of the international society of university colon and rectal surgeons (ISUCRS). Istanbul, Turkey, June 25-28, 2006 (Poster)
4. Nakada H, Gonda T, Ishiguro T, Osawa T, Sakimoto T, Yokoyama M and Ishida H.
Prognosis of colonic perforation associated with colorectal cancer.
XXI Biennial congress of the international society of university colon and rectal surgeons (ISUCRS). Istanbul, Turkey, June 25-28, 2006 (Poster)
5. Sobajima J, Gonda T, Osawa T, Yokoyama M, Nakada H and Ishida H.
Thymidine phosphorylase (TP) and dihydropyrimidine dehydrogenase (DPD) in colorectal cancer: Gene expressions level vs. Protein level.
XXI Biennial congress of the international society of university colon and rectal surgeons (ISUCRS). Istanbul, Turkey, June 25-28, 2006 (Poster)
6. Ishibashi K, Yokoyama M, Hayashi Y, Ohsawa T, Nakada H, Ishida H, Hashimoto D.
Factors affecting the difficulties in performing curative resection for locally advanced sigmoid colon cancer via minilaparotomy in non-overweight patients.
10th World Congress of Endoscopic Surgery. Berlin, Germany, September 14, 2006 (Poster)

7. Okada N, Nakada H, Yokoyama M, Miyazaki T, Ishibashi K, Gonda T, Ishida H.
Serum levels of soluble Fms-like tyrosine kinase-1(sFlt-1) in colorectal cancer patients.
The 10th Korea-Japan-China Colorectal Cancer Symposium. Seoul, Korea, September 16, 2006 (Poster)
8. Gonda T, Nakada H, Ishibashi K, Ishida H.
The Peutz-Jeghers syndrom and malignant tumor: A Review of the recent literature.
The 2nd Biennial Scientific Meeting of the International Society for Gastrointestinal Hereditary Tumours. Yokohama, Japan, Murch 27-30, 2007 (Poster)
9. Ishiguro T, Miyazaki T, Okada N, Sakimoto T, Ishibashi K, Ishida H.
Minilaparotomy approach for perforated duoneal ulcer.
15th International Congress of the European Association for Endoscopic Surgery (EAES). Athens, Greece, July 4-7, 2007 (Poster)
10. Ishiguro T, Miyazaki T, Okada N, Sakimoto T, Ishibashi K, Ishida H.
Minilaparotomy approach for gastric cancer: Initial experience of 14 cases.
15th International Congress of the European Association for Endoscopic Surgery (EAES). Athens, Greece, July 4-7, 2007 (Poster)
11. Ishibashi K, Ohsawa T, Ishiguro T, Yokoyama M, Nakada H, Miyazaki T, Gonda T, Ishida H.
Impact of previous laparotomy on curative resection for colon cancer via minilaparotomy.
15th International Congress of the European Association for Endoscopic Surgery (EAES). Athens, Greece, July 4-7, 2007 (Poster)
12. Ishida H, Ishibashi K, Yokoyama M, Nakada H, Okada N, Ohsawa T.
Factors affecting the difficulties in curative right hemicolectomy via minilaparotomy approach in non-overweight patients.
15th International Congress of the European Association for Endoscopic Surgery (EAES). Athens, Greece, July 4-7, 2007 (Poster)

13. Ishibashi K, Ohsawa T, Yokoyama M, Miyazaki T, Nakada H, Gonda T, Ishida H.
Hepatic lymph node involvement in patients with synchronous multiple liver metastasis of colorectal cancer.
11th Congress of Asian Federation of Coloproctology. Tokyo, Japan, September 20-22, 2007 (Poster)
14. Ishibashi K, Okada N, Ishiguro T, Yokoyama M, Miyazaki M, Matsuki M, Ishida H.
Effect of Ca/Mg on neurotoxicity and blood concentration of platinum therapy: A prospective randomized study.
44th Annual Meeting of American Society of Clinical Oncology (ASCO). Chicago, USA, May 30-June 3, 2008 (Poster)
15. Yokoyama M, Tajima Y, Hokama N, Kitaoka T, Hatano S, Ishiguro T, Kuwabara K, Sakimoto T, Okada N, Okita T, Mitsuhashi T, Miyazaki T, Ishibashi K, Matsuki M, Ishida H.
Oncological outcomes of curative colectomy via minilaparotomy for stage II and stage III colon cancer.
International union against cancer UICC World Cancer Congress. Geneva, Switzerland, August 27-31, 2008 (Poster)
16. Miyazaki T, Kato H, Nakajima M, Fukuchi M, Yokoyama M, Ishibashi K, Kuwano H, Matsuki M, Ishida H.
FAK overexpression is correlated with tumour invasiveness and lymph node metastasis in oesophageal squamous cell carcinoma.
International union against cancer UICC World Cancer Congress. Geneva, Switzerland, August 27-31, 2008 (Poster)
17. Ishibashi K, Yokoyama M, Kuwabara K, Ishii M, Ishiguro T, Osawa T, Okada N, Matsuki M, Ishida H.
Factors affecting the prognosis of patients who underwent resection of pulmonary metastasis from colorectal cancer.
International Society of University Colon & Rectal Surgeons. San Diego, USA, September 13-17, 2008 (Oral)

18. Kuwabara K, Ishibashi K, Ishii M, Ishiguro T, Osawa T, Okada N, Yokoyama M, Miyazaki T, Matsuki M, Ishida H.
Intermediate results of a prospective randomized study assessing a brief course of perioperative intravenous antimicrobial prophylaxis in rectal cancer surgery.
International Society of University Colon & Rectal Surgeons. San Diego, USA, September 13-17, 2008 (Oral)
19. Ishibashi K, Kuwabara K, Ishii M, Ishiguro T, Osawa T, Okada N, Yokoyama M, Miyazaki T, Matsuki M, Ishida H.
Hepatic lymph node involvement in patients with synchronous liver metastasis of colorectal cancer.
International Society of University Colon & Rectal Surgeons. San Diego, USA, September 13-17, 2008 (Oral)
20. Ishii M, Ishibashi K, Yokoyama M, Kuwabara K, Ishiguro T, Ohsawa T, Okada N, Miyazaki T, Matsuki M, Ishida H.
Pseudo-Meigs' syndrome caused by ovarian metastasis from colorectal cancer: report of 4 cases and review of the Japanese literature.
International Society of University Colon & Rectal Surgeons. San Diego, USA, September 13-17, 2008 (Poster)
21. Ishibashi K, Miyazaki T, Ishiguro T, Okada N, Yokoyama M, Ishida H.
Clinical significance of plasma level of vascular endothelial growth factor-C in patients with colorectal cancer.
The 11th Japan-China-Korea Symposium for Colorectal Cancer. Tokyo, Japan, December 4-5, 2008 (Oral)
22. Ishibashi K, Okada N, Ishiguro T, Miyazaki T, Yokoyama M, Ishida H.
Polymorphisms of TS and ERCC1 in metastatic colorectal cancer treated by first line mFOLFOX6 regimen.
The 11th Japan-China-Korea Symposium for Colorectal Cancer. Tokyo, Japan, December 4-5, 2008 (Oral)

23. Ishibashi K, Okada N, Ishiguro T, Yokoyama M, Miyazaki T, Sano M, Ishida H. Polymorphisms of GSTP1, GSTT1, GSTM1, MTHFR, TS, ERCC1, and ERCC2 in metastatic colorectal cancer treated by first-line mFOLFOX6 chemotherapy. 45th Annual Meeting of American Society of Clinical Oncology (ASCO). Orlando, USA, May 29-June 2, 2009 (Poster)
24. Ishida H, Ishibashi K, Kumamoto K, Ohsawa T, Okada N, Haga N, Yokoyama M, Nakada H, Gonda T, Iwama T. Significance of hepatic lymph node metastasis in patients with liver metastasis of colorectal cancer in the era of effective chemotherapy. The 24th Biennial Congress of the ISUCRS. Seoul, Korea, March 19-23, 2010 (Oral)
25. Tajima Y, Ishibashi K, Hokama N, Hatano S, Kuwabara K, Orsawa T, Okada N, Kumamoto K, Haga N, Ishida H. Usefulness of sennoside as a mechanical preparation for elective colon cancer surgery. The 24th Biennial Congress of the ISUCRS. Seoul, Korea, Murch 19-23, 2010 (Oral)
26. Hatano S, Ishibashi K, Ishiguro T, Ohsawa T, Okada N, Kumamoto K, Yokoyama M, Haga N, Ishida H. Is it possible to predict lateral lymph node metastasis by their sizes in patients with lower rectal cancer? The 24th Biennial Congress of the ISUCRS. Seoul, Korea, March 19-23, 2010 (Oral)
27. Hatano S, Ishibashi K, Ishiguro T, Ohsawa T, Okada N, Kumamoto K, Yokoyama M, Haga N, Ishida H. Selection of high-risk patients with stage II colon cancer. The 24th Biennial Congress of the ISUCRS. Seoul, Korea, March 19-23, 2010 (Poster)
28. Kumamoto K, Ishibashi K, Ishiguro T, Ohsawa T, Okada N, Haga N, Ishida H. Introduction rate of adjuvant chemotherapy and prognoses of patients who underwent surgery with colorectal perforation associated with colorectal Cancer. The 24th Biennial Congress of the ISUCRS. Seoul, Korea, March 19-23, 2010 (Poster)
29. Kumamoto K, Kuwabara K, Ishibashi K, Ishiguro T, Ohsawa T, Okada N, Haga N, Ishida H. Evaluation of prognostic factors of colorectal perforation by logistic regression analysis. The 24th Biennial Congress of the ISUCRS. Seoul, Korea, March 19-23, 2010 (Poster)

30. Ishii M.
Curative resection of locally advanced transverse colon cancer via a minilaparotomy approach.
The 24th Biennial Congress of the ISUCRS. Seoul, Korea, March 19-23, 2010 (Poster)
31. Tajima Y, Ishibashi K, Kuwabara K, Ohsawa T, Okada N, Yokoyama M, Kumamoto K, Haga N, Idshida H.
Impact of prior abdominal surgery on the curative resection of colon cancer via a minilaparotomy approach.
The 24th Biennial Congress of the ISUCRS. Seoul, Korea, March 19-23, 2010 (Poster)
32. Yamamoto A, Kumamoto K, Ishiguro T, Ohsawa T, Okada N, Ishibashi K, Haga N, Ishida H.
A very rare case of neoplasm with perivascular epithelioid cell differentiation (PEComa) of colon with invagination discovered with anemia.
The 24th Biennial Congress of the ISUCRS. Seoul, Korea, March 19-23, 2010 (Poster)

学会・研究会発表（国内）

1. 鈴木興秀, 中田 博, 大澤智徳, 横山 勝, 石田秀行, 橋本大定.
術前 CT で診断し得た小腸脂肪腫による成人腸重積の 1 例.
第 796 回外科集談会, 東京, 2005.6.12 (口演)
2. 権田 剛, 石田秀行, 大澤智徳, 横山 勝, 中田 博, 橋本大定.
手術リスク評価法 E-PASS による高齢者 (75 歳以上) 結腸癌小切開手術の評価.
第 30 回日本外科系連合学会学術集会, 東京, 2005.6.24-25 (口演)
3. 小高明雄, 橋本大定, 石田文孝, 川嶋 寛, 猪熊滋久, 石田秀行, 星野高伸, 谷水長丸, 高橋茂樹, 里見 昭.
臍部切開 sliding window 法によって大きな皮膚切開を回避し得た小児 2 例の手術経験.
第 42 回日本小児外科学会総会, 千葉, 2005.7.1-3 (示説)
4. 大澤智徳, 中田 博, 横山 勝, 石田秀行, 橋本大定.
当科における直腸癌に対する局所切除 18 例の検討.
第 63 回大腸癌研究会, 東京, 2005.7.8 (示説)

5. 権田 剛, 石田秀行, 大澤智徳, 横山 勝, 中田 博, 橋本大定.
手術リスク評価法 E-PASS による結腸癌手術の評価.
第 60 回日本消化器外科学会定期学術集会, 東京, 2005.7.20-22 (口演)
6. 傍島 潤, 中田 博, 大澤智徳, 横山 勝, 石田秀行.
大腸癌における Thymidine phosphorylase (TP), Dihydropyrimidine dehydrogenase (DPD) の発現.ELISA 法による蛋白発現 vs. LCM 法による mRNA 発現.
第 60 回日本大腸肛門病学会総会, 東京, 2005.10.28-29 (口演)
7. 中田 博, 大澤智徳, 横山 勝, 石田秀行.
大腸癌肺転移症例における原発巣の Budding の検討.
第 60 回日本大腸肛門病学会総会, 東京, 2005.10.28-29 (口演)
8. 長嶺寿秋, 北岡 斎, 中田 博, 横山 勝, 橋本大樹, 権田 剛, 石田秀行.
虫垂に血管腫が存在した直腸びまん性海綿状血管腫の 1 例.
第 60 回日本大腸肛門病学会総会, 東京, 2005.10.28-29 (口演)
9. 桑原公亀, 中田 博, 大澤智徳, 横山 勝, 石田秀行.
下大静脈血栓症と肝膿瘍を伴ったクローン病の 1 例.
第 60 回日本大腸肛門病学会総会, 東京, 2005.10.28-29 (口演)
10. 大澤智徳, 中田 博, 横山 勝, 傍島 潤, 石田秀行, 橋本大定.
横行結腸癌に対する小切開横行結腸切除術の経験.
第 60 回日本大腸肛門病学会総会, 東京, 2005.10.28-29 (口演)
11. 大澤智徳, 横山 勝, 中田 博, 傍島 潤, 桑原公亀, 石田秀行.
BMI が小開腹による結腸癌根治術に及ぼす影響.
第 60 回日本大腸肛門病学会総会, 東京, 2005.10.28-29 (口演)
12. 権田 剛, 大澤智徳, 中田 博, 横山 勝, 石田秀行, 橋本大定.
結腸癌に対する小切開根治術に steep learning curve は存在するか?
第 60 回日本大腸肛門病学会総会, 東京, 2005.10.28-29 (口演)
13. 横山 勝, 石田秀行, 大澤智徳, 中田 博, 権田 剛.
患者の意思を尊重した進行・再発大腸癌における 5-FU 系抗癌剤の薬剤選択.
第 60 回日本大腸肛門病学会総会, 東京, 2005.10.28-29 (口演)

14. 中田 博, 大澤智徳, 横山 勝, 石田秀行.
大腸穿孔に対する PMX 療法と持続血液濾過 (CHDF) 併用についての検討.
第 60 回日本大腸肛門病学会総会, 東京, 2005.10.28-29 (口演)
15. 北岡 斎, 大澤智徳, 中田 博, 横山 勝, 石田秀行.
横行結腸癌・門脈内腫瘍栓に対し、根治手術を施行し得た 1 例.
第 60 回日本大腸肛門病学会総会, 東京, 2005.10.28-29 (口演)
16. 三橋敏武, 白川一男, 石田秀行, 平家勇司, 小高明雄, 若杉 尋, 橋本大定.
大腸癌原発巣, 肝転移巣における脈管形成, 血管新生関連遺伝子の解析と臨床病理学的検討.
第 105 回日本外科学会定期学術集会, 名古屋, 2005.5.11-13 (示説)
17. 牧田陽一郎, 白川一男, 石田秀行, 平家勇司, 若杉 尋, 橋本大定.
大腸癌原発巣におけるリンパ管新生関連遺伝子の発現レベル解析.
第 105 回日本外科学会定期学術集会, 名古屋, 2005.5.11-13 (示説)
18. 中田 博, 石田秀行, 傍島 潤, 大澤智徳, 横山 勝, 橋本大定.
解剖学的膜構造を重視した進行結腸癌に対する小切開根治術 (sliding window 法).
第 105 回日本外科学会定期学術集会, 名古屋, 2005.5.11-13 (ビデオセッション)
19. 傍島 潤, 中田 博, 天野邦彦, 権田 剛, 石田秀行.
再発閉鎖孔ヘルニアの 1 例.
第 67 回日本臨床外科学会総会, 東京, 2005.11.9-11 (口演)
20. 菊地政貴, 鈴木興秀, 石畝 亨, 大澤智徳, 横山 勝, 石田秀行.
原発不明の腺癌腸間膜転移の 1 例.
第 67 回日本臨床外科学会総会, 東京, 2005.11.9-11 (口演)
21. 傍島 潤, 崎元雄彦, 中田 博, 権田 剛, 石田秀行.
当科における十二指腸潰瘍穿孔の検討.
第 67 回日本臨床外科学会総会, 東京, 2005.11.9-11 (口演)
22. 桑原公亀, 石田秀行, 横山 勝.
Circular stapler にて肛門狭窄を治癒し得た 1 例.
第 67 回日本臨床外科学会総会, 東京, 2005.11.9-11 (口演)

23. 今村 仁, 横山 勝, 鈴木興秀, 大澤智徳, 中田 博, 権田 剛, 石田秀行.
腹腔内まで炎症が及んだ縫合糸膿瘍の1例.
第67回日本臨床外科学会総会, 東京, 2005.11.9-11 (口演)
24. 長嶺寿秋, 権田 剛, 崎元雄彦, 傍島 潤, 中田 博, 石田秀行.
術前診断し得た Winslow 孔ヘルニアの1例.
第67回日本臨床外科学会総会, 東京, 2005.11.9-11 (口演)
25. 横山 勝, 石田秀行, 大澤智徳, 中田 博, 権田 剛.
高度進行大腸癌に対する TS-1+CPT-11 併用療法の経験.
第67回日本臨床外科学会総会, 東京, 2005.11.9-11 (口演)
26. 今村 仁, 中田 博, 横山 勝, 大澤智徳, 石田秀行.
肛門管類基底細胞癌 (Basaloid carcinoma) の1例.
第67回日本臨床外科学会総会, 東京, 2005.11.9-11 (口演)
27. 三谷知之, 中田 博, 大澤智徳, 横山 勝, 石田秀行.
放射線療法が奏効した肛門管扁平上皮癌の1例.
第67回日本臨床外科学会総会, 東京, 2005.11.9-11 (口演)
28. 天野邦彦, 傍島 潤, 桑原公亀, 中田 博, 権田 剛, 石田秀行, 青木茂弘.
術前内視鏡検査で診断し得た盲腸 Burkitt リンパ腫の1例.
第67回日本臨床外科学会総会, 東京, 2005.11.9-11 (口演)
29. 大澤智徳, 横山 勝, 中田 博, 石田秀行.
短期間に再発した横行結腸原発内分泌細胞癌の1例.
第67回日本臨床外科学会総会, 東京, 2005.11.9-11 (口演)
30. 北岡 斎, 崎元雄彦, 橋本大樹, 須藤謙一, 長嶺寿秋, 石田秀行.
小切開下に胃局所切除を施行した胃窮隆部 GIST の2例.
第67回日本臨床外科学会総会, 東京, 2005.11.9-11 (口演)
31. 中田 博, 大澤智徳, 横山 勝, 石田秀行, 松本春信, 佐藤 紀.
横行結腸の門脈内腫瘍栓に対し, 門脈再建を伴う臍頭十二指腸切除と結腸右半切除 (D3) を施行した1症例.
第67回日本臨床外科学会総会, 東京, 2005.11.9-11 (ビデオセッション)

32. 中田 博, 傍島 潤, 大澤智徳, 横山 勝, 石田秀行, 橋本大定.
腹腔鏡下手術にかわりうる結腸癌に対する小切開手術 3群リンパ節郭清の
意義.
第 67 回日本臨床外科学会総会, 東京, 2005.11.9-11 (口演)
33. 権田 剛, 大澤智徳, 横山 勝, 中田 博, 石田秀行.
進行・再発大腸癌患者の外来化学療法におけるインフォームドチョイスに基づ
いた薬剤選択.
第 67 回日本臨床外科学会総会, 東京, 2005.11.9-11 (パネルディスカッション)
34. 石畝 亨, 大澤智徳, 横山 勝, 中田 博, 石田秀行.
超高齢者の上行結腸に発生した腺扁平上皮癌の 1 例.
第 67 回日本臨床外科学会総会, 東京, 2005.11.9-11 (口演)
35. 崎元雄彦, 中田 博, 傍島 潤, 北岡 斎, 石田秀行.
完全直腸脱に対し, PPH が無効であった症例から得られた知見について.
第 23 回埼玉外科集談会, さいたま, 2005.11.26 (口演)
36. 田島雄介, 長嶺寿秋, 吉田 裕, 須藤謙一, 石田秀行.
胃癌穿孔を契機に診断された陶器様胆嚢合併胆嚢癌の一例.
第 23 回埼玉外科集談会, さいたま, 2005.11.26 (口演)
37. 長嶺寿秋, 須藤謙一, 吉田 裕, 崎元雄彦, 北郷邦昭, 石田秀行, 佐藤博重,
五条理志, 朝倉利久, 許 俊鋭, 中村欽生.
右房粘液腫を合併した胸部食道癌の 1 手術例.
第 23 回埼玉外科集談会, さいたま, 2005.11.26 (口演)
38. 傍島 潤, 中田 博, 天野邦彦, 権田 剛, 石田秀行.
人工肛門閉鎖後の合併症について: 術後感染を中心に.
第 18 回日本外科感染症学会, 長岡, 2005.11.25-26 (口演)
39. 林 洋一, 村田宣夫, 岡田典倫, 小澤文明, 権田 剛, 石田秀行, 橋本大定.
繰り返す腹痛を訴える患者に大腸内視鏡生検を行い術前診断できた小腸癌の
1 例.
第 81 回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 東京, 2005.11.26 (口演)

40. 権田 剛, 大澤智徳, 横山 勝, 中田 博, 石田秀行.
Ss (a1), se (a2) 大腸癌の比較検討.
第 64 回大腸癌研究会, 東京, 2006.1.20 (口演)
41. 中田 博, 石畝 亨, 大澤智徳, 横山 勝, 権田 剛, 石田秀行.
Rb (P) 直腸癌に対する側方リンパ節転移の術前画像診断の工夫: MRI と CT の
診断の有用性について.
第 64 回大腸癌研究会, 東京, 2006.1.20 (示説)
42. 中田 博, 石畝 亨, 大澤智徳, 吉田 裕, 崎元雄彦, 横山 勝, 須藤謙一,
権田 剛, 橋本大樹, 北郷邦昭, 石田秀行.
下部消化管穿孔症例に対する PMX 施行成績: 右側・左側に分けて.
第 10 回エンドトキシン血症救命治療研究会, 久留米, 2006.2.23-24 (シンポジ
ウム)
43. 石畝 亨, 中田 博, 大澤智徳, 吉田 裕, 崎元雄彦, 横山 勝, 須藤謙一,
権田 剛, 橋本大樹, 北郷邦昭, 石田秀行.
最近当科で経験した下部消化管穿孔 20 例の検討.
第 10 回エンドトキシン血症救命治療研究会, 久留米, 2006.2.23-24 (口演)
44. 中田 博, 傍島 潤, 大澤智徳, 横山 勝, 石田秀行, 橋本大定.
小切開法で行った結腸癌の術後の合併症と中期予後.
第 106 回日本外科学会定期学術集会, 東京, 2006.3.29-31 (示説)
45. 大澤智徳, 桑原公亀, 中田 博, 横山 勝, 石田秀行.
複数回の抗癌剤腹腔内投与で比較的長期生存を得た悪性胸腹膜中皮腫の 1 例.
第 31 回日本外科系連合学会学術集会, 金沢, 2006.6.22-23 (示説)
46. 石橋敬一郎, 大澤智徳, 横山 勝, 石塚直樹, 宮崎達也, 中田 博, 権田 剛,
石田秀行.
大腸癌同時性多発肝転移 (H3) 症例における肝所属リンパ節転移状況.
第 28 回日本癌局所療法研究会, 東京, 2006.6.30 (口演)
47. 権田 剛, 岡田典倫, 中田 博, 横山 勝, 宮崎達也, 石橋敬一郎, 石田秀行,
松本吉郎, 三浦 健.
大腸癌肝転移における肝動注療法の効果と血漿中 VEGF・Flt-1 の関係.
第 28 回日本癌局所療法研究会, 東京, 2006.6.30 (口演)

48. 石橋敬一郎, 傍島 潤, 大澤智徳, 石塚直樹, 横山 勝, 宮崎達也, 中田 博, 権田 剛, 石田秀行, 白川一男, 橋本大定.
大腸癌原発巣における TS, DPD, OPRTmRNA 発現の相互関係と 5-FU 系抗癌剤の効果予測.
第 65 回大腸癌研究会, 弘前, 2006.7.7 (口演)
49. 中田 博, 石畝 亨, 大澤智徳, 吉田 裕, 崎元雄彦, 横山 勝, 須藤謙一, 石塚直樹, 権田 剛, 石田秀行.
大腸癌穿孔症例の長期予後の検討.
第 61 回日本消化器外科学会定期学術総会, 横浜, 2006.7.13-15 (口演)
50. 権田 剛, 大澤智徳, 横山 勝, 須藤謙一, 中田 博, 石田秀行.
手術リスク評価法 E-PASS によるハイリスク症例に対する結腸癌小切開手術の評価.
第 61 回日本消化器外科学会定期学術総会, 横浜, 2006.7.13-15 (口演)
51. 権田 剛, 横山 勝, 中田 博, 石橋敬一郎, 石田秀行, 岩間毅夫.
Peutz-Jeghers 症候群の癌発生に関する近年の傾向 (文献集計による検討).
第 61 回日本大腸肛門病学会総会, 弘前, 2006.9.29-30 (ワークショップ)
52. 石橋敬一郎, 石畝 亨, 傍島 潤, 大澤智徳, 崎元雄彦, 横山 勝, 宮崎達也, 中田 博, 権田 剛, 石田秀行.
大腸癌同時性肝転移症例における肝所属リンパ節転移状況.
第 61 回日本大腸肛門病学会総会, 弘前, 2006.9.29-30 (口演)
53. 石橋敬一郎, 石畝 亨, 傍島 潤, 大澤智徳, 崎元雄彦, 横山 勝, 宮崎達也, 中田 博, 権田 剛, 石田秀行.
切除不能・再発大腸癌に対し, 2nd line 以降に行った mFOLFOX6 療法の治療成績と副作用について.
第 61 回日本大腸肛門病学会総会, 弘前, 2006.9.29-30 (口演)
54. 桑原公亀, 石田秀行, 吉田輝彦, 岩間毅夫.
家族性大腸腺腫症のデスマイド再発に関する一考察: APC 遺伝子変異の検索結果から.
第 61 回日本大腸肛門病学会総会, 弘前, 2006.9.29-30 (口演)

55. 中田 博, 石畝 亨, 大澤智徳, 吉田 裕, 崎元雄彦, 横山 勝, 石橋敬一郎, 権田 剛, 石田秀行.
大腸癌穿孔症例の再発形式と予後.
第 61 回日本大腸肛門病学会総会, 弘前, 2006.9.29-30 (口演)
56. 横山 勝, 中田 博, 吉田 裕, 大澤智徳, 傍島 潤, 石橋敬一郎, 権田 剛, 長嶺寿秋, 石田秀行.
DukesA 結腸癌に対する小切開根治術の feasibility と safety.
第 61 回日本大腸肛門病学会総会, 弘前, 2006.9.29-30 (口演)
57. 大澤智徳, 中田 博, 横山 勝, 石畝 亨, 傍島 潤, 崎元雄彦, 北岡 斎, 石田秀行, 橋本大定.
開腹歴のある結腸癌に対する小切開根治術.
第 61 回日本大腸肛門病学会総会, 弘前, 2006.9.29-30 (口演)
58. 北岡 斎, 権田 剛, 崎元雄彦, 中田 博, 石橋敬一郎, 石田秀行.
経肛門的に切除しえた成人嚢胞状消化管重複症の一例.
第 61 回日本大腸肛門病学会総会, 弘前, 2006.9.29-30 (口演)
59. 傍島 潤, 石橋敬一郎, 大澤智徳, 横山 勝, 宮崎達也, 中田 博, 権田 剛, 石田秀行.
びまん浸潤型 (4 型) 大腸癌における核酸代謝関連酵素 mRNA の発現.
第 61 回日本大腸肛門病学会総会, 弘前, 2006.9.29-30 (口演)
60. 竹内幾也, 大西 清, 石田秀行, 岩間毅夫.
家族性大腸腺腫症(FAP)に対する予防的結腸切除後 4 年目に認めた甲状腺癌の 1 例.
第 61 回日本大腸肛門病学会総会, 弘前, 2006.9.29-30 (示説)
61. 緒方杏一, 宮崎達也, 崎元雄彦, 吉田 裕, 石畝 亨, 横山 勝, 中田 博, 石橋敬一郎, 権田 剛, 石田秀行.
当科における小切開幽門側胃切除術の検討.
第 36 回胃外科・術後障害研究会, 宇都宮, 2006.11.3-4 (口演)

62. 石橋敬一郎, 傍島 潤, 崎元雄彦, 大澤智徳, 横山 勝, 石塚直樹, 宮崎達也, 中田 博, 権田 剛, 石田秀行.
切除不能・再発大腸癌に対する mFOLFOX6 療法の使用経験.
第 44 回日本癌治療学会総会, 東京, 2006.11.9-11 (口演)
63. 鈴木 毅, 大西 清, 中田 博, 崎元雄彦, 竹内幾也, 石田秀行, 帯津良一.
当院における緩和ケア診療の現状.
第 68 回日本臨床外科学会総会, 広島, 2006.11.9-11 (パネルディスカッション)
64. 石橋敬一郎, 傍島 潤, 大澤智徳, 石塚直樹, 横山 勝, 宮崎達也, 中田 博, 権田 剛, 石田秀行.
肝所属リンパ節転移状況からみた大腸癌多発肝転移に対する治療法の選択.
第 68 回日本臨床外科学会総会, 広島, 2006.11.9-11 (口演)
65. 緒方杏一, 宮崎達也, 吉田 裕, 石畝 亨, 傍島 潤, 崎元雄彦, 横山 勝, 大澤智徳, 中田 博, 石橋敬一郎, 権田 剛, 石田秀行.
内ヘルニアを契機に発症した腸閉塞症例の検討.
第 68 回日本臨床外科学会総会, 広島, 2006.11.9-11 (口演)
66. 傍島 潤, 石橋敬一郎, 大澤智徳, 石塚直樹, 横山 勝, 宮崎達也, 中田 博, 権田 剛, 石田秀行.
びまん浸潤型 (4 型) 大腸癌の治療成績.
第 68 回日本臨床外科学会総会, 広島, 2006.11.9-11 (示説)
67. 石橋敬一郎, 中田 博, 横山 勝, 石田秀行.
大腸穿孔に対する血液浄化方法の役割: PMX・CHDF 施行例の特徴と予後改善効果.
第 19 回日本外科感染症学会総会, 東京, 2006.11.30-12.1 (パネルディスカッション)
68. 石畝 亨, 宮崎達也, 崎元雄彦, 吉田 裕, 岡田典倫, 緒方杏一, 大澤智徳, 傍島 潤, 石塚直樹, 横山 勝, 三橋敏武, 中田 博, 石橋敬一郎, 権田 剛, 石田秀行.
胃癌手術に対する術当日限定抗菌剤投与の妥当性.
第 19 回日本外科感染症学会総会, 東京, 2006.11.30-12.1 (口演)

69. 傍島 潤, 大澤智徳, 横山 勝, 中田 博, 権田 剛, 石田秀行.
人工肛門閉鎖術後の合併症について：術後感染を中心に.
第 19 回日本外科感染症学会総会, 東京, 2006.11.30-12.1 (口演)
70. 石橋敬一郎, 桑原公亀, 大澤智徳, 横山 勝, 宮崎達也, 中田 博, 権田 剛,
石田秀行.
直腸癌手術における周術期経静脈抗菌剤の投与期間短縮化に関する prospective
randomized study (中間成績).
第 19 回日本外科感染症学会総会, 東京, 2006.11.30-12.1 (口演)
71. 桑原公亀, 石橋敬一郎, 大澤智徳, 横山 勝, 宮崎達也, 中田 博, 権田 剛,
石田秀行.
結腸癌手術における周術期経静脈抗菌剤の投与期間短縮化に関する prospective
randomized study (中間成績).
第 19 回日本外科感染症学会総会, 東京, 2006.11.30-12.1 (口演)
72. 緒方杏一, 宮崎達也, 石畝 亨, 吉田 裕, 崎元雄彦, 権田 剛, 石田秀行,
田丸淳一, 糸山進次, 加部吉男.
腹腔内出血を契機に診断された胃原発 GIDST 再発の一例.
第 24 回埼玉外科集談会, さいたま, 2006.12.2 (口演)
73. 横山 勝, 石橋敬一郎, 桑原公亀, 大澤智徳, 中田 博, 石田秀行.
DOX・DITC 療法が有効であった家族性大腸腺腫症 (FAP) 術後デスマイアの
1 例.
第 24 回埼玉外科集談会, さいたま, 2006.12.2 (口演)
74. 石塚直樹, 石橋敬一郎, 大澤智徳, 横山 勝, 石田秀行, 高田 伸.
PET-CT が術前単径部リンパ節転移診断に有用であった下部直腸・肛門管癌の
1 例.
第 24 回埼玉外科集談会, さいたま, 2006.12.2 (口演)
75. 石橋敬一郎, 傍島 潤, 大澤智徳, 横山 勝, 三橋敏武, 宮崎達也, 中田 博,
権田 剛, 石田秀行.
pMP 大腸癌に対する至適リンパ節郭清.
第 66 回大腸癌研究会, 大宮, 2007.1.19 (示説)

76. 岡田典倫, 中田 博, 横山 勝, 宮崎達也, 石橋敬一郎, 権田 剛, 石田秀行.
大腸癌における Soluble FMS-LIKE TYROSINE KINASE-1 (sFLT-1) レベルと進展,
予後の関係.
第 3 回日本消化管学会総会学術集会, 東京, 2007.2.1-2 (口演)
77. 天野邦彦, 中田 博, 坂口大介, 緒方杏一, 石畝 亨, 傍島 潤, 崎元雄彦,
岡田典倫, 三橋敏武, 宮崎達也, 石橋敬一郎, 権田 剛, 石田秀行.
当科で切除手術を行った Perianal Paget's disease の検討.
第 3 回日本消化管学会総会学術集会, 東京, 2007.2.1-2 (示説)
78. 三橋敏武, 石橋敬一郎, 石畝 亨, 傍島 潤, 崎元雄彦, 横山 勝, 宮崎達也,
中田 博, 権田 剛, 石田秀行.
大腸穿孔の予後予測に有用なスコアは何か? APACHE II と MPI II, PSS と
の比較.
第 11 回エンドトキシン血症救命治療研究会, 東京, 2007.2.9-10 (ワークショ
ップ)
79. 権田 剛, 石田秀行.
腸間膜静脈血栓症の診断と治療の要点.
第 43 回日本腹部救急医学会総会, 東京, 2007.3.8-9 (口演)
80. 三橋敏武, 石橋敬一郎, 石畝 亨, 傍島 潤, 崎元雄彦, 横山 勝, 宮崎達也,
中田 博, 権田 剛, 石田秀行.
大腸穿孔の予後予測に有用なスコアは何か?
第 43 回日本腹部救急医学会総会, 東京, 2007.3.8-9 (口演)
81. 石畝 亨, 宮崎達也, 田島雄介, 緒方杏一, 吉田 裕, 崎元雄彦, 中田 博,
石橋敬一郎, 権田 剛, 石田秀行.
十二指腸潰瘍穿孔に対する小切開手術の検討.
第 43 回日本腹部救急医学会総会, 東京, 2007.3.8-9 (口演)
82. 田島雄介, 宮崎達也, 石畝 亨, 緒方杏一, 崎元雄彦, 中田 博, 三橋敏武,
石橋敬一郎, 権田 剛, 石田秀行.
最近経験した胃癌穿孔 5 例の検討.
第 43 回日本腹部救急医学会総会, 東京, 2007.3.8-9 (口演)

83. 石橋敬一郎, 緒方杏一, 傍島 潤, 大澤智徳, 横山 勝, 宮崎達也, 中田 博, 権田 剛, 石田秀行.
大腸癌同時性肝転移 (H1, 2/H3) における肝所属リンパ節転移.
第 107 回日本外科学会定期学術集会, 大阪, 2007.4.11-13 (口演)
84. 中田 博, 石畝 亨, 傍島 潤, 大澤智徳, 崎元雄彦, 岡田典倫, 石塚直樹, 横山 勝, 三橋敏武, 宮崎達也, 権田 剛, 石田秀行.
穿孔部位・原因疾患からみた大腸穿孔の予後予測.
第 107 回日本外科学会定期学術集会, 大阪, 2007.4.11-13 (示説)
85. 宮崎達也, 加藤広行, 木村 仁, 猪瀬崇徳, 斉藤加奈, 田中成岳, 中嶋政信, 福地 稔, 石畝 亮, 崎元雄彦, 中田 博, 石橋敬一郎, 権田 剛, 石田秀行, 桑野博行.
食道癌に対する術前化学放射線療法と治療効果判定の限界.
第 61 回日本食道学会学術集会, 横浜, 2007.6.21-22 (示説)
86. 石橋敬一郎, 傍島 潤, 岡田典倫, 横山 勝, 宮崎達也, 中田 博, 権田 剛, 石田秀行.
mFOLFOX6 療法施行後手術例の末梢神経障害と血中 Platinum 濃度.
第 32 回日本外科系連合学会学術集会, 東京, 2007.6.22-23 (口演)
87. 石橋敬一郎, 岡田典倫, 傍島 潤, 横山 勝, 三橋敏武, 宮崎達也, 中田 博, 権田 剛, 石田秀行.
切除不能・再発大腸癌に対する mFOLFOX6 療法の使用経験.
第 16 回日本癌病態治療研究会, 東京, 2007.6.27-28 (口演)
88. 岡田典倫, 石橋敬一郎, 中田 博, 宮崎達也, 傍島 潤, 三橋敏武, 権田 剛, 石田秀行.
腹腔内洗浄・シスプラチン投与を施行した腹膜偽粘液腫の 5 例.
第 29 回日本癌局所療法研究会, 東京, 2007.6.28-29 (口演)
89. 天野邦彦, 中田 博, 岡田典倫, 宮崎達也, 石橋敬一郎, 石田秀行, 高橋健夫.
放射線療法により CR を得た肛門管扁平上皮癌の 1 例.
第 29 回日本癌局所療法研究会, 東京, 2007.6.28-297 (口演)

90. 石橋敬一郎, 傍島 潤, 大澤智徳, 岡田典倫, 横山 勝, 三橋敏武, 宮崎達也, 中田 博, 権田 剛, 石田秀行.
大腸癌同時性肝転移における肝所属リンパ節の大きさと転移.
第 29 回日本癌局所療法研究会, 東京, 2007.6.28-29 (口演)
91. 石橋敬一郎, 傍島 潤, 岡田典倫, 石塚直樹, 横山 勝, 三橋敏武, 宮崎達也, 中田 博, 権田 剛, 石田秀行.
虫垂原発腹膜偽粘液腫に対して mFOLFOX6 が有効であった 1 例.
第 29 回日本癌局所療法研究会, 東京, 2007.6.28-29 (口演)
92. 田島雄介, 石橋敬一郎, 権田 剛, 宮崎達也, 中田 博, 石田秀行.
大腸癌同時性肝転移における肝所属リンパ節の大きさと転移.
第 29 回日本癌局所療法研究会, 東京, 2007.6.28-29 (口演)
93. 岡田典倫, 傍島 潤, 横山 勝, 中田 博, 大澤智徳, 石橋敬一郎, 宮崎達也, 石田秀行.
当科における結腸 sm 癌に対する小切開手術の成績.
第 67 回大腸癌研究会, 神戸, 2007.7.6 (示説)
94. 崎元雄彦, 宮崎達也, 石畝 亨, 緒方杏一, 外間尚子, 小高明雄, 石田秀行.
当院 NST における短腸症候群 4 例の経験.
第 62 回日本消化器外科学会定期学術総会, 東京, 2007.7.18-20 (口演)
95. 宮崎達也, 加藤広行, 木村 仁, 斉藤加奈, 中島政信, 崎元雄彦, 中田 博, 石橋敬一郎, 石田秀行, 桑野博行.
高度進行食道癌に対する術前化学放射線治療とその効果判定の検討.
第 62 回日本消化器外科学会定期学術総会, 東京, 2007.7.18-20 (口演)
96. 石橋敬一郎, 傍島 潤, 岡田典倫, 大澤智徳, 横山 勝, 三橋敏武, 宮崎達也, 中田 博, 権田 剛, 石田秀行.
切除不能・再発大腸癌に対する 1st line mFOLFOX6 の治療成績.
第 62 回日本消化器外科学会定期学術総会, 東京, 2007.7.18-20 (口演)
97. 岡田典倫, 中田 博, 坂口大介, 石畝 亨, 緒方杏一, 宮崎達也, 石橋敬一郎, 権田 剛, 石田秀行.
プロテイン C 欠損症による門脈血栓症の 1 例.
第 62 回日本消化器外科学会定期学術総会, 東京, 2007.7.18-20 (口演)

98. 石畝 亨, 宮崎達也, 緒方杏一, 崎元雄彦, 中田 博, 石橋敬一郎, 権田 剛, 石田秀行.
胃・十二指腸潰瘍穿孔に対する小切開手術の検討.
第 62 回日本消化器外科学会定期学術総会, 東京, 2007.7.18-20 (口演)
99. 権田 剛, 石橋敬一郎, 中田 博, 石田秀行.
下部直腸癌 pA 症例における筋層外浸潤距離に関する検討.
第 62 回日本消化器外科学会定期学術総会, 東京, 2007.7.18-20 (口演)
100. 三橋敏武, 小高明雄, 石橋敬一郎, 沖田剛之, 坂口大介, 傍島 潤, 宮崎達也, 中田 博, 権田 剛, 石田秀行.
当科における成人鼠径ヘルニアの治療成績.
第 62 回日本消化器外科学会定期学術総会, 東京, 2007.7.18-20 (示説)
101. 石橋敬一郎, 岡田典倫, 傍島 潤, 大澤智徳, 横山 勝, 沖田剛之, 三橋敏武, 宮崎達也, 石田秀行.
切除不能再発大腸癌に対する mFOLFOX6 療法.
第 45 回日本癌治療学会総会, 京都, 2007.10.24-26 (口演)
102. 岡田典倫, 石橋敬一郎, 傍島 潤, 大澤智徳, 横山 勝, 沖田剛之, 三橋敏武, 宮崎達也, 石田秀行.
外来化学療法における mFOLFOX6 療法.
第 45 回日本癌治療学会総会, 京都, 2007.10.24-26 (示説)
103. 宮崎達也, 崎元雄彦, 久保憲生, 天野邦彦, 石畝 亨, 岡田典倫, 三橋敏武, 石橋敬一郎, 高橋健夫, 石田秀行.
当科における実地臨床に即した食道癌に対する集学的治療.
第 45 回日本癌治療学会総会, 京都, 2007.10.24-26 (示説)
104. 外間尚子, 宮崎達也, 久保憲生, 天野邦彦, 石畝 亨, 傍島 潤, 崎元雄彦, 岡田典倫, 三橋敏武, 石橋敬一郎, 大畑 敦, 菊池 茂, 石田秀行.
全身麻酔下で摘出した食道義歯異物の検討.
第 59 回日本気管食道科学会総会, 前橋, 2007.11.1-2 (ワークショップ)

105. 宮崎達也, 崎元雄彦, 久保憲生, 石畝 亨, 石橋敬一郎, 加藤広行, 桑野博行, 石田秀行.
食道癌に対する補助療法の戦略.
第 59 回日本気管食道科学会総会, 前橋, 2007.11.1-2 (口演)
106. 久保憲生, 宮崎達也, 外間尚子, 天野邦彦, 石畝 亨, 崎元雄彦, 岡田典倫, 三橋敏武, 石橋敬一郎, 石田秀行.
食道類基底細胞癌の臨床病理学的検討.
第 59 回日本気管食道科学会総会, 前橋, 2007.11.1-2 (示説)
107. 岡田典倫, 石橋敬一郎, 傍島 潤, 大澤智徳, 横山 勝, 石畝 亨, 沖田剛之, 三橋敏武, 宮崎達也, 中田 博, 権田 剛, 石田秀行.
mFOLFOX6 療法の末梢神経障害に対する Ca/Mg 剤投与と血中白金濃度.
第 62 回日本大腸肛門病学会総会, 東京, 2007.11.2-3 (シンポジウム)
108. 石橋敬一郎, 岡田典倫, 久保憲生, 傍島 潤, 石畝 亨, 大澤智徳, 横山 勝, 宮崎達也, 石田秀行.
大腸癌組織中の Dihydropyrimidine dehydrogenase (DPD) 発現量と TS-1 の効果.
第 62 回日本大腸肛門病学会総会, 東京, 2007.11.2-3 (口演)
109. 三橋敏武, 石橋敬一郎, 岡田典倫, 傍島 潤, 石畝 亨, 大澤智徳, 横山 勝, 沖田剛之, 宮崎達也, 石田秀行.
穿孔形式に着目した大腸癌穿孔症例の検討.
第 62 回日本大腸肛門病学会総会, 東京, 2007.11.2-3 (口演)
110. 横山 勝, 大澤智徳, 傍島 潤, 石畝 亨, 岡田典倫, 崎元雄彦, 三橋敏武, 宮崎達也, 石橋敬一郎, 石田秀行, 橋本大定.
当科における小切開手術の変遷と成績.
第 62 回日本大腸肛門病学会総会, 東京, 2007.11.2-3 (口演)
111. 久保憲生, 石橋敬一郎, 岡田典倫, 傍島 潤, 石畝 亨, 大澤智徳, 横山 勝, 宮崎達也, 石田秀行.
大腸 MP 癌のリンパ節転移の予測は術前に可能か.
第 62 回日本大腸肛門病学会総会, 東京, 2007.11.2-3 (口演)

112. 石橋敬一郎, 岡田典倫, 傍島 潤, 石畝 亨, 沖田剛之, 大澤智徳, 横山 勝, 宮崎達也, 石田秀行.
切除不能・再発大腸癌に対する mFOLFOX6 の治療成績と副作用.
第 62 回日本大腸肛門病学会総会, 東京, 2007.11.2-3 (口演)
113. 石畝 亨, 崎元雄彦, 宮崎達也, 石橋敬一郎, 石田秀行.
虫垂原発悪性 MALT リンパ腫の 1 例.
第 62 回日本大腸肛門病学会総会, 東京, 2007.11.2-3 (示説)
114. 岡田典倫, 石橋敬一郎, 久保憲生, 石畝 亨, 傍島 潤, 大澤智徳, 横山 勝, 宮崎達也, 石田秀行, 岡田武倫.
大腸癌同時性肝転移における肝所属リンパ節転移診断は術前 CT で可能か.
第 62 回日本大腸肛門病学会総会, 東京, 2007.11.2-3 (示説)
115. 大野瑠美子, 宮崎達也, 久保憲生, 天野邦彦, 石畝 亨, 崎元雄彦, 石橋敬一郎, 松木盛行, 石田秀行, 加藤真吾, 屋嘉比康治.
術中内視鏡が切除範囲の決定に有用であった空腸動静脈奇形 (AVM) の 1 例.
第 33 回日本消化器内視鏡学会 埼玉部会 学術講演会, さいたま, 2007.11.3 (口演)
116. 横山 勝, 石橋敬一郎, 大澤智徳, 桑原公亀, 傍島 潤, 石畝 亨, 崎元雄彦, 岡田典倫, 沖田剛之, 三橋敏武, 宮崎達也, 松木盛行, 石田秀行.
原発巣・肝転移同時切除後の感染.
第 20 回日本外科感染症学会総会, 東京, 2007.11.7-9 (口演)
117. 石橋敬一郎, 久保憲生, 傍島 潤, 石畝 亨, 岡田典倫, 大澤智徳, 横山 勝, 三橋敏武, 宮崎達也, 松木盛行, 石田秀行.
JNIS における結腸手術と直腸手術の分類は適切か?
第 20 回日本外科感染症学会総会, 東京, 2007.11.7-9 (口演)
118. 久保憲生, 石畝 亨, 外間尚子, 天野邦彦, 崎元雄彦, 宮崎達也, 石橋敬一郎, 松木盛行, 石田秀行.
JNIS (ESOP) による術後感染サーベイレンスの妥当性と至適 T 値の検討.
第 20 回日本外科感染症学会総会, 東京, 2007.11.7-9 (口演)

119. 石畝 亨, 大澤智徳, 外間尚子, 久保憲生, 北岡 斎, 崎元雄彦, 岡田典倫, 宮崎達也, 横山 勝, 石橋敬一郎, 松木盛行, 石田秀行.
当科における潰瘍性大腸炎根治術後の感染性合併症と対策.
第 20 回日本外科感染症学会総会, 東京, 2007.11.7-9 (口演)
120. 石畝 亨, 大澤智徳, 外間尚子, 久保憲生, 北岡 斎, 崎元雄彦, 岡田典倫, 宮崎達也, 横山 勝, 石橋敬一郎, 松木盛行, 石田秀行.
骨盤内臓全摘術後の手術部位感染.
第 20 回日本外科感染症学会総会, 東京, 2007.11.7-9 (口演)
121. 久保憲生, 宮崎達也, 天野邦彦, 石畝 亨, 崎元雄彦, 石橋敬一郎, 松木盛行, 石田秀行.
当科における残胃の癌の検討.
第 37 回胃外科・術後障害研究会, 大阪, 2007.11.9-10 (口演)
122. 石橋敬一郎, 石畝 亨, 傍島 潤, 岡田典倫, 大澤智徳, 横山 勝, 沖田剛之, 三橋敏武, 宮崎達也, 石田秀行.
Peutz-Jeghers 症候群に対する術中小腸内視鏡、ポリペクトミーの工夫.
第 69 回日本臨床外科学会総会, 横浜, 2007.11.29-12.1 (ビデオセッション)
123. 石橋敬一郎, 岡田典倫, 石畝 亨, 傍島 潤, 沖田剛之, 三橋敏武, 横山 勝, 宮崎達也, 石田秀行.
地域がん診療連携拠点病院における大腸癌に対する mFOLFOX6 療法の現状と問題点.
第 69 回日本臨床外科学会総会, 横浜, 2007.11.29-12.1 (口演)
124. 宮崎達也, 石畝 亨, 久保憲生, 天野邦彦, 崎元雄彦, 岡田典倫, 三橋敏武, 石橋敬一郎, 石田秀行.
消化管手術における SSI 対策の試み.
第 69 回日本臨床外科学会総会, 横浜, 2007.11.29-12.1 (口演)
125. 岡田典倫, 石橋敬一郎, 宮崎達也, 石畝 亨, 傍島 潤, 沖田 剛之, 三橋敏武, 石田秀行.
当科における外来化学療法の実績と問題点.
第 69 回日本臨床外科学会総会, 横浜, 2007.11.29-12.1 (口演)

126. 石畝 亨, 久保憲生, 天野邦彦, 崎元雄彦, 宮崎達也, 石橋敬一郎, 石田秀行.
胃癌手術手技標準化における効果の検討.
第 69 回日本臨床外科学会総会, 横浜, 2007.11.29-12.1 (口演)
127. 天野邦彦, 宮崎達也, 崎元雄彦, 石畝 亨, 久保憲生, 石田秀行, 小澤文明.
診断に難渋した原発性十二指腸癌の一例.
第 69 回日本臨床外科学会総会, 横浜, 2007.11.29-12.1 (口演)
128. 幡野 哲, 宮崎達也, 外間尚子, 細沼知則, 沖田剛之, 三橋敏武, 石橋敬一郎,
藤野幸夫, 望月智之, 石田秀行.
CT、血管造影検査で診断、止血しえた小腸潰瘍出血の 1 例.
第 69 回日本臨床外科学会総会, 横浜, 2007.11.29-12.1 (口演)
129. 田島雄介, 石橋敬一郎, 岡田典倫, 傍島 潤, 北岡 斎, 宮崎達也, 石田秀行.
救命し得た横行結腸癌非癌部穿孔に伴うバリウム腹膜炎の 1 例.
第 69 回日本臨床外科学会総会, 横浜, 2007.11.29-12.1 (口演)
130. 北岡 斎, 岡田典倫, 傍島 潤, 田島雄介, 石井正嗣, 石橋敬一郎, 宮崎達也,
石田秀行.
小腸穿孔の原因となった魚骨が、腸管内を移動した興味ある 1 例.
第 69 回日本臨床外科学会総会, 横浜, 2007.11.29-12.1 (口演)
131. 横山 勝, 天野邦彦, 北岡 斎, 石畝 亨, 傍島 潤, 大澤智徳, 崎元雄彦,
岡田典倫, 沖田剛之, 三橋敏武, 宮崎達也, 石橋敬一郎, 石田秀行.
特別な器械を必要としない小切開結腸癌根治手術.
第 69 回日本臨床外科学会総会, 横浜, 2007.11.29-12.1 (口演)
132. 大澤智徳, 石橋敬一郎, 外間尚子, 沖田剛之, 三橋敏武, 横山 勝, 中田 博,
北岡 斎, 天野邦彦, 田島雄介, 石田秀行.
当科における潰瘍性大腸炎の手術成績.
第 69 回日本臨床外科学会総会, 横浜, 2007.11.29-12.1 (口演)
133. 外間尚子, 石橋敬一郎, 沖田剛之, 三橋敏武, 岡田典倫, 崎元雄彦, 宮崎達也,
石田秀行.
妊娠中の急性虫垂炎に関する検討.
第 69 回日本臨床外科学会総会, 横浜, 2007.11.29-12.1 (口演)

134. 石畝 亨, 久保憲生, 天野邦彦, 崎元雄彦, 岡田典倫, 宮崎達也, 石橋敬一郎, 石田秀行, 赤木大輔, 松本春信, 佐藤 紀.
小腸虚血・梗塞性病変手術症例の検討.
第 69 回日本臨床外科学会総会, 横浜, 2007.11.29-12.1 (口演)
135. 沖田剛之, 小高明雄, 石橋敬一郎, 三橋敏武, 石畝 亨, 岡田典倫, 崎元雄彦, 宮崎達也, 傍島 潤, 石田秀行.
成人鼠径ヘルニア修復術 Mesh Plug 法の再発形式.
第 69 回日本臨床外科学会総会, 横浜, 2007.11.29-12.1 (口演)
136. 久保田 将, 宮崎達也, 久保憲生, 天野邦彦, 石畝 亨, 崎元雄彦, 岡田典倫, 三橋敏武, 石橋敬一郎, 石田秀行.
左胃動脈破裂に対して緊急手術を施行した悪性関節リウマチの 1 例.
第 69 回日本臨床外科学会総会, 横浜, 2007.11.29-12.1 (口演)
137. 石井正嗣, 宮崎達也, 久保憲生, 天野邦彦, 石畝 亨, 崎元雄彦, 岡田典倫, 三橋敏武, 石橋敬一郎, 石田秀行.
6cm 大の幽門下リンパ節転移を伴った多発早期胃癌の 1 例.
第 69 回日本臨床外科学会総会, 横浜, 2007.11.29-12.1 (口演)
138. 久保憲生, 宮崎達也, 天野邦彦, 石畝 亨, 崎元雄彦, 石橋敬一郎, 石田秀行.
リンパ節転移を認めた胃 gastrointestinal stromal tumor (GIST) の 1 例.
第 69 回日本臨床外科学会総会, 横浜, 2007.11.29-12.1 (口演)
139. 外間尚子, 宮崎達也, 田島雄介, 岡田典倫, 中田 博, 石橋敬一郎, 松木盛行, 鈴木 毅, 中山光男, 石田秀行.
転移病巣に対して複数回手術施行した spindle cell sarcoma の 1 例.
第 25 回埼玉外科集談会, さいたま, 2007.12.1 (口演)
140. 幡野 哲, 岡田典倫, 宮崎達也, 石橋敬一郎, 松木盛行, 石田秀行.
出産直後に診断された stageIV 大腸癌の 1 例.
第 25 回埼玉外科集談会, さいたま, 2007.12.1 (口演)

141. 横山 勝, 石橋敬一郎, 桑原公亀, 石畝 亨, 傍島 潤, 大澤智徳, 崎元雄彦, 岡田典倫, 沖田剛之, 三橋敏武, 宮崎達也, 松木盛行, 石田秀行, 福田祐樹, 儀賀理暁, 山畑 健, 江口圭介, 中山光男.
大腸癌肺転移切除症例の検討.
第 68 回大腸癌研究会, 久留米, 2008.1.25 (口演)
142. 中村悦子, 阿部ふみ, 梶原美奈子, 横田成子, 横山 勝, 石橋敬一郎, 石田秀行.
一時的回腸人工肛門ケアの現状と今後の課題.
第 25 回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会, 札幌, 2008.2.1-2 (口演)
143. 宮崎達也, 加藤広行, 久保憲生, 猪瀬崇徳, 石畝 亨, 中島政信, 福地 稔, 岡田典倫, 崎元雄彦, 三橋敏武, 石橋敬一郎, 桑野博行, 石田秀行.
食道癌における複数の評価因子を用いた悪性度評価の臨床応用の可能性.
第 4 回日本消化管学会総会学術集会, 札幌, 2008.2.7-8 (口演)
144. 石畝 亨, 久保憲生, 北岡 斎, 幡野 哲, 崎元雄彦, 横山 勝, 宮崎達也, 石橋敬一郎, 松木盛行, 石田秀行.
術当日限定 Cefazolin 投与下の JNIS 分類を用いた胃癌手術手術部位感染の検討.
第 80 回日本胃癌学会総会, 横浜, 2008.2.27-29 (示説)
145. 宮崎達也, 久保憲生, 天野邦彦, 石畝 亨, 崎元雄彦, 石橋敬一郎, 松木盛行, 石田秀行.
残胃癌 28 例の検討.
第 80 回日本胃癌学会総会, 横浜, 2008.2.27-29 (示説)
146. 幡野 哲, 久保憲生, 石畝 亨, 崎元雄彦, 横山 勝, 宮崎達也, 石橋敬一郎, 松木盛行, 石田秀行, 豊住康夫.
AFP 産生早期残胃癌の 1 例.
第 80 回日本胃癌学会総会, 横浜, 2008.2.27-29 (示説)
147. 石橋敬一郎, 石畝 亨, 久保憲生, 岡田典倫, 大澤智徳, 三橋敏武, 横山 勝, 宮崎達也, 松木盛行, 石田秀行.
PMX-DHP を施行した大腸癌穿孔症例の術後補助化学療法への移行率と予後.
第 12 回エンドトキシン血症救命治療研究会, 久留米, 2008.2.28-29 (口演)

148. 久保憲生, 石畝 亨, 天野邦彦, 崎元雄彦, 横山 勝, 大澤智徳, 宮崎達也, 石橋敬一郎, 松木盛行, 石田秀行.
大腸穿孔術後に PMX-DHP を施行した症例の臨床的パラメータの変動～生存例と死亡例の比較～.
第 12 回エンドトキシン血症救命治療研究会, 久留米, 2008.2.28-29 (口演)
149. 佐野元彦, 井上尚彦, 木村昌行, 島田ひろみ, 永井芙佐子, 岡田典倫, 石橋敬一郎, 石田秀行.
インヒューザーポンプの投与所要時間に及ぼすオキサリプラチン、イリノテカンおよび 5-FU の影響.
第 6 回日本臨床腫瘍学会学術総会, 久留米, 2008.3.20-21 (示説)
150. 石畝 亨, 久保憲生, 大澤智徳, 横山 勝, 宮崎達也, 石橋敬一郎, 松木盛行, 石田秀行.
大腸穿孔術後に PMX-DHP を施行した症例の臨床的パラメータの変動と予後.
第 108 回日本外科学会定期学術集会, 長崎, 2008.5.15-17 (示説)
151. 石橋敬一郎, 横山 勝, 桑原公亀, 石畝 亨, 岡田典倫, 大澤智徳, 三橋敏武, 宮崎達也, 松木盛行, 石田秀行.
結腸癌手術における経静脈抗菌薬の投与期間短縮化に関する prospective randomized study -最終報告-.
第 108 回日本外科学会定期学術集会, 長崎, 2008.5.15-17 (示説)
152. 宮崎達也, 久保憲生, 石畝 亨, 外間尚子, 天野邦彦, 崎元雄彦, 岡田典倫, 三橋敏武, 石橋敬一郎, 松木盛行, 石田秀行.
食道癌手術における手術部位感染 (SSI) リスク評価法の検討 (JNIS vs. E-PASS).
第 108 回日本外科学会定期学術集会, 長崎, 2008.5.15-178 (示説)
153. 岡田典倫, 石橋敬一郎, 石畝 亨, 傍島 潤, 沖田剛之, 大澤智徳, 横山 勝, 三橋敏武, 宮崎達也, 松木盛行, 石田秀行.
Ca/Mg 剤投与が mFOLFOX6 療法中の末梢神経障害と血中白金濃度に与える影響.
第 108 回日本外科学会定期学術集会, 長崎, 2008.5.15-17 (示説)

154. 三橋敏武, 宮崎達也, 崎元雄彦, 久保憲生, 石畝 亨, 岡田典倫, 横山 勝, 石橋敬一郎, 松木盛行, 高橋健夫, 石田秀行.
遠隔転移を有する食道癌に対する化学療法、化学放射線治療の意義.
第 30 回日本癌局所療法研究会, 久留米, 2008.5.30 (シンポジウム)
155. 石畝 亨, 北岡 斎, 幡野 哲, 崎元雄彦, 三橋敏武, 宮崎達也, 横山 勝, 石橋敬一郎, 松木盛行, 石田秀行.
肝門部リンパ節転移に対し、ステント留置後 mFOLFOX6 を導入し得た若年女性直腸癌多発肝転移の 1 例.
第 30 回日本癌局所療法研究会, 久留米, 2008.5.30 (口演)
156. 石橋敬一郎, 横山 勝, 岡田典倫, 石畝 亨, 大澤智徳, 三橋敏武, 宮崎達也, 松木盛行, 石田秀行.
大腸癌同時性肝転移症例における肝所属リンパ節転移状況.
第 30 回日本癌局所療法研究会, 久留米, 2008.5.30 (口演)
157. 石橋敬一郎, 横山 勝, 岡田典倫, 石畝 亨, 大澤智徳, 三橋敏武, 宮崎達也, 松木盛行, 石田秀行, 福田祐樹, 儀賀理暁, 山畑 健, 中山光男, 菊地功次.
大腸癌肝肺転移切除例の検討.
第 30 回日本癌局所療法研究会, 久留米, 2008.5.30 (口演)
158. 横山 勝, 田島雄介, 外間尚子, 北岡 斎, 幡野 哲, 石畝 亨, 桑原公亀, 崎元雄彦, 岡田典倫, 沖田剛之, 三橋敏武, 宮崎達也, 石橋敬一郎, 松木盛行, 石田秀行, 福田祐樹, 儀賀理暁, 山畑 健, 江口圭介, 中山光男, 菊地功次.
新規抗癌剤導入時代の大腸癌肺転移に対する外科治療における諸問題.
第 30 回日本癌局所療法研究会, 久留米, 2008.5.30 (口演)
159. 石橋敬一郎, 岡田典倫, 横山 勝, 石畝 亨, 沖田剛之, 三橋敏武, 宮崎達也, 松木盛行, 石田秀行.
結腸癌に対する小切開手術の根治性と整容性.
第 33 回日本外科系連合学会学術集会, 千葉, 2008.6.12-13 (シンポジウム)
160. 石橋敬一郎, 岡田典倫, 横山 勝, 石畝 亨, 沖田剛之, 三橋敏武, 宮崎達也, 松木盛行, 石田秀行.
大腸癌 Trymidine phosphorylase (TP), Vascular endothelial growth factor (VEGF) 発現.
第 33 回日本外科系連合学会学術集会, 千葉, 2008.6.12-13 (示説)

161. 久保田 将, 岡田典倫, 石畝 亨, 北岡 斎, 崎元雄彦, 三橋敏武, 宮崎達也, 横山 勝, 石橋敬一郎, 松木盛行, 石田秀行.
急速な転帰をとった成人後腹膜横紋筋肉腫の1例.
第33回日本外科系連合学会学術集会, 千葉, 2008.6.12-13 (示説)
162. 石畝 亨, 北岡 斎, 幡野 哲, 崎元雄彦, 宮崎達也, 横山 勝, 石橋敬一郎, 松木盛行, 石田秀行.
早期胃癌に対する小切開手術30例の短期手術成績.
第33回日本外科系連合学会学術集会, 千葉, 2008.6.12-13 (示説)
163. 久保憲生, 石橋敬一郎, 石畝 亨, 岡田典倫, 沖田剛之, 横山 勝, 宮崎達也, 松木盛行, 石田秀行, 桑野博行.
術前評価可能因子による大腸 mp 癌のリンパ節転移予測の試み.
第33回日本外科系連合学会学術集会, 千葉, 2008.6.12-13 (示説)
164. 石畝 亨, 石橋敬一郎, 岡田典倫, 桑原公亀, 宮崎達也, 横山 勝, 松木盛行, 石田秀行.
高齢者に対する mFOLFOX6 療法の安全性と有効性.
第29回癌免疫外科研究会, 東京, 2008.6.19-20 (口演)
165. 石橋敬一郎, 岡田典倫, 石畝 亨, 沖田剛之, 三橋敏武, 宮崎達也, 横山 勝, 松木盛行, 石田秀行.
切除不能・再発大腸癌に対する3剤投与の妥当性.
第29回癌免疫外科研究会, 東京, 2008.6.19-20 (口演)
166. 石橋敬一郎, 石畝 亨, 桑原公亀, 大澤智徳, 岡田典倫, 宮崎達也, 横山 勝, 松木盛行, 石田秀行.
実地臨床における stage III 結腸癌に対する PSK 投与状況.
第29回癌免疫外科研究会, 東京, 2008.6.19-20 (口演)
167. 石畝 亨, 宮崎達也, 久保憲生, 幡野 哲, 北岡 斎, 崎元雄彦, 横山 勝, 石橋敬一郎, 松木盛行, 石田秀行.
食道類基底細胞癌7例の検討.
第62回日本食道学会学術集会, 東京, 2008.6.21-22 (示説)

168. 宮崎達也, 外間尚子, 久保憲生, 石畝 亨, 崎元雄彦, 岡田典倫, 横山 勝, 石橋敬一郎, 松木盛行, 石田秀行.
食道異物 97 例の検討.
第 62 回日本食道学会学術集会, 東京, 2008.6.21-22 (示説)
169. 石畝 亨, 北岡 斎, 崎元雄彦, 宮崎達也, 横山 勝, 石橋敬一郎, 松木盛行, 石田秀行.
特別な器械を必要としない結腸癌小切開手術の feasibility と safety.
第 3 回小切開・鏡視下手術研究会, 徳島, 2008.6.20-21 (口演)
170. 石畝 亨, 北岡 斎, 崎元雄彦, 宮崎達也, 横山 勝, 石橋敬一郎, 松木盛行, 石田秀行.
T1N0M0 胃癌に対する小切開手術 33 例の短期手術成績.
第 3 回小切開・鏡視下手術研究会, 徳島, 2008.6.20-21 (口演)
171. 石橋敬一郎, 石畝 亨, 桑原公亀, 岡田典倫, 大澤智徳, 宮崎達也, 横山 勝, 松木盛行, 石田秀行, 八尾隆史.
大腸 sm、mp 癌のリンパ節転移は術前予測可能か?
第 69 回大腸癌研究会, 横浜, 2008.7.4 (口演)
172. 宮崎達也, 久保憲生, 石畝 亨, 外間尚子, 崎元雄彦, 岡田典倫, 横山 勝, 石橋敬一郎, 松木盛行, 石田秀行.
右開胸食道癌手術における SSI の検討.
第 63 回日本消化器外科学会定期学術総会, 札幌, 2008.7.16-18 (口演)
173. 横山 勝, 石橋敬一郎, 石畝 亨, 桑原公亀, 岡田典倫, 沖田剛之, 三橋敏武, 宮崎達也, 松木盛行, 石田秀行.
Stage II/III 結腸癌に対する小切開根治術後の予後.
第 63 回日本消化器外科学会定期学術総会, 札幌, 2008.7.16-18 (口演)
174. 石畝 亨, 幡野 哲, 崎元雄彦, 宮崎達也, 横山 勝, 石橋敬一郎, 辻 美隆, 松木盛行, 石田秀行.
早期胃癌における小切開 (6-7cm) 幽門側胃切除術 26 症例の検討.
第 63 回日本消化器外科学会定期学術総会, 札幌, 2008.7.16-18 (口演)

175. 岡田典倫, 石橋敬一郎, 石畝 亨, 沖田剛之, 三橋敏武, 宮崎達也, 横山 勝, 松木盛行, 石田秀行.
切除不能・再発大腸癌に対する mFOLFOX6 療法 (1 次治療) FOLFIRI 療法 (2 次療法).
第 63 回日本消化器外科学会定期学術総会, 札幌, 2008.7.16-18 (口演)
176. 石橋敬一郎, 岡田典倫, 石畝 亨, 沖田剛之, 三橋敏武, 宮崎達也, 横山 勝, 松木盛行, 石田秀行.
切除不能・再発大腸癌に対する 5-FU, L-OHP, CPT-11 3 剤投与の妥当性の評価.
第 63 回日本消化器外科学会定期学術総会, 札幌, 2008.7.16-18 (口演)
177. 外間尚子, 石畝 亨, 桑原公亀, 崎元雄彦, 岡田典倫, 宮崎達也, 横山 勝, 石橋敬一郎, 松木盛行, 石田秀行.
骨盤内臓全摘術・腹会陰式直腸切断術の手術部位感染.
第 63 回日本消化器外科学会定期学術総会, 札幌, 2008.7.16-18 (口演)
178. 石井正嗣, 石畝 亨, 北岡 斎, 幡野 哲, 崎元雄彦, 宮崎達也, 横山 勝, 石橋敬一郎, 松木盛行, 石田秀行.
成人腸間膜膿腫 4 症例の検討.
第 63 回日本消化器外科学会定期学術総会, 札幌, 2008.7.16-18 (示説)
179. 横山洋三, 持木彫人, 藍原龍介, 大野哲郎, 桑野博行.
若年者に発生した小網発生 GIST の 1 例.
第 63 回日本消化器外科学会定期学術総会, 札幌, 2008.7.16-18 (示説)
180. 近 範泰, 宮崎達也, 横山洋三, 北岡 斎, 石畝 亨, 崎元雄彦, 岡田典倫, 沖田剛之, 横山 勝, 石橋敬一郎, 松木盛行, 石田秀行, 佐藤恵子, 屋嘉比康治.
全身麻酔下内視鏡摘出術を施行した食物異物 (ティースプーン) の 1 例.
第 34 回日本消化器内視鏡学会 埼玉部会 学術講演会, さいたま, 2008.10.11 (口演)
181. 横山 勝, 石橋敬一郎, 田島雄介, 外間尚子, 幡野 哲, 石畝 亨, 桑原公亀, 崎元雄彦, 岡田典倫, 沖田剛之, 宮崎達也, 松木盛行, 石田秀行.
大腸癌肺転移の stage 分類 (案).
第 63 回日本大腸肛門病学会総会, 東京, 2008.10.17-18 (ワークショップ)

182. 石橋敬一郎, 石畝 亨, 桑原公亀, 大澤智徳, 岡田典倫, 宮崎達也, 横山 勝, 松木盛行, 石田秀行.
大腸穿孔症例および大腸癌待機手術症例における HMGB-1 術後推移.
第 63 回日本大腸肛門病学会総会, 東京, 2008.10.17-18 (口演)
183. 桑原公亀, 石橋敬一郎, 横山 勝, 石畝 亨, 岡田典倫, 大澤智徳, 三橋敏武, 宮崎達也, 松木盛行, 石田秀行.
結腸癌待機手術における mechanical cleansing-sennoside は polyethylene glycol に代替し得るか.
第 63 回日本大腸肛門病学会総会, 東京, 2008.10.17-18 (口演)
184. 石橋敬一郎, 傍島 潤, 石畝 亨, 桑原公亀, 大澤智徳, 岡田典倫, 宮崎達也, 横山 勝, 松木盛行, 石田秀行.
大腸癌原発巣・肝転移巣における TP 発現: 癌細胞中 mRNA 発現と腫瘍組織中蛋白発現量の比較.
第 63 回日本大腸肛門病学会総会, 東京, 2008.10.17-18 (口演)
185. 横山 勝, 石橋敬一郎, 田島雄介, 外間尚子, 幡野 哲, 石畝 亨, 桑原公亀, 崎元雄彦, 岡田典倫, 沖田剛之, 宮崎達也, 松木盛行, 石田秀行.
大腸癌原発巣・肝転移巣における DPD 発現: 癌細胞中 mRNA 発現と腫瘍組織中蛋白発現量の比較.
第 63 回日本大腸肛門病学会総会, 東京, 2008.10.17-18 (口演)
186. 岡田典倫, 石橋敬一郎, 沖田剛之, 三橋敏武, 桑原公亀, 横山 勝, 宮崎達也, 松木盛行, 石田秀行.
大腸癌非治癒手術症例における mFOLFOX6 の奏効・非奏効・導入不能例と予後.
第 63 回日本大腸肛門病学会総会, 東京, 2008.10.17-18 (口演)
187. 近 範泰, 石橋敬一郎, 横山 勝, 宮崎達也, 松木盛行, 石田秀行, 松田隆晴, 諸角誠人, 山田拓己.
精索に接して孤立性転移をきたした盲腸癌の 1 例.
第 63 回日本大腸肛門病学会総会, 東京, 2008.10.17-18 (示説)

188. 桑原公亀, 石橋敬一郎, 石畝 亨, 大澤智徳, 岡田典倫, 宮崎達也, 横山 勝, 松木盛行, 石田秀行.
大腸癌同時性肝転移症例における肝転移 grade 分類および肝所属リンパ節転移の意義.
第 63 回日本大腸肛門病学会総会, 東京, 2008.10.17-18 (示説)
189. 宮崎達也, 石橋敬一郎, 石田秀行.
大腸癌における血漿中の VEGF-C レベルの臨床学的意義.
第 67 回日本癌学会学術総会, 名古屋, 2008.10.28-30 (ワークショップ)
190. 石橋敬一郎, 宮崎達也, 石田秀行.
転移性大腸癌に対して 1 次治療として mFOLFOX6 療法例における TS, ERCC1 遺伝子多型.
第 67 回日本癌学会学術総会, 名古屋, 2008.10.28-30 (ワークショップ)
191. 宮崎達也, 石畝 亨, 崎元雄彦, 横山洋三, 幡野 哲, 岡田典倫, 三橋敏武, 石橋敬一郎, 松木盛行, 高橋健夫, 石田秀行.
当科における食道癌ハイリスク症例の治療選択とその成績.
第 46 回日本癌治療学会総会, 名古屋, 2008.10.30-11.1 (パネルディスカッション)
192. 石橋敬一郎, 岡田典倫, 石畝 亨, 桑原公亀, 宮崎達也, 横山 勝, 松木盛行, 石田秀行.
有害事象が原因で mFOLFOX6 療法を中止とした切除不能・再発大腸癌の検討.
第 46 回日本癌治療学会総会, 名古屋, 2008.10.30-11.1 (口演)
193. 岡田典倫, 石橋敬一郎, 横山 勝, 沖田剛之, 桑原公亀, 外間尚子, 宮崎達也, 石田秀行.
大腸癌化学療法における Bevacizumab 併用治療で認められる副作用.
第 46 回日本癌治療学会総会, 名古屋, 2008.10.30-11.1 (示説)
194. 横山洋三, 石橋敬一郎, 宮崎達也, 石畝 亨, 近 範泰, 崎元雄彦, 石橋敬一郎, 岡田典倫, 横山 勝, 松木盛行, 石田秀行.
姑息手術施行後の胃癌化学療法の検討.
第 37 回胃外科・術後障害研究会, 東京, 2006.11.6-7 (口演)

195. 石橋敬一郎, 石畝 亨, 桑原公亀, 岡田典倫, 大澤智徳, 宮崎達也, 横山 勝, 松木盛行, 石田秀行.
大腸手術における手術手技・周術期管理の標準化と SSI 防止効果.
第 21 回日本外科感染症学会総会, 札幌, 2008.11.5-7 (ワークショップ)
196. 桑原公亀, 石橋敬一郎, 石畝 亨, 横山 勝, 宮崎達也, 松木盛行, 石田秀行.
大腸穿孔症例における術後創感染対策.
第 21 回日本外科感染症学会総会, 札幌, 2008.11.5-7 (口演)
197. 石畝 亨, 石橋敬一郎, 桑原公亀, 崎元雄彦, 岡田典倫, 沖田剛之, 宮崎達也, 横山 勝, 松木盛行, 石田秀行.
重症大腸穿孔に対する PMX-DHP および CHDF の効果と限界.
第 21 回日本外科感染症学会総会, 札幌, 2008.11.5-7 (パネルディスカッション)
198. 岡田典倫, 石橋敬一郎, 横山 勝, 宮崎達也, 石田秀行.
mFOLFOX6 の治療成績と血漿 VEGF 関連因子.
第 21 回日本バイオセラピィ学会学術集会総会, 東京, 2008.11.18-19 (ワークショップ)
199. 石橋敬一郎, 岡田典倫, 石畝 亨, 桑原公亀, 大澤智徳, 宮崎達也, 横山 勝, 松木盛行, 石田秀行.
FOLFIRI 療法に avastin 併用は有効か.
第 21 回日本バイオセラピィ学会学術集会総会, 東京, 2008.11.18-19 (ワークショップ)
200. 石橋敬一郎, 石畝 亨, 桑原公亀, 大澤智徳, 岡田典倫, 宮崎達也, 横山 勝, 松木盛行, 石田秀行.
実施臨床における stage III 結腸癌に対する UFT/PSK 投与の治療成績.
第 70 回日本臨床外科学会総会, 東京, 2008.11.27-29 (ワークショップ)
201. 石橋敬一郎, 桑原公亀, 石畝 亨, 岡田典倫, 宮崎達也, 横山 勝, 松木盛行, 石田秀行.
結腸手術の術前機械洗浄はセンナ (sennoside) で十分である.
第 70 回日本臨床外科学会総会, 東京, 2008.11.27-29 (口演)

202. 岡田典倫, 石橋敬一郎, 横山 勝, 沖田剛之, 桑原公亀, 外間尚子, 石畝 亨, 宮崎達也, 石田秀行.
FOLFOX 治療中に発症したアレルギー症例の検討.
第 70 回日本臨床外科学会総会, 東京, 2008.11.27-29 (口演)
203. 岡田典倫, 石橋敬一郎, 横山 勝, 沖田剛之, 桑原公亀, 外間尚子, 石畝 亨, 宮崎達也, 石田秀行.
FOLFOX 治療における末梢神経障害の評価方法の検討.
第 70 回日本臨床外科学会総会, 東京, 2008.11.27-29 (口演)
204. 石畝 亨, 石橋敬一郎, 岡田典倫, 桑原公亀, 宮崎達也, 横山 勝, 松木盛行, 石田秀行.
高齢者大腸癌に対する mFOLFOX6/FOLFILI 療法.
第 70 回日本臨床外科学会総会, 東京, 2008.11.27-29 (口演)
205. 桑原公亀, 石橋敬一郎, 岡田典倫, 横山 勝, 宮崎達也, 松木盛行, 石田秀行.
潰瘍性大腸炎に合併した大腸 Inflammatory fibroid polyp の 1 例.
第 70 回日本臨床外科学会総会, 東京, 2008.11.27-29 (口演)
206. 外間尚子, 石橋敬一郎, 沖田剛之, 三橋敏武, 岡田典倫, 崎元雄彦, 宮崎達也, 松木盛行, 石田秀行.
妊娠中の急性虫垂炎に関する検討 (第 2 報).
第 70 回日本臨床外科学会総会, 東京, 2008.11.27-29 (口演)
207. 幡野 哲, 横山 勝, 外間尚子, 北岡 斎, 石畝 亨, 桑原公亀, 傍島 潤, 崎元雄彦, 岡田典倫, 沖田剛之, 宮崎達也, 石橋敬一郎, 松木盛行, 石田秀行.
当院手術室における手洗い法についての取り組みと変遷.
第 70 回日本臨床外科学会総会, 東京, 2008.11.27-29 (口演)
208. 久保田 将, 幡野 哲, 傍島 潤, 崎元雄彦, 沖田剛之, 横山 勝, 宮崎達也, 石橋敬一郎, 松木盛行, 石田秀行.
CT で術前診断し得た鼠径ヘルニア嵌頓による続発性大網捻転症の 1 例.
第 70 回日本臨床外科学会総会, 東京, 2008.11.27-29 (口演)

209. 横山洋三, 宮崎達也, 近 範泰, 北岡 斎, 石畝 亨, 岡田典倫, 横山 勝, 石橋敬一郎, 松木盛行, 石田秀行.
腹腔鏡下に摘出した後腹膜原発粘液性嚢胞腺腫の1例.
第70回日本臨床外科学会総会, 東京, 2008.11.27-29 (口演)
210. 石井正嗣, 岡田典倫, 桑原公亀, 外間尚子, 石畝 亨, 横山 勝, 石橋敬一郎, 宮崎達也, 松木盛行, 石田秀行.
当科における非閉塞腸管虚血症の4例.
第70回日本臨床外科学会総会, 東京, 2008.11.27-29 (口演)
211. 猪野 梓, 横山 勝, 沖田剛之, 幡野 哲, 久保田 将, 岡田典倫, 石橋敬一郎, 宮崎達也, 松木盛行, 石田秀行.
プロテインC欠乏症による門脈血栓症を認めた1例.
第70回日本臨床外科学会総会, 東京, 2008.11.27-29 (口演)
212. 三橋敏武, 宮崎達也, 崎元雄彦, 久保憲生, 石畝 亨, 岡田典倫, 横山 勝, 石橋敬一郎, 松木盛行, 石田秀行, 高橋健夫.
StageIVb 食道癌に対する chemoradiation の QOL に対する影響.
第70回日本臨床外科学会総会, 東京, 2008.11.27-29 (示説)
213. 田島雄介, 宮崎達也, 近 範泰, 横山洋三, 石畝 亨, 横山 勝, 石橋敬一郎, 松木盛行, 石田秀行.
急速な転帰をたどった胃内内分泌細胞癌の1例.
第26回埼玉外科集談会, さいたま, 2008.11.29 (口演)
214. 石井正嗣, 石橋敬一郎, 横山 勝, 桑原公亀, 石畝 亨, 大澤智徳, 岡田典倫, 宮崎達也, 松木盛行, 石田秀行.
S 状結腸癌卵巣転移による pseudo-Meigs' 症候群の1例.
第26回埼玉外科集談会, さいたま, 2008.11.29 (口演)
215. 久保田 将, 横山 勝, 幡野 哲, 沖田剛之, 宮崎達也, 石橋敬一郎, 松木盛行, 石田秀行.
mFOLFOX6 で著効が得られた直腸癌・同時性肝転移の1例.
第26回埼玉外科集談会, さいたま, 2008.11.29 (口演)

216. 三橋敏武, 中村浩一, 石原 斌, 石田秀行.
胃瘻チューブ交換時の腹腔内挿入を、緊急内視鏡で交換した1例.
第87回日本消化器内視鏡学会関東地方会, 東京, 2008.12.12-13 (口演)
217. 石畝 亨, 石橋敬一郎, 大澤智徳, 崎元雄彦, 宮崎達也, 横山 勝, 松木盛行,
石田秀行.
リンパ節の大きさからみた下部直腸・肛門管癌における所属リンパ節転移診断
の問題点.
第70回大腸癌研究会, 東京, 2009.1.16 (口演)
218. 崎元雄彦, 森ひろみ, 箕輪雄一, 荒牧瑞江, 竹内恭子, 原島典子, 小高明雄.
栄養管理計画書を用いたモニタリングシステムの有効性についての検討.
第24回静脈経腸栄養学会, 鹿児島, 2009.1.29-30 (示説)
219. 桑原公亀, 石橋敬一郎, 石畝 亨, 岡田典倫, 崎元雄彦, 横山 勝, 宮崎達也,
松木盛行, 石田秀行.
最近10年間に経験した大腸穿孔の検討.
第46回埼玉県医学会総会, さいたま, 2009.2.22 (口演)
220. 桑原 公亀, 石橋敬一郎, 横山 勝, 梶原美奈子, 松木盛行, 石田秀行.
汎発性膿性・糞便性腹膜炎を併発する大腸穿孔における人工肛門関連合併症対
策.
第26回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会, 青森, 2009.2.27-28
(口演)
221. 宮崎達也, 横山洋三, 石畝 亨, 近 範泰, 崎元雄彦, 岡田典倫, 横山 勝,
石橋敬一郎, 山田博文, 松木盛行, 石田秀行.
実地医療における根治切除不能胃癌に対するS-1+CDDP療法の妥当性.
第81回日本胃癌学会総会, 東京, 2009.3.4-6 (示説)
222. 平岡 優, 石井正嗣, 石橋敬一郎, 横山 勝, 宮崎達也, 大澤智徳, 傍島 潤,
猪熊滋久, 松木盛行, 石田秀行.
結腸癌の卵巣転移によるPseudo-Meigs'症候群についての検討～自験4例と文献
例による～.
第109回日本外科学会定期学術集会, 福岡, 2009.4.2-4 (口演)

223. 石橋敬一郎, 岡田典倫, 石畝 亨, 宮崎達也, 横山 勝, 松木盛行, 石田秀行.
切除不能・再発大腸癌における1次治療 mFOLFOX 療法の治療効果と
TS/ERCC1/ERCC2 遺伝子多型の検討.
第109回日本外科学会定期学術集会, 福岡, 2009.4.2-4 (示説)
224. 岡田典倫, 石橋敬一郎, 横山 勝, 沖田剛之, 幡野 哲, 石井正嗣, 久保田 将,
近 範泰.
アレルギー・神経障害で mFOLFOX6 を中止した大腸癌患者の背景と予後.
第109回日本外科学会定期学術集会, 福岡, 2009.4.2-4 (示説)
225. 宮崎達也, 石畝 亨, 近 範泰, 横山洋三, 幡野 哲, 崎元雄彦, 岡田典倫,
横山 勝, 石橋敬一郎, 松木盛行, 石田秀行.
胃悪性腫瘍手術における抗菌薬投与期間短縮の試み.
第109回日本外科学会定期学術集会, 福岡, 2009.4.2-4 (示説)
226. 外間尚子, 石畝 亨, 沖田剛之, 横山 勝, 宮崎達也, 石橋敬一郎, 松木盛行,
石田秀行, 小高明雄.
成人鼠径ヘルニアに対する Mesh-plug 法のポイント.
第109回日本外科学会定期学術集会, 福岡, 2009.4.2-4 (示説)
227. 石畝 亨, 石橋敬一郎, 横山 勝, 大澤智徳, 崎元雄彦, 岡田典倫, 宮崎達也,
松木盛行, 石田秀行, 橋本大定.
結腸癌に対する小切開根治術 228 例の検討.
第109回日本外科学会定期学術集会, 福岡, 2009.4.2-4 (示説)
228. 宮崎達也, 石畝 亨, 久保田 将, 外間尚子, 横山洋三, 崎元雄彦, 岡田典倫,
横山 勝, 石橋敬一郎, 松木盛行, 石田秀行.
実地臨床における高齢者高度進行胃癌に対する化学療法の現状と問題点.
第30回癌免疫外科研究会, 久留米, 2009.5.21-5.22 (口演)
229. 石橋敬一郎, 外間尚子, 石畝 亨, 桑原公亀, 岡田典倫, 大澤智徳, 宮崎達也,
横山 勝, 松木盛行, 石田秀行.
実地臨床における stage III 直腸癌に対する UFT/PSK 投与の治療成績.
第30回癌免疫外科研究会, 久留米, 2009.5.21-5.22 (ワークショップ)

230. 岡田典倫, 石橋敬一郎, 横山 勝, 桑原公亀, 石畝 亨, 幡野 哲, 外間尚子, 田島雄介, 石井正嗣, 久保田 将, 近 範泰, 宮崎達也, 石田秀行.
mFOLFOX6 治療におけるアレルギーの発症状況および予後との関係.
第 30 回癌免疫外科研究会, 久留米, 2009.5.21-5.22 (口演)
231. 岡田典倫, 石橋敬一郎, 横山 勝, 桑原公亀, 幡野 哲, 石井正嗣, 久保田 将, 近 範泰, 田丸純一, 宮崎達也, 石田秀行.
mFOLFOX6 施行後の肝切除の検討.
第 31 回日本癌局所療法研究会, 宇部, 2009.6.5 (シンポジウム)
232. 石畝 亨, 石橋敬一郎, 近 範泰, 田島雄介, 外間尚子, 幡野 哲, 崎元雄彦, 宮崎達也, 横山 勝, 中田 博, 松木盛行, 石田秀行.
プレパラート標本からみた下部直腸癌の側方リンパ節転移予測の可能性.
第 31 回日本癌局所療法研究会, 宇部, 2009.6.5 (口演)
233. 石橋敬一郎, 外間尚子, 石畝 亨, 大澤智徳, 岡田典倫, 宮崎達也, 横山 勝, 猪熊滋久, 石田秀行.
直腸癌骨盤内再発に対する治療 (切除 vs 全身化学療法).
第 31 回日本癌局所療法研究会, 宇部, 2009.6.5 (口演)
234. 石橋敬一郎, 傍島 潤, 石畝 亨, 大澤智徳, 岡田典倫, 宮崎達也, 横山 勝, 猪熊滋久, 石田秀行.
大腸癌原発巣・肝転移巣における Dihydropyrimidine Dehydrogenase (DPD) 発現: 癌細胞内 mRNA 発現と腫瘍組織中蛋白発現量の関係と 5-FU 系抗癌剤の治療効果.
第 31 回日本癌局所療法研究会, 宇部, 2009.6.5 (口演)
235. 田島雄介, 石橋敬一郎, 石畝 亨, 大澤智徳, 崎元雄彦, 岡田典倫, 宮崎達也, 横山 勝, 松木盛行, 石田秀行.
大腸癌脳転移 12 例の検討.
第 31 回日本癌局所療法研究会, 宇部, 2009.6.5 (口演)
236. 石井正嗣, 石橋敬一郎, 石畝 亨, 桑原公亀, 大澤智徳, 岡田典倫, 宮崎達也, 横山 勝, 猪熊滋久, 石田秀行.
大腸癌卵巣転移切除例の検討: 他の腹膜転移症例と比較して.
第 31 回日本癌局所療法研究会, 宇部, 2009.6.5 (口演)

237. 大澤智徳, 石畝 亨, 横山 勝, 中田 博, 桑原公亀, 宮崎達也, 石橋敬一郎, 石田秀行.
当科で経験した家族性大腸腺腫症の随伴病変.
第 15 回日本家族性腫瘍学会学術集会, 東京 2009.6.13 (示説)
238. 猪野 梓, 石橋敬一郎, 岡田典倫, 横山洋三, 田島雄介, 幡野 哲, 石畝 亨, 大澤智徳, 宮崎達也, 横山 勝, 石田秀行.
興味ある経緯をたどった S 状結腸癌術後孤立性腹膜外転移の 1 例.
第 813 回外科集談会, 東京, 2009.6.13 (口演)
239. 石橋敬一郎, 岡田典倫, 石畝 亨, 桑原公亀, 大澤智徳, 宮崎達也, 横山 勝, 石田秀行.
切除不能・再発大腸がんに対する 1 次治療 mFOLFOX6 療法施行患者の ERCC1, ERCC2 遺伝子多型.
第 18 回日本癌病態治療研究会, 福島, 2009.6.18-19 (ワークショップ)
240. 石橋敬一郎, 岡田典倫, 石畝 亨, 桑原公亀, 大澤智徳, 宮崎達也, 横山 勝, 石田秀行.
実地臨床における mFOLFOX6/FOLFIRI に対する bevacizumab の上乗せ効果について.
第 18 回日本癌病態治療研究会, 福島, 2009.6.18-19 (口演)
241. 宮崎達也, 石畝 亨, 崎元雄彦, 久保田 将, 外間尚子, 横山洋三, 岡田典倫, 横山 勝, 石橋敬一郎, 石田秀行.
Non-T4, Stage II, III 食道癌症例のリスクに基づいた治療選択とその成績.
第 18 回日本癌病態治療研究会, 福島, 2009.6.18-19 (口演)
242. 横山洋三, 石橋敬一郎, 幡野 哲, 石畝 亨, 桑原公亀, 岡田典倫, 大澤智徳, 宮崎達也, 横山 勝, 石田秀行.
大腸癌イレウス症例の特徴と治療上の問題点.
第 18 回日本癌病態治療研究会, 福島, 2009.6.18-19 (口演)
243. 石田秀行, 石畝 亨, 大澤智徳, 岡田典倫, 横山 勝, 宮崎達也, 石橋敬一郎.
大腸癌に対する骨盤内臓全摘術の功罪: 前方・後方全摘術、腹会陰式直腸切断術との比較.
第 34 回日本外科系連合学会学術集会, 東京, 2009.6.18-19 (ワークショップ)

244. 近 範泰, 崎元雄彦, 桑原公亀, 外間尚子, 石橋敬一郎, 横山 勝, 宮崎達也, 松木盛行, 石田秀行, 長田久人.
妊娠中に発症し、CT で診断しえた腹膜垂炎の1例.
第34回日本外科系連合学会学術集会, 東京, 2009.6.18-19 (示説)
245. 宮崎達也, 石畝 亨, 崎元雄彦, 久保田 将, 外間尚子, 横山洋三, 岡田典倫, 横山 勝, 石橋敬一郎, 石田秀行.
当科におけるサルベージ手術症例の検討.
第62回日本食道学会学術集会, 横浜, 2009.6.25-26 (口演)
246. 石橋敬一郎, 横山洋三, 石畝 亨, 桑原公亀, 大澤智徳, 岡田典倫, 宮崎達也, 横山 勝, 石田秀行.
Stage II 大腸癌の高リスク因子についての検討.
第71回大腸癌研究会, さいたま, 2009.7.3 (口演)
247. 横山洋三, 石橋敬一郎, 幡野 哲, 石畝 亨, 岡田典倫, 大澤智徳, 宮崎達也, 横山 勝, 石田秀行.
イレウス・穿孔を来した Stage II 大腸癌症例の特徴と治療上の問題点.
第71回大腸癌研究会, さいたま, 2009.7.3 (示説)
248. 宮崎達也, 石畝 亨, 崎元雄彦, 久保田 将, 外間尚子, 横山洋三, 岡田典倫, 横山 勝, 石橋敬一郎, 石田秀行.
治療切除可能食道癌に対する根治的 CRT の適応と当科における治療方針.
第64回日本消化器外科学会総会, 大阪, 2009.7.16-18 (ワークショップ)
249. 石畝 亨, 宮崎達也, 外間尚子, 幡野 哲, 崎元雄彦, 横山 勝, 石橋敬一郎, 辻 美隆, 松木盛行, 石田秀行.
高齢者の胃癌手術の検討.
第64回日本消化器外科学会総会, 大阪, 2009.7.16-18 (口演)
250. 幡野 哲, 石橋敬一郎, 石畝 亨, 大澤智徳, 岡田典倫, 宮崎達也, 横山 勝, 松木盛行, 石田秀行.
下部直腸、肛門管癌の側方リンパ節径と術前画像診断の問題点.
第64回日本消化器外科学会総会, 大阪, 2009.7.16-18 (口演)

251. 岡田典倫, 石橋敬一郎, 横山 勝, 桑原公亀, 外間尚子, 宮崎達也, 石田秀行.
大腸癌組織中血管新生関連因子と mFOLFOX6 の治療効果.
第 64 回日本消化器外科学会総会, 大阪, 2009.7.16-18 (示説)
252. 石橋敬一郎, 岡田典倫, 石畝 亨, 大澤智徳, 宮崎達也, 横山 勝, 松木盛行,
石田秀行.
切除不能・再発大腸癌に対する 1 次治療 mFOLFOX、2 次治療 FOLFIRI±
bevacizumab の治療成績.
第 64 回日本消化器外科学会総会, 大阪, 2009.7.16-18 (示説)
253. 石橋敬一郎, 岡田典倫, 石畝 亨, 横山 勝, 宮崎達也, 佐野元彦, 山田博文,
石田秀行.
切除不能・再発大腸癌における 1 次治療 mFOLFOX6 の効果と GSTP1, GSTT1,
GSTM1, MTHFR, TS, ERCC1, ERCC2, 遺伝子多型との関係.
第 68 回日本癌学会学術総会, 横浜, 2009.10.1-3 (示説)
254. 宮崎達也, 横山洋三, 石畝 亨, 崎元雄彦, 岡田典倫, 石橋敬一郎, 桑野博行,
石田秀行.
治癒切除可能食道癌に対する化学放射線治療の位置づけ.
第 62 回日本胸部外科学会定期学術集会, 横浜, 2009.10.11-13 (示説)
255. 岡田典倫, 石橋敬一郎, 横山 勝, 桑原公亀, 幡野 哲, 外間尚子, 田島雄介,
石井正嗣, 久保田 将, 近 範泰, 猪野 梓, 宮崎達也, 石田秀行.
mFOLFOX6 の治療効果予測と血清 CEA 濃度の推移.
第 47 回日本癌治療学会学術集会, 横浜, 2009.10.22-24 (口演)
256. 石橋敬一郎, 岡田典倫, 石畝 亨, 大澤智徳, 宮崎達也, 横山 勝, 佐野元彦,
井上尚彦, 石田秀行.
切除不能・再発大腸癌に対する 1 次治療 mFOLFOX6 の治療成績.
第 47 回日本癌治療学会学術集会, 横浜, 2009.10.22-24 (口演)
257. 傍島 潤, 宮崎達也, 石橋敬一郎, 石田秀行.
食道扁平上皮癌における放射線・化学放射線療法の治療効果予測因子の検討.
第 47 回日本癌治療学会学術集会, 横浜, 2009.10.22-24 (示説)

258. 井上尚彦, 佐野元彦, 小松崎 健, 岸野 亨, 岡田典倫, 石橋敬一郎, 石田秀行.
FOLFOX 療法施行患者を対象とした末梢神経障害の評価方法の検討.
第 47 回日本癌治療学会学術集会, 横浜, 2009.10.22-24 (示説)
259. 石井正嗣, 岡田典倫, 石橋敬一郎, 横山 勝, 桑原公亀, 幡野 哲, 宮崎達也,
石田秀行, 田丸淳一.
mFOLFOX6 施行後の肝切除の安全性の検討.
第 47 回日本癌治療学会学術集会, 横浜, 2009.10.22-24 (パネルディスカッション)
260. 宮崎達也, 横山洋三, 石畝 亨, 外間尚子, 石井正嗣, 傍島 潤, 崎元雄彦,
岡田典倫, 横山 勝, 石橋敬一郎, 山田博文, 本戸幹人, 石田秀行.
食道癌 T4M0 症例の治療戦略.
第 47 回日本癌治療学会学術集会, 横浜, 2009.10.22-24 (口演)
261. 井上尚彦, 佐野元彦, 小松崎 健, 岸野 亨, 岡田典倫, 石橋敬一郎,
石田秀行.
FOLFOX 療法施行患者を対象とした末梢神経障害の評価方法の検討.
第 47 回日本癌治療学会学術集会, 横浜, 2009.10.22-24 (口演)
262. 石橋敬一郎, 岡田典倫, 石畝 亨, 桑原公亀, 大澤智徳, 宮崎達也, 横山 勝,
森 隆, 石田秀行.
切除不能・再発大腸癌における 1 次治療 mFOLFOX6 療法の治療効果と
TS/ERCC1 蛋白発現の検討.
第 64 回日本大腸肛門病学会学術集会, 福岡, 2009.11.6-7 (口演)
263. 石橋敬一郎, 岡田典倫, 石畝 亨, 横山 勝, 宮崎達也, 佐野元彦, 山田博文,
石田秀行.
治療効果、安全性、費用、効果予測因子からみた 1 次治療 mFOLFOX6 に対する
Bevacizumab の併用効果.
第 64 回日本大腸肛門病学会学術集会, 福岡, 2009.11.6-7 (シンポジウム)
264. 石畝 亨, 石橋敬一郎, 幡野 哲, 大澤智徳, 崎元雄彦, 宮崎達也, 横山 勝,
石田秀行.
プレパレート標本からみた下部直腸癌における傍直腸および側方リンパ節の
大きさと転移.
第 64 回日本大腸肛門病学会学術集会, 福岡, 2009.11.6-7 (口演)

265. 田島雄介, 石橋敬一郎, 近 範泰, 石畝 亨, 大澤智徳, 崎元雄彦, 岡田典倫, 宮崎達也, 横山 勝, 石田秀行.
大腸癌脳・肺転移に対し mFOLFOX6 と放射線治療を施行した 2 例.
第 64 回日本大腸肛門病学会学術集会, 福岡, 2009.11.6-7 (口演)
266. 田島雄介, 石橋敬一郎, 近 範泰, 大澤智徳, 宮崎達也, 横山 勝, 石田秀行.
下大静脈合併切除を伴った大腸癌副腎転移の 1 例.
第 64 回日本大腸肛門病学会学術集会, 福岡, 2009.11.6-7 (口演)
267. 石畝 亨, 大澤智徳, 宮崎達也, 横山 勝, 石橋敬一郎, 石田秀行.
横行結腸癌に対する小切開手術.
第 64 回日本大腸肛門病学会学術集会, 福岡, 2009.11.6-7 (口演)
268. 桑原公亀, 石畝 亨, 石橋敬一郎, 大澤智徳, 岡田典倫, 横山 勝, 宮崎達也, 石田秀行.
小切開アプローチ法による結腸癌根治術における腹部手術既往の影響.
第 64 回日本大腸肛門病学会学術集会, 福岡, 2009.11.6-7 (口演)
269. 桑原公亀, 石橋敬一郎, 石畝 亨, 大澤智徳, 岡田典倫, 宮崎達也, 横山 勝, 石田秀行.
結腸手術の術前機械洗浄はセンナ (sennoside) で十分である - Case-match study.
第 64 回日本大腸肛門病学会学術集会, 福岡, 2009.11.6-7 (口演)
270. 大澤智徳, 石畝 亨, 横山 勝, 田島雄介, 桑原公亀, 岡田典倫, 石橋敬一郎, 石田秀行.
大腸全摘・回腸囊肛門吻合術: 腹腔鏡下操作の簡略化と直腸粘膜切除を中心に.
第 64 回日本大腸肛門病学会学術集会, 福岡, 2009.11.6-7 (ビデオシンポジウム)
271. 大澤智徳, 竹内幾也, 石畝 亨, 横山 勝, 石橋敬一郎, 吉田輝彦, 石田秀行, 岩間毅夫.
家族性大腸線種症に対する大腸全摘前のスクリーニング検査で発見された甲状腺癌の 1 例.
第 64 回日本大腸肛門病学会学術集会, 福岡, 2009.11.6-7 (示説)

272. 猪野 梓, 石畝 亨, 横山 勝, 沖田剛之, 幡野 哲, 久保田 将, 宮崎達也, 石橋敬一郎, 吉田輝彦, 石田秀行, 岩間毅夫.
貧血を契機に発見され腸重積を伴った結腸原発 PEComa の 1 例.
第 64 回日本大腸肛門病学会学術集会, 福岡, 2009.11.6-7 (口演)
273. 岡田典倫, 石橋敬一郎, 大澤智徳, 桑原公亀, 幡野 哲, 田島雄介, 久保田 将, 近 範泰, 横山 勝, 宮崎達也, 石田秀行.
Köhne's index による mFOLFOX6 の治療効果予測.
第 64 回日本大腸肛門病学会学術集会, 福岡, 2009.11.6-7 (口演)
274. 石橋敬一郎, 猪熊滋久, 鈴木 毅, 秦 怜志, 朴 英智, 廣瀬哲也, 望月智行, 藤野幸夫, 屋嘉比康治, 山田博文, 黒田 徹, 松本力雄, 岡田典倫, 石田秀行.
地域連携クリニカルパスの現況ー西埼玉消化器 ONCOLOGY 研究会での試み.
第 71 回日本臨床外科学会総会, 京都, 2009.11.19-21 (口演)
275. 久保田 将, 幡野 哲, 猪野 梓, 石畝 亨, 崎元雄彦, 横山洋三, 宮崎達也, 石橋敬一郎, 石田秀行.
SLE 患者に発症した腸管穿孔の 2 例.
第 71 回日本臨床外科学会総会, 京都, 2009.11.19-21 (口演)
276. 外間尚子, 石橋敬一郎, 桑原公亀, 石畝 亨, 岡田典倫, 大澤智徳, 宮崎達也, 横山 勝, 石田秀行.
直腸癌に対する括約筋温存術における吻合法の検討: single stapling technique (SST) 側端吻合と double stapling technique (DST) の比較.
第 71 回日本臨床外科学会総会, 京都, 2009.11.19-21 (口演)
277. 大澤智徳, 石畝 亨, 横山 勝, 幡野 哲, 田島雄介, 近 範泰, 横山洋三, 崎元雄彦, 久保田 将, 岡田典倫, 石井正嗣, 猪野 梓, 宮崎達也, 石橋敬一郎, 石田秀行.
右側結腸癌手術における上腸間膜静脈系の解剖学的考察.
第 71 回日本臨床外科学会総会, 京都, 2009.11.19-21 (口演)
278. 猪野 梓, 久保田 将, 近 範泰, 横山洋三, 田島雄介, 大澤智徳, 横山 勝, 石橋敬一郎, 宮崎達也, 石田秀行.
プロテイン C 欠乏症による下大静脈・上腸間膜静脈・門脈血栓症を認めた 1 例.
第 71 回日本臨床外科学会総会, 京都, 2009.11.19-21 (口演)

279. 幡野 哲, 石畝 亨, 大澤智徳, 宮崎達也, 横山 勝, 石橋敬一郎, 石田秀行.
内視鏡的摘除後の追加切除としての小切開結腸癌根治術.
第 71 回日本臨床外科学会総会, 京都, 2009.11.19-21 (口演)
280. 石井正嗣, 石畝 亨, 大澤智徳, 宮崎達也, 横山 勝, 石橋敬一郎, 石田秀行.
進行横行結腸癌に対する小切開手術の成績.
第 71 回日本臨床外科学会総会, 京都, 2009.11.19-21 (口演)
281. 岡田典倫, 石橋敬一郎, 大澤智徳, 桑原公亀, 幡野 哲, 田島雄介, 石井正嗣,
久保田 将, 近 範泰, 猪野 梓, 横山 勝, 宮崎達也, 石田秀行.
外科医が行う外来化学療法レベルアップ: 大腸癌化学療法での標準化への取
り組み.
第 71 回日本臨床外科学会総会, 京都, 2009.11.19-21 (口演)
282. 石橋敬一郎, 岡田典倫, 石畝 亨, 桑原公亀, 大澤智徳, 宮崎達也, 横山 勝,
山田博文, 三浦一郎, 石田秀行.
切除不能・再発大腸癌における 1 次治療 mFOLFOX6 療法の治療効果は TS,
ERCC1, ERCC2 遺伝子多型、mRNA 発現、蛋白発現から予測可能か?
第 71 回日本臨床外科学会総会, 京都, 2009.11.19-21 (口演)
283. 幡野 哲, 石橋敬一郎, 外間尚子, 石畝 亨, 大澤智徳, 岡田典倫, 宮崎達也,
横山 勝, 石田秀行.
新規抗癌剤時代の直腸癌骨盤内再発に対する治療選択.
第 71 回日本臨床外科学会総会, 京都, 2009.11.19-21 (口演)
284. 岡田典倫, 石橋敬一郎, 大澤智徳, 桑原公亀, 幡野 哲, 田島雄介, 石井正嗣,
久保田 将, 近 範泰, 猪野 梓, 横山 勝, 宮崎達也, 石田秀行.
Oxaliplatin によるアレルギー発症症例の予後の検討: case-matching study.
第 71 回日本臨床外科学会総会, 京都, 2009.11.19-21 (口演)
285. 石橋敬一郎, 猪熊滋久, 鈴木 毅, 秦 怜志, 朴 英智, 廣瀬哲也, 望月智行,
藤野幸夫, 屋嘉比康治, 山田博文, 黒田 徹, 松本力雄, 岡田典倫, 石田秀行.
切除不能・再発大腸癌に対する 1 次治療 mFOLFOX6±bevacizumab, 2 次治療
FOLFIRI±bevacizumab の治療成績.
第 22 回日本バイオセラピィ学会学術集会総会, 大阪, 2009.11.26-27 (ワークシ
ョップ)

286. 大澤智徳, 桑原公亀, 近 範泰, 石井正嗣, 石畝 亨, 天野邦彦, 芳賀紀裕, 石田秀行, 岩間毅夫.
胸腹壁 desmoid 切除 12 年後に診断された attenuated FAP (AFAP) の 1 例.
第 27 回埼玉県外科集談会, さいたま, 2009.11.28 (口演)
287. 石井正嗣, 石橋敬一郎, 近 範泰, 石畝 亨, 大澤智徳, 岡田典倫, 芳賀紀裕, 石田秀行.
横行結腸癌・肝転移に化学療法が著効し切除し得た家族性大腸線種症 (FAP) の 1 例.
第 27 回埼玉県外科集談会, さいたま, 2009.11.28 (口演)
288. 近 範泰, 石橋敬一郎, 石井正嗣, 田島雄介, 桑原公亀, 岡田典倫, 横山 勝, 芳賀紀裕, 石田秀行.
大腸癌術後の経過観察中に CA19-9 高値を呈した巨大肝嚢胞の 1 例.
第 27 回埼玉県外科集談会, さいたま, 2009.11.28 (口演)
289. 石畝 亨, 石井正嗣, 横山洋三, 大澤智徳, 崎元雄彦, 宮崎達也, 横山 勝, 石橋敬一郎, 芳賀紀裕, 石田秀行.
当科における Stage II・III 胃癌術後補助化学療法の現状.
第 39 回胃外科・術後障害研究会, 仙台, 2009.11.29-30 (口演)
290. 外間尚子, 石橋敬一郎, 桑原公亀, 石畝 亨, 岡田典倫, 大澤智徳, 宮崎達也, 横山 勝, 石田秀行.
直腸癌に対する括約筋温存術における single stapling technique を用いた端々吻合の SSI.
第 22 回日本外科感染症学会総会, 宇部, 2009.12.9-11 (口演)
291. 桑原公亀, 石橋敬一郎, 石畝 亨, 大澤智徳, 岡田典倫, 大澤智徳, 横山 勝, 宮崎達也, 石田秀行.
ロジスティック回帰分析を用いた大腸穿孔の予後因子解析.
第 22 回日本外科感染症学会総会, 宇部, 2009.12.9-11 (口演)
292. 桑原公亀, 石橋敬一郎, 外間尚子, 石畝 亨, 岡田典倫, 大澤智徳, 宮崎達也, 横山 勝, 石田秀行.
大腸穿孔治療における AT-III 値の臨床的意義.
第 22 回日本外科感染症学会総会, 宇部, 2009.12.9-11 (口演)

293. 石橋敬一郎, 宮崎達也, 桑原公亀, 外間尚子, 石畝 亨, 岡田典倫, 大澤智徳, 横山 勝, 石田秀行.
Randomized control study の結果から見た胃・結腸・直腸切除に対する周術期抗菌薬短縮化の妥当性.
第 22 回日本外科感染症学会総会, 宇部, 2009.12.9-11 (シンポジウム)
294. 石井正嗣, 石橋敬一郎, 幡野 哲, 石畝 亨, 岡田典倫, 大澤智徳, 崎元雄彦, 石塚直樹, 横山 勝, 隈元謙介, 芳賀紀裕, 石田秀行.
過去 11 年間における小腸癌 7 例の臨床病理学的検討・診断・治療に対する必要事項の検証.
第 72 回大腸癌研究会, 久留米, 20010.1.15 (示説)
295. 石橋敬一郎, 石井正嗣, 幡野 哲, 石畝 亨, 大澤智徳, 桑原公亀, 隈元謙介, 芳賀紀裕, 石田秀行.
大腸癌同時性肝転移症例における肝所属リンパ節の臨床的意義.
第 72 回大腸癌研究会, 久留米, 20010.1.15 (示説)
296. 幡野 哲, 石橋敬一郎, 横山洋三, 石井正嗣, 石畝 亨, 大澤智徳, 岡田典倫, 隈元謙介, 芳賀紀裕, 石田秀行.
下部直腸癌における側方リンパ節の位置づけ TNM 分類 vs 大腸がん取扱い規約.
第 72 回大腸癌研究会, 久留米, 20010.1.15 (示説)
297. 外間尚子, 石橋敬一郎, 傍島 潤, 石畝 亨, 岡田典倫, 大澤智徳, 芳賀紀裕, 石田秀行, 馬場一憲, 関 博之.
妊娠中急性虫垂炎の地域性に関する検討.
第 47 回埼玉県医学会総会, さいたま, 2010.1.24 (口演)
298. 石橋敬一郎, 幡野 哲, 石畝 亨, 岡田典倫, 大澤智徳, 崎元雄彦, 石塚直樹, 横山 勝, 隈元謙介, 芳賀紀裕, 石田秀行.
実地臨床における切除不能・再発大腸癌に対する bevacizumab, cetuximab の治療効果.
第 6 回日本消化管学会総会学術集会, 福岡, 2010.2.19.2.20 (ワークショップ)

299. 石畝 亨, 久保田 将, 横山洋三, 桑原公亀, 大澤智徳, 岡田典倫, 石橋敬一郎, 芳賀紀裕, 石田秀行.
当科における十二指腸穿孔の *Helicobacter pylori* 感染率と follow up における問題点.
第 6 回日本消化管学会総会学術集会, 福岡, 2010.2.19.2.20 (口演)
300. 石井正嗣, 石橋敬一郎, 幡野 哲, 石畝 亨, 岡田典倫, 大澤智徳, 宮崎達也, 横山 勝, 石田秀行.
大腸癌卵巣転移の臨床病理学的特徴と予後.
第 6 回日本消化管学会総会学術集会, 福岡, 2010.2.19.2.20 (口演)
301. 横山洋三, 石橋敬一郎, 石井正嗣, 幡野 哲, 石畝 亨, 桑原公亀, 大澤智徳, 岡田典倫, 宮崎達也, 石田秀行.
大腸癌卵巣転移の臨床病理学的特徴と予後.
第 6 回日本消化管学会総会学術集会, 福岡, 2010.2.19.2.20 (口演)
302. 天野邦彦, 石畝 亨, 横山洋三, 隈元謙介, 石橋敬一郎, 芳賀紀裕, 石田秀行, 宮崎達也.
当科における高齢者胃癌手術の現状と問題点.
第 82 回日本胃癌学会総会, 新潟, 2010.3.3-3.5 (口演)
303. 石畝 亨, 横山洋三, 大澤智徳, 隈元謙介, 石橋敬一郎, 芳賀紀裕, 石田秀行.
当科の胃癌手術における SSI 発生の現状と問題点.
第 82 回日本胃癌学会総会, 新潟, 2010.3.3-3.5 (口演)
304. 桑原公亀, 芳賀紀裕, 石畝 亨, 横山洋三, 幡野 哲, 大澤智徳, 崎元雄彦, 石橋敬一郎, 石田秀行.
根治切除不能胃癌の予後規定因子に関する検討.
第 82 回日本胃癌学会総会, 新潟, 2010.3.3-3.5 (示説)
305. 横山洋三, 石畝 亨, 猪野 梓, 石井正嗣, 久保田 将, 幡野 哲, 桑原公亀, 大澤智徳, 崎元雄彦, 岡田典倫, 石橋敬一郎, 芳賀紀裕, 石田秀行.
低蛋白血症・幽門狭窄をきたした高齢者胃腸管型若年性ポリポーシスの 1 例.
第 82 回日本胃癌学会総会, 新潟, 2010.3.3-3.5 (示説)

306. 桑原公亀, 石橋敬一郎, 大澤智徳, 岡田典倫, 石畝 亨, 隈元謙介, 芳賀紀裕, 石田秀行.
Hinchey stage から見た大腸穿孔に対する SSI 対策.
第 46 回日本腹部救急医学会総会, 富山, 2010.3.18-19 (ワークショップ)
307. 石田秀行, 桑原公亀, 石畝 亨, 大澤智徳, 岡田典倫, 隈元謙介, 石橋敬一郎, 芳賀紀裕.
SSCG (2008) の敗血症分類から見た大腸穿孔に対する治療方針の選択.
第 46 回日本腹部救急医学会総会, 富山, 2010.3.18-19 (ワークショップ)
308. 外間尚子, 石橋敬一郎, 桑原公亀, 石畝 亨, 岡田典倫, 大澤智徳, 隈元謙介, 芳賀紀裕, 石田秀行.
DPC 制度における急性虫垂炎治療の医療経済的検討.
第 46 回日本腹部救急医学会総会, 富山, 2010.3.18-19 (口演)

座長・司会

1. 石田秀行 大腸・肛門 2
第 60 回日本消化器外科学会定期学術総会，東京，2005.7.20-22
2. 石田秀行 大腸癌転移 6
第 60 回日本大腸肛門病学会学術集会，東京，2005.10.28-29
3. 石田秀行 大腸癌の深展度診断 A
第 64 回大腸癌研究会，東京，2006.1.20
4. 石田秀行 大腸 (1)
第 28 回日本癌局所療法研究会，東京，2006.6.30
5. 石田秀行 小腸良性 3 (穿孔)
第 61 回日本消化器外科学会定期学術総会，横浜，2006.7.13-15
6. 石田秀行 大腸・肛門・小腸 薬物療法 (1)
第 44 回日本癌治療学会総会，東京，2006.10.18-20
7. 石田秀行 消化器全般 (1)
第 44 回日本癌治療学会総会，東京，2006.10.18-20
8. 石田秀行 小腸 5
第 68 回日本臨床外科学会総会，広島，2006.11.9-11
9. 石田秀行 周術期抗菌剤投与 2
第 19 回日本外科感染症学会総会，東京，2006.11.30-12.1
10. 石田秀行 消化管①
第 3 回日本消化管学会総会学術集会，東京，2007.2.1-2
11. 石田秀行 化学療法
第 16 回日本癌病態治療研究会，東京，2007.6.27-28
12. 石田秀行 大腸・肛門 診断・検査 2
第 62 回日本消化器外科学会定期学術総会，東京，2007.7.18-20

13. 石田秀行 消化器 進行・再発癌の治療 (1)
第 45 回日本癌治療学会総会, 京都, 2007.10.24-26
14. 石田秀行 小腸 5
第 69 回日本臨床外科学会総会, 横浜, 2007.11.29-12.1
15. 石田秀行 診断、非外科治療、内視鏡治療
第 68 回大腸癌研究会, 福岡, 2008.1.25
16. 石田秀行 大腸 (化学療法-1)
第 108 回日本外科学会定期学術集会, 長崎, 2008.5.15-17
17. 石田秀行 分子標的・抗体療法 (臨床) 2008 年 6 月 19 日
第 29 回癌免疫外科研究会, 東京, 2008.6.19-20
18. 宮崎達也 異物 2006 年 6 月 21 日
第 62 回日本食道学会学術集会, 東京, 2008.6.21-22
19. 石田秀行 一般演題 1
第 17 回日本癌病態治療研究会, 京都, 2008.6.26-27
20. 石田秀行 消化器外科医必見の肛門疾患ベストトリートメント
第 63 回日本消化器外科学会定期学術総会, 札幌, 2008.7.16-18
21. 石橋敬一郎 大腸悪性 9
第 63 回日本消化器外科学会定期学術総会, 札幌, 2008.7.16-18
22. 石田秀行 大腸 SM 癌
第 63 回日本大腸肛門病学会学術集会, 東京, 2008.10.17-18
23. 石田秀行 大腸・肛門 進行・再発 2
第 46 回日本癌治療学会総会, 名古屋, 2008.10.30-11.1
24. 石田秀行 大腸・肛門 進行・再発 2
第 21 回日本バイオセラピィ学会学術集会総会, 東京, 2008.11.18-19

25. 石田秀行 大腸 I 2008年11月29日
第26回埼玉県外科集談会, さいたま, 2008.11.29
26. Hideyuki Ishida New approach of colorectal cancer surgery.
11th Japan-China-Korea Symposium for Colorectal Cancer. Tokyo, Japan, December
4-5. 2008
27. 石田秀行 ドレナージ 1
第26回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会, 青森, 2009.2.27-28
28. 石田秀行 私の印象に残る癌局所療法: 大腸・カテーテル合併症
第31回日本癌局所療法研究会, 宇部, 2009.6.5
29. 石橋敬一郎 大腸癌転移・再発
第813回外科集談会, 東京, 2009.6.13
30. 石田秀行 癌治療全般
第18回日本癌病態治療研究会, 福島, 2009.6.18-19
31. 石田秀行 stage II の治療戦略
第71回大腸癌研究会, さいたま, 2009.7.3
32. 石田秀行 高齢者手術の諸問題 2
第64回日本消化器外科学会総会, 大阪, 2009.7.16-18
33. 石田秀行 大腸・肛門 薬物療法 4
第47回日本癌治療学会学術集会, 横浜, 2009.10.22-24
34. 石田秀行 大腸・肛門 薬物療法 2
第47回日本癌治療学会学術集会, 横浜, 2009.10.22-24
35. 石田秀行 早期大腸癌 1
第64回日本大腸肛門病学会学術集会, 福岡, 2009.11.6-7
36. 石田秀行 手術時の SSI 対策、ドレーン管理ー4
第71回日本臨床外科学会総会, 京都, 2009.11.19-21

37. 石田秀行 SSI サーベイランスの影響
第 22 回日本外科感染症学会総会，宇部，2009.12.9-11

38. 石田秀行 症例報告 4
第 82 回日本胃癌学会総会，新潟，2010.3.3-3.5

39. 石田秀行 忘れられない症例 5
第 46 回日本腹部救急医学会総会，富山，2010.3.18-3.19

講演会・懇話会など

座長・司会

1. 石田秀行 第1回大腸癌治療ガイドライン講座
さいたま, 2006.9.1 (アドバイザー)
2. 石田秀行 消化器外科緩和ケア懇話会
さいたま, 2006.9.9 (座長)
3. 石田秀行 第2回西部第一(東)医療圏 消化器癌化学療法セミナー
川越, 2006.11.22 (座長)
4. 石田秀行 大腸癌化学療法 WEB 講演会
川越, 2007.4.20 (司会)
5. 石田秀行 関東第一(さいたま)座談会
さいたま, 2007.6.8 (司会)
6. 石田秀行 川越市外来化学療法講演会
川越, 2007.6.15 (座長)
7. 石田秀行 第3回 大腸癌治療ガイドライン講座
川越, 2007.9.14
8. 石田秀行 川越市外科医会臨床検討会
川越, 2007.9.19 (司会)
9. 石田秀行 埼玉コロッセミナー特別講演
川越, 2007.9.19 (司会)
10. 石田秀行 大腸癌外来化学療法研究会
浦和, 2007.12.8 (座長)
11. 石田秀行 アバスチン川越カンファレンス
川越, 2008.3.12 (特別講演司会)
12. 石田秀行 座談会
東京, 2008.3.12 (特別講演司会)

13. 松木盛行 川越外科臨床研究会
川越, 2008.9.25 (座長)
14. 石田秀行 第2回川越外来化学療法懇話会
川越, 2008.10.15 (座長)
15. 石田秀行 第10回川越消化器病談話会
川越, 2008.10.23 (座長)
16. 石田秀行 第10回 侵襲と生体反応研究会
東京, 2009.2.21 (司会)
17. 石田秀行 埼玉大腸がん治療セミナー
さいたま, 2009.3.9 (座長)
18. 石田秀行 BMKK 大腸がんセミナー
さいたま, 2009.3.9 (座長)
19. 石田秀行 第1回 埼玉GIフォーラム
さいたま, 2009.3.26 (司会)
20. 石田秀行 川越ゼロータ講演会
川越, 2009.5.25 (司会)
21. 石田秀行 第1回地域がん診療連携拠点病院埼玉医科大学総合医療センター
市民公開講座
川越, 2009.7.11 (座長)
22. 石田秀行 第7回 北関東上部消化管癌化学療法研究会
さいたま, 2009.10.31 (特別講演座長)
23. 石田秀行 大腸癌治療カンファレンス
川越, 2010.1.13 (司会)
24. 石田秀行 第11回 侵襲と生体反応研究会
さいたま, 2010.2.27 (司会)
25. 石田秀行 川越大腸がん治療セミナー
川越, 2010.5.26 (座長)

講演

1. 大腸癌化学療法 of 臨床研究実施について
石田秀行
西埼玉消化器 ONCOLOGY 研究会, 川越, 2007.11.14
2. 消化器がん化学療法と地域連携
石田秀行
消化器がん化学療法と地域連携学術講演会, 盛岡, 2007.11.16
3. 大腸癌治療と地域連携
石田秀行
大腸癌治療地域連携講演会, 金沢, 2007.11.24
4. 大腸癌標準化学療法の実際
石田秀行
第4回東部がん化学療法セミナー, 春日部, 2008.6.16
5. 大腸癌化学療法と地域連携
石田秀行
第2回 東群馬大腸がん懇話会, 伊勢崎, 2009.1.23
6. 大腸癌術後補助化学療法における治療戦略
石田秀行
群馬ゼロダ Meeting, 前橋, 2009.2.6
7. 大腸癌化学療法と地域連携
石田秀行
第2回 彩の国 大腸癌外来化学療法研究会, 浦和, 2009.2.14
8. ガイドライン改訂をふまえた大腸癌化学療法の実際
石田秀行
大腸癌セミナー (川越), 川越, 2009.9.29
9. FAP・UC に対する大腸 (結腸) 全摘 ～低侵襲手術の工夫～
石橋敬一郎
第11回 川越消化器病談話会, 川越, 2009.10.8

11. 大腸癌治療における医療連携に関して
石田秀行
第2回 北埼玉消化器癌カンファレンス, 深谷, 2009.11.12
12. 大腸癌化学療法の実際と地域連携
石田秀行
西毛地区大腸癌懇話会, 高崎, 2009.11.13
13. 大腸癌化学療法の治療戦略 ～アドバンス・アジュバントの現状と展望
石田秀行
GI-WEB シンポジウム, さいたま, 2010.3.10
14. 大腸がんに対する化学療法の変遷
岡田典倫
消化器癌セミナー 2010 in 熊谷, 熊谷, 2010.3.25

その他の発表

1. 幽門下リンパ節の著明な腫大を伴った早期胃癌の1例.
宮崎達也
第2回 川越 胃がん勉強会, 川越, 2007.2.9
2. mFOLFOX6 におけるアレルギーと神経障害について.
岡田典倫
第2回 DACH カンファレンス, さいたま, 2008.6.21
3. mFOLFOX6 療法が著効した直腸癌・同時性肝転移の1例 .
久保田 将
川越外科臨床研究会, 川越, 2008.9.25
4. 当科における胃・十二指腸潰瘍穿孔の現状.
石畝 亨
BMKK 大腸がんセミナー, さいたま, 2009.3.9
5. 下肢深部静脈血栓症を契機に診断された進行胃癌の1例.
北岡 斎
川越外科臨床研究会, 川越, 2009.10.1

6. 化学療法と二期手術によって根治切除し得た胃癌同時性肝転移の1例.
石井正嗣
川越外科臨床研究会, 川越, 2009.10.1

7. Stage II/III(non-T4) 食道癌ハイリスク症例における治療法の選択.
石畝 亨
第7回 北関東上部消化管癌化学療法研究会, さいたま, 2009.10.31

人 事

	教授		准(助)教授		講師		助教(助手)
2005年度			石田秀行		北郷邦昭(05.5~)	05.5~05.9	権田剛 05.6~05.10
					橋本大樹(05.5~)	05.5~05.12	中田博
					○権田剛	05.11~	横山勝
							石塚直樹 06.1~
							須藤謙一 05.5~
							崎元雄彦
							吉田裕 05.5~
							大澤智徳
							傍島潤
							菊地政貴 05.5~
							桑原公亀
							長嶺寿秋
							石畝亨 05.5~
							鈴木興秀 ~05.4
							天野邦彦 05.5~
							北岡斎 05.5~
2006年度	石田秀行	07.2~	石田秀行	~07.1	○権田剛		三橋敏武 06.7~
					中田博		沖田剛之 06.12~
					石橋敬一郎		横山勝 ~06.9
					宮崎達也		石塚直樹 ~06.7
							岡田典倫 06.7~
							崎元雄彦
							吉田裕 ~06.7
							傍島潤
							長嶺寿秋 ~06.9
							石畝亨
							緒方杏一
							坂口大介 06.8~
							天野邦彦
							北岡斎
2007年度	石田秀行		松木盛行	07.10~	中田博	~07.4	三橋敏武
			辻美隆(兼担)	07.5~	石橋敬一郎		沖田剛之
					宮崎達也		横山勝 07.10~07.11
							岡田典倫
							○崎元雄彦
							桑原公亀 07.10~
							傍島潤 ~07.9
							石畝亨
							天野邦彦 ~07.9
							北岡斎
							細沼知則 ~07.9
							幡野哲 07.5~
							久保憲生
2008年度	石田秀行		松木盛行		石橋敬一郎		三橋敏武 ~07.5
			辻美隆(兼担)		○横山勝		沖田剛之 ~07.9
					宮崎達也		岡田典倫
							崎元雄彦
							大澤智徳 ~08.3
							桑原公亀
							石畝亨
							北岡斎
							幡野哲
							田島雄介
							横山洋三
							石井正嗣
							久保田将
							近範泰
2009年度	石田秀行		芳賀紀裕	09.9~	石橋敬一郎		岡田典倫
	岩間毅夫(客員教授)		辻美隆(兼担)		横山勝	~09.7	崎元雄彦
					宮崎達也	~09.8	○大澤智徳
					隈元謙介	09.10~	天野邦彦
							桑原公亀
							石畝亨
							幡野哲
							外間尚子
							田島雄介
							横山洋三
							石井正嗣
							近範泰 ~09.9
							久保田将
							猪野梓

○医局長(総務担当)

出向中医師（2009.4.1 現在）

牧田陽一郎	（廣瀬病院）
沖田剛之	（毛呂病院）
吉田 裕	（小川日赤病院）
石塚直樹	（埼玉よりい病院）
鈴木興秀	（大学院）
近 範泰	（都立大塚病院）

編集後記

今回、埼玉医科大学総合医療センター外科が 2005 年に再編され、消化管・一般外科となってからの 5 年間の臨床実績、業績をまとめ、「消化管・一般外科 5 年のあゆみ」としてお届けすることになりました。

編集は 2009 年 9 月に群馬県立がんセンターから石田教授のご高配により赴任したばかりのわたくし、芳賀が担当させていただきました。5 年間の歴史を知らずに受諾しましたが、編集作業を進めるにしたがい、石田教授のもと、今は教室を離れた諸先輩の先生方および若手医師の教室を良くするために尽力された 5 年の重みをひしひしと感じさせられました。多くの業績は、雑用を含めた日常業務、緊急手術、当直と忙しい中、「小さなことでも新たな知見を教室より発信すること」を目標とし、臨床データの入力、解析、学会発表、論文作成と奮闘してきた汗と涙の結晶だと思います。臨床実績が充実したものになっているのも、近隣の先生方から多くの患者さまをご紹介いただいた賜物であり、今後もますます信頼されるよう日々努力をしなければならないと肝に銘じました。また、こういった努力の積み重ねを学生、研修医が評価し、昨今の外科医不足が叫ばれる中、毎年新人が仲間に加わり、本年度も 3 人の新人を迎えることができたのだと思います。

政治も不安定で医療情勢も不透明な部分も多いですが、まずは基本的なことを確実にやっていくことが重要と考えております。今後も皆様のご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

今回は初めての業績集の発行で、色々と不備な点もあるかと思いますが、ご容赦願いたいと思います。今後も業績集を発行して行く予定ですのでご意見がお聞かせください。また、最後になりますが、お忙しい中、寄稿していただいた先生方には厚くお礼申し上げます。

平成 22 年 6 月

芳賀 紀裕

2011年6月改訂